

第6回 学生生活実態調査報告書

平成22年度

弘 前 大 学

はじめに

4年に一度実施している本学の学生生活実態調査報告書がまとまった。今年は平成18年度に続いて第6回目となる。

一ヵ月ほど前、全国大学生協が加盟212大学の同様の調査結果を発表しており、「仕送り80年代並みに低下。食費30年前に逆戻り」との記事が話題となった。昨今の勉学生支援者の厳しい経済状況の反映と言えるだろう。今回、本学の調査においても学生の収入の平均値は84,252円となっており、前回調査の86,800円より低下している。収入の内、実家からの仕送りが一番大きな割合を占めているが、二番目は奨学金であり、重要な収入源となっていることがわかる。ほぼ、全国的な傾向を示しているようだ。

次に勉学面では学習する態度の項目の内、「授業の出席」は「すべて出席」「ほとんど出席」を合わせると95%と出席率は高くなっている。ただし、このアンケートの回収率（回収数/配布数）は21.0%であるので、出席率の実態はもう少し低いと考えることができる。授業内容の満足度は「非常に満足」「まあまあ満足」を合わせると85.1%と一定の高さにある。しかし、「あまり満足していない」「まったく満足していない」も合わせると14.8%を占めている。「授業に不満を感じる理由」では「興味関心がない」「受講したい科目がない」「役に立たない科目が多い」などの項目をあげる割合が高くなっており、授業のあり方に厳しい学生の目が注がれていることにも注意を払わなければならない。

このように今回もこの調査からこの他にもいろんなことが読み取れる。しかし、一番の課題は何かといえば今回のアンケートから大学がどのような対応をとることができるかであろう。例えば私の調べた範囲では、入学料や授業料の支払い遅延学生は極端に増えているわけではないが、事情をきくと何とかできないかと思う事例もある。大学内には「学生総合相談窓口」や担任制度も整えているし、「投書箱」もある。知恵を出せば何とかなる事例もある。とにかく相談に来て欲しいと思う。

授業の改善という点では本学は学生の授業アンケートや各教員が「教育者総覧」を明示している。これらは全国的にも教育改革に取り組んでいる事例として評価を受けているがまだ十分とはいえる状況になっていない。今後、教育面では今回の実態調査を踏まえながら前に進みたいものと考えている。

昨年、学校教育法が改正となり、来年度から各大学は、定員充足率、卒業率、留年率、就職率など、実態を示す数字を公表しなければならなくなった。また、教育の質の向上に向けて、アドミッション・ポリシー、デプロマ・ポリシーと並んで、学士課程の教育カリキュラムを作り上げることを求められている。これらを作成する上で今回のこの調査は大いに役立つ内容のものである。調査に回答してくれた学生に感謝すると同時に多忙の中、報告書をまとめてくれた教職員の皆さんに感謝の意を述べて、労をねぎらいたい。

平成23年（2011年）3月

理事（教育・学生担当）・副学長
神田 健策

目 次

■第一章	調査の概要と回収状況	1
■第二章	回答者のプロフィール	3
■第三章	弘大生の学業生活	10
■第四章	弘大生の進路への希望と考え方	21
■第五章	弘大生の学生生活と人間関係	27
■第六章	弘大生の健康	41
■第七章	弘大生の経済状況	48

付録1 調査票

付録2 単純集計表

■第一章 調査の概要と回収状況

本学では4年ごとに学生生活実態調査が行われており、平成22年が第6回調査の年に当たる。そこで学内に学生生活実態調査専門委員会が組織され、この委員会においてアンケート用紙（調査票）が作成され、9月27日～10月29日に調査が実施された。前回の調査同様、学生の声をできるだけ広く汲み上げるため全学生・院生を調査対象とし、調査票の配布を前期成績表配布とあわせて配布したが、アンケートの回収数は前回の2,430を下回る1,319となった。

調査票は性別・年齢・学部所属等の個人プロフィール的事項、学業、進路、人間関係と学生生活、健康、経済の6つのパートから構成され、質問項目数は前回から若干少なくなり、学部が75項目、大学院が71項目となった。また、質問内容については時勢の変化に対応して若干の変更・加除を行ったが、基本的には前回と同様の質問項目が用意された。

学部生については、学生総数6,062人に対し実配布数が5,495で配布率は90.6%、回収数は1,154で全学部生の21.0%がアンケートに答えたことになる。大学院生については、院生総数784人に対し実配布数が656で、配布率は83.7%、回収数は165で25.2%の院生がアンケートに答えたことになる。学部別及び研究科別の集計を表1-1aと表1-1bに示した。

表1-1a 配布数と回収率の学部別集計

学部名	学生数	配布数	配布率	回収数	回収率	構成比	
						母集団	サンプル
人文学部	1,475	1,328	90.0	307	23.1	24.3%	26.6%
教育学部	1,018	897	88.1	244	27.2	16.8%	21.1%
医学部医学科	630	535	84.9	74	13.8	10.4%	6.4%
医学部保健学科	854	834	97.7	144	17.3	14.1%	12.5%
理工学部	1,304	1,195	91.6	190	15.9	21.5%	16.5%
農学生命科学部	781	706	90.4	195	27.6	12.9%	16.9%
計	6,062	5,495	90.6	1,154	21.0	100.0%	100.0%

表1-1b 配布数と回収数の研究科別集計

研究科名	学生数	配布数	配布率	回収数	回収率	構成比	
						母集団	サンプル
人文社会科学研究科	26	20	76.9	4	20.0	3.3%	2.4%
教育学研究科	65	60	92.3	16	26.7	8.3%	9.7%
医学研究科	223	220	98.7	37	16.8	28.4%	22.4%
保健学研究科	84	66	78.6	15	22.7	10.7%	9.1%
理工学研究科	243	173	71.2	54	31.2	31.0%	32.7%
農学生命科学研究科	110	98	89.1	35	35.7	14.0%	21.2%
地域社会研究科	33	19	57.6	4	21.1	4.2%	2.4%
計	784	656	83.7	165	25.2	100.0%	100.0%

回収率は、全学的に大学院より学部の方が低く、学部別に見ると高いのは農学生命科学部（27.6%）と教育学部（27.2%）で、医学部医学科（13.8%）と理工学部（15.9%）が目立って低かった。とは言え、学部生に関しては回収率がすべての学部で前回より下がっている。配布数も回収率も下がったが、回収数が一定規模あるため、学部間の構成比とサンプルの構成比に大きな違いは見られなかった。一方、大学院に関しては、前回と比べ在籍院生の総数が98名増となり、回収数は29名多い165となった。学部及び大学院での母集団とサンプルの構成比は農学生命科学研究科で歪みが最も大きく、回答結果には7%ほどの過大評価が反映されることになる。

(児玉忠)

■ 第二章 回答者のプロフィール

本章ではアンケート回答者の性別，年齢，所属学部，出身地等一般的プロフィールをフェースシートから整理し，前回の報告書と比較しながらそれぞれの傾向について分析する。

2.1 性別

学部生総回答者数 1,154 人のうち，男子は 514 人（44.5%），女子は 640 人（55.5%）であった。この男女比は前回調査とほぼ同じであった。全学の学部在籍者総数 6,062 人のうち男子は 3,370 人（55.6%），女子は 2,692 人（44.4%）であるので，男子は約 15%，女子は約 24%がアンケートに答えたことになる。一方，大学院生の方は，総回答者数 164 人（性別無回答者 1 人）のうち，男子は 109 人（66.5%），女子は 55 人（33.5%）であった。全学の大学院在籍者総数 784 人のうち，男子は 559 人（71.3%），女子は 225 人（28.7%）であるので，大学院の場合も女子の方が積極的にアンケートに答えているといえよう。

回答者数の性別に関しては，学部・大学院とも前回と同様の傾向を示し，学部と大学院でその比率が逆転している（図 2-1a・1b）。研究科によって男女の比率は大きく異なるが，弘前大学全体としては大学院への進学率は男子の方が圧倒的に高いと言えよう。



図2-1a 回答者の男女(学部)

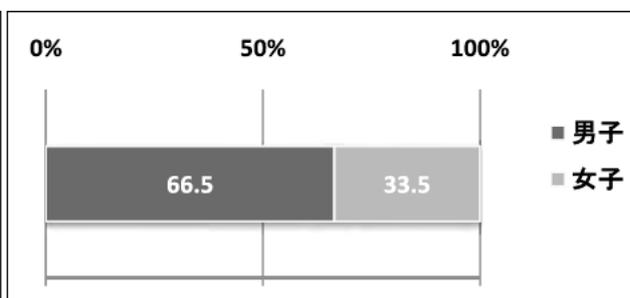


図2-1b 回答者の男女(大学院)

学部別に見た回答者の男女比は，図 2-2a のように人文学部，教育学部，医学部保健学科では 7 割前後が女子なのに対して，農学生命科学部では約 5 割，医学部医学科では約 4 割，理工学部では約 2 割程度にとどまっている。学部別のこのような男女比は前回調査と似たパターンを示すが，人文学部，教育学部，医学部保健学科では女子学生の増加，医学部医学科と農学生命科学部では男子学生の増加の傾向が見られる。

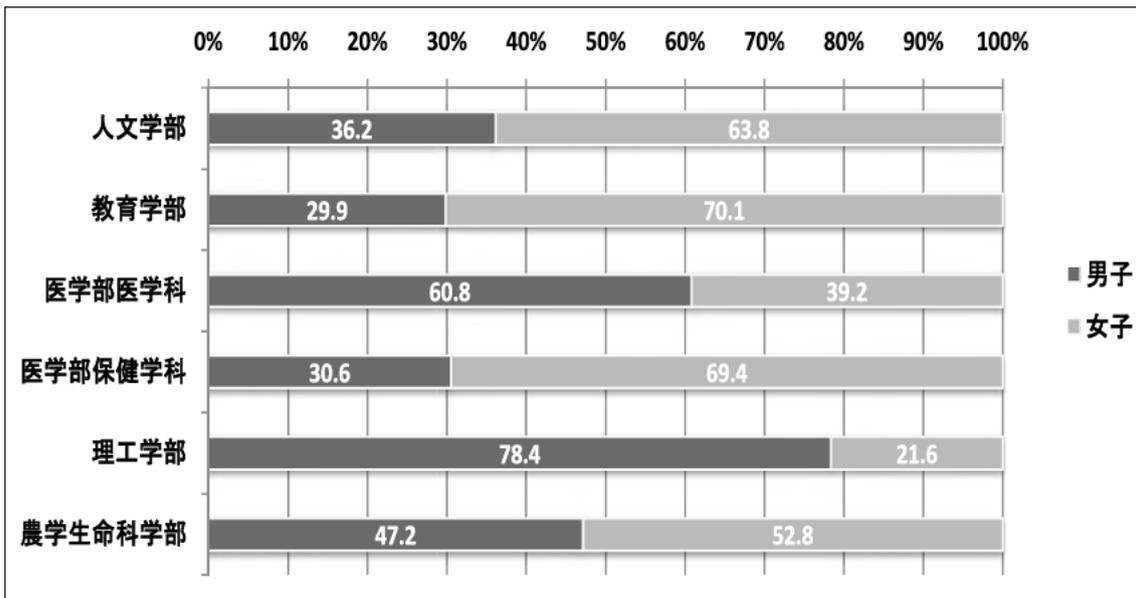


図2-2a 学部別に見た回答者の男女比

大学院での回答者の男女比は学部と比べると（図2-2b），全体的に女子の比率が低く，特に人文社会科学研究科では女子の比率は学部より30%以上の減少となっている。全体としては理工学研究科が最も低い女子比率（14.8%）となっている。これは女子の回答率が低いのではなく，女子の進学者数が少ないことによるものである。また，人文社会科学研究科と地域社会研究科の女子の比率はともに25%だが，回答者数が1名であることから，統計的意味はそれほどないものと思われる。

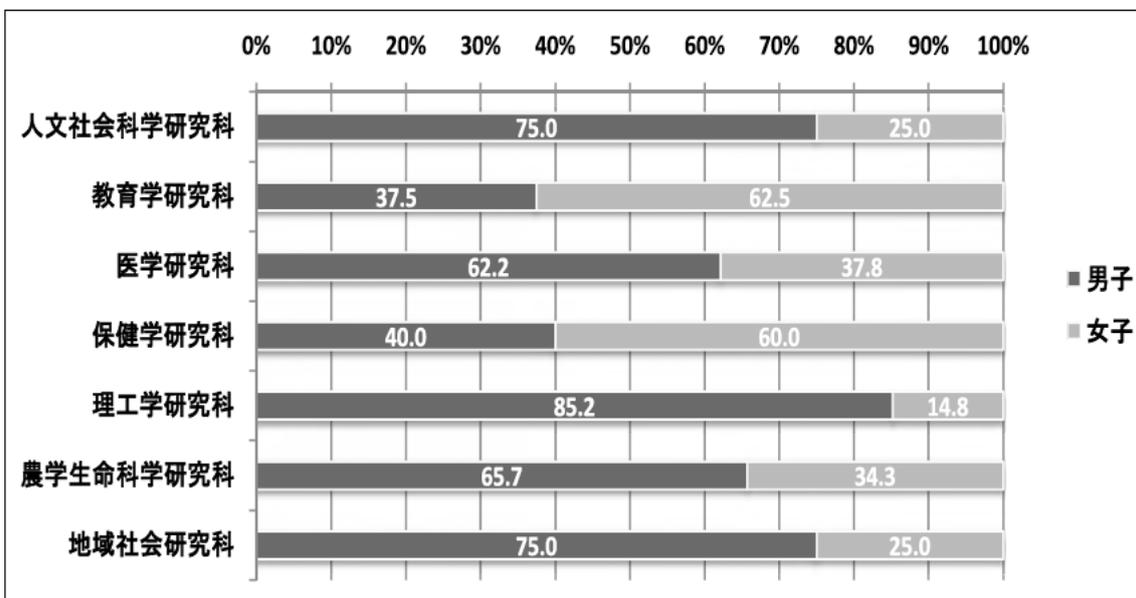


図2-2b 研究科別に見た回答者の男女比

2.2 年齢

年齢の分布は学部では18歳から36歳までと幅広いが，男女ともに18歳から22歳に集中して

いる（図2-3a）。18歳から21歳の学生は圧倒的に女子が多く、22歳はほぼ同数となっている。年齢別で性別の分布を見ると、男子学生は20歳と21歳が並んで多い。女子学生は21歳が最も多く、次いで多いのは19歳であった。大学院では、22歳から54歳までと幅広いが、男女ともに22～24歳に集中しており、大学院へ進学するもうひとつの小さなピークが36～41歳付近に見られる（図2-3b）。

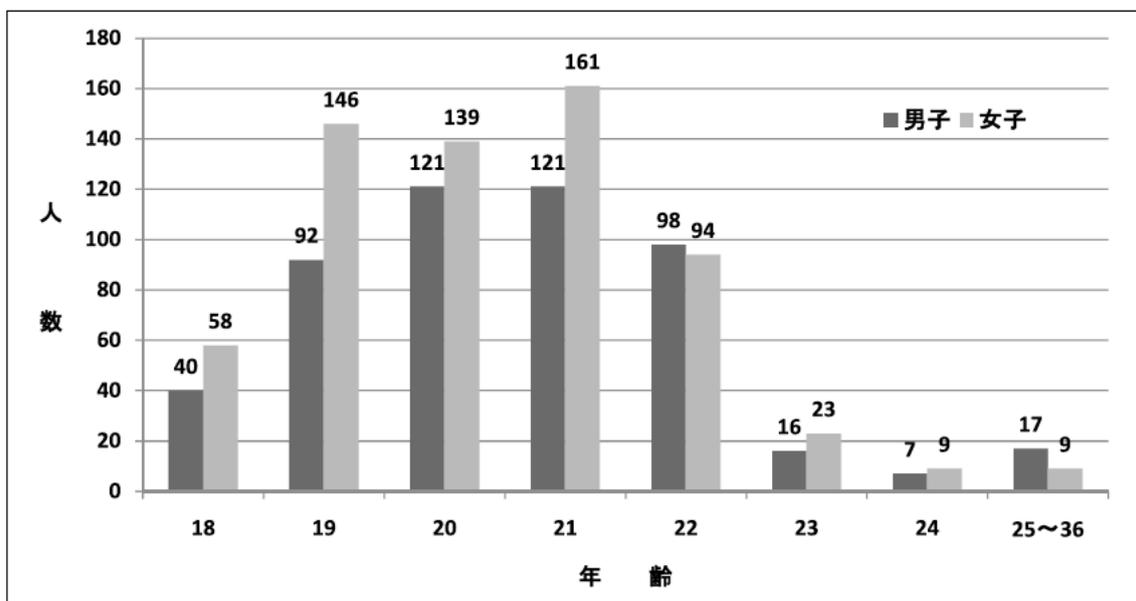


図2-3a 回答者の年齢の分布(学部)

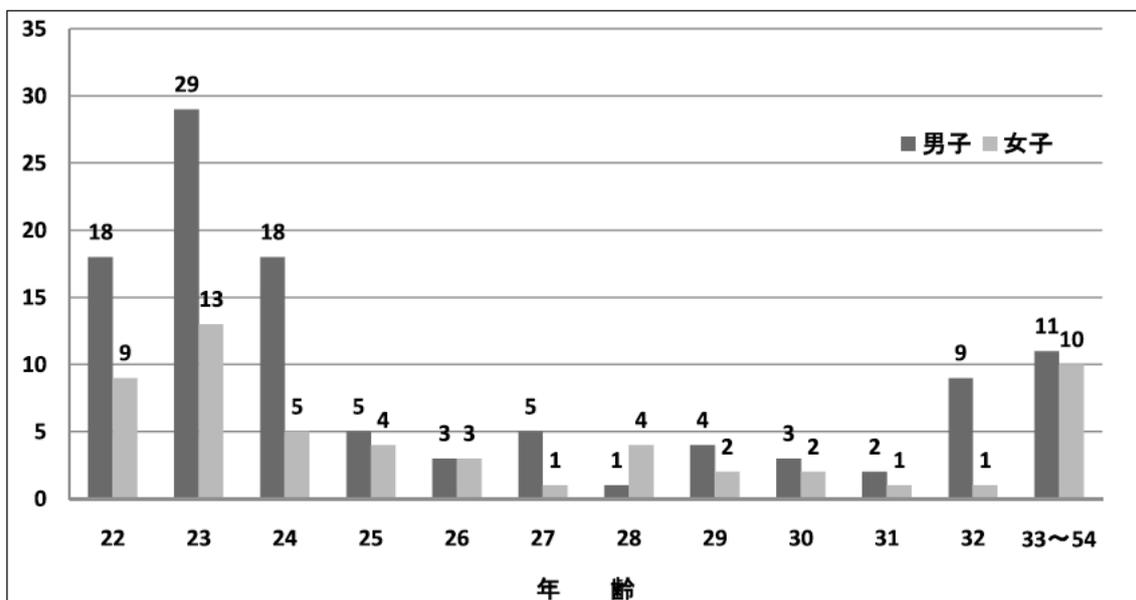


図2-3b 回答者の年齢の分布(大学院)

2.3 所属学部・学科

学部の所属状況は、多い順に人文学部 307 人 (26.6%)，教育学部 243 人 (21.1%)，農学生命科学部 195 人 (16.9%)，理工学部 190 人 (16.5%)，医学部保健学科 144 人 (12.5%)，医

学部医学科 74 人 (6.4%) であった。医学部医学科は他学部と比べ全学年にわたって回収率が低く、回答者は平均 12 人であった。学年別では、3 年生 349 人 (30.3%)、1 年生 303 人 (26.3%)、4 年生 290 人 (25.2%)、2 年生 202 人 (17.5%)、5 年生以上の者 9 人 (0.7%) で、医学部保健学科を除き、3 年生の回答者数が最も多くなっている。前回調査では学年が進むにつれて減少し、3 年生で最も低くなり 4 年生で再び増加していたことから、学年による回収率の増減パターンには共通性が見いだせなかった (表 2-1a)。

表 2-1a 回答者の所属(学部)

	人文学部	教育学部	医学部医学科	医学部保健学科	理工学部	農学生命科学部	計
1年	80	65	13	53	43	49	303
2年	54	34	16	25	34	39	202
3年	89	89	28	19	54	70	349
4年	84	55	8	47	59	37	290
5年	—	—	4	—	—	—	4
6年	—	—	5	—	—	—	5
計	307	243	74	144	190	195	1,153
在籍者	1,475	1,018	630	854	1,304	781	6,062

大学院では、理工学研究科が最も多く 51 人 (31.7%)、最も少ないのは人文社会科学研究科及び地域社会研究科のそれぞれ 4 人 (2.5%) である (表 2-1b)。

表 2-1b 回答者の所属(大学院)

	人文社会科学 研究科	教育学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学 研究科	地域社会研究科	計
1年	3	8	5	4	32	22	1	75
2年	1	8	12	8	19	13	0	61
3年	—	—	6	2	—	—	3	11
4年	—	—	14	—	—	—	—	14
5年	—	—	—	—	—	—	—	0
計	4	16	37	14	51	35	4	161
在籍者	26	65	222	84	242	110	33	322

2. 4 受験様式

入学試験の受験様式については、各試験の募集定員を反映しており、前期日程試験 679 人 (59.1%)、後期日程試験 185 人 (16.1%)、推薦入試 (センター試験有) 79 人 (6.9%)、推薦入試 (センター試験無) 168 人 (14.6%)、その他 38 人 (3.3%) という状況であった (表 2-2)。

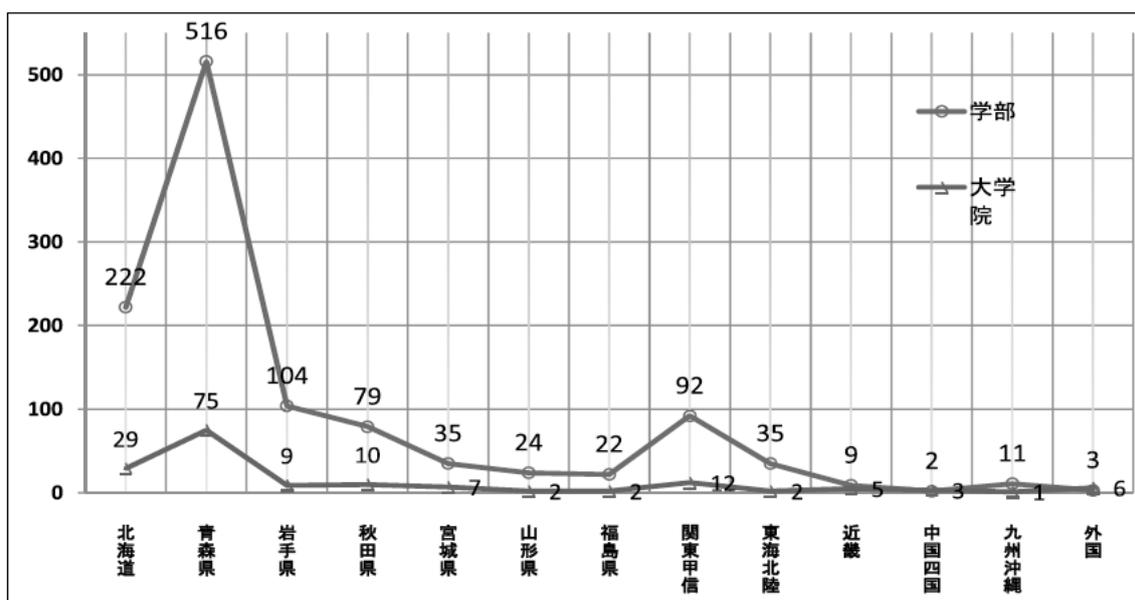
表2-2 回答者の受験様式(学部)

	前期日程	後期日程	推薦 (センター試験有)	推薦 (センター試験無)	その他	計
人文学部	184	56	5	61	1	307
教育学部	137	48	10	46	0	241
医学部医学科	26	0	20	0	27	73
医学部保健学科	97	11	27	1	8	144
理工学部	107	28	14	40	1	190
農学生命科学部	128	42	3	20	1	194
計	679	185	79	168	38	1149

2.5 学生の出身地

調査では、学生の出身地を確認する手がかりとして、実家の所在地を質問している。これによると、出身地の分布は以下のとおりである。まず学部生は、北海道 222 人 (19.2%)、青森県 516 人 (44.7%)、青森県を除いた東北 5 県 264 人 (22.9%) (岩手県 104 人、秋田県 79 人、宮城県 35 人、山形県 24 人、福島県 22 人)、関東・甲信 92 人 (8.0%)、東海・北陸 35 人 (3.0%)、近畿 9 人 (0.8%)、中国・四国 2 人 (0.2%)、九州・沖縄 11 人 (1.0%)、外国 3 人 (0.3%) で合計 1,154 人である。大学院生は、北海道 29 人 (17.8%)、青森県 75 人 (46.0%)、東北 5 県 30 人 (18.4%)、関東・甲信 12 人 (7.4%)、東海・北陸 2 人 (1.2%)、近畿 5 人 (3.1%)、中国・四国 3 人 (1.8%)、九州・沖縄 1 人 (0.6%)、外国 6 人 (3.7%) で合計 163 人である (図 2-4)。

図2-4 回答者の出身地



回答者のうち学部生を学部別に見ると (表 2-3 a), すべての学部で地元青森県という回答

の割合が高く、人文学部及び医学部保健学科では北海道、東北地区出身の学生で95%が占められており、教育学部、理工学部及び農学生命科学部においても80%前後を占めている。前回と同様に際立った傾向としては、医学部医学科での関東、東海北陸地方の出身者の多さであり、約40%を占めている。前回とやや異なる傾向としては、北海道出身者が約4%増加した。ただし、医学部医学科と農学生命科学部においてはわずかながら減少が見られた。また、外国人学生が1.0%にとどまっており、0.4%だった前回、0.7%だった前々回と比べて若干上昇している。

表2-3a 学部別に見た出身地の割合(%) (学部)

	北海道	青森県	東北5県	関東甲信	東海北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	外国	計
人文学部	22.1%	51.5%	21.8%	2.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	100.0%
教育学部	8.6%	51.2%	26.6%	9.4%	2.5%	0.0%	0.4%	0.4%	0.8%	100.0%
医学部医学科	1.4%	39.2%	9.5%	28.4%	10.8%	4.1%	0.0%	6.8%	0.0%	100.0%
医学部保健学科	26.4%	40.3%	29.2%	3.5%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
理工学部	27.4%	43.2%	17.9%	7.4%	3.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	100.0%
農学生命科学部	21.5%	32.8%	25.1%	11.8%	4.1%	2.6%	0.5%	1.5%	0.0%	100.0%
計	19.2%	44.7%	22.9%	8.0%	3.0%	0.8%	0.2%	1.0%	0.3%	100.0%

大学院生を研究科別に見ると(表2-3b)、依然として青森県出身者が半数を超えるところがある一方、研究科全体における青森県出身者の割合は前回より約7%減少し、半数を下回った。ただし、教育学研究科では前回と同じく青森県出身者が75%を占めており、地元色が強いことが伺われる。これと比較して、人文社会科学研究科と理工学研究科では青森県出身者がそれぞれ25.0%、34.6%であることから、全国各地から大学院生が集まっている傾向が見られる。

表2-3b 研究科別に見た出身地の割合(%) (大学院)

	北海道	青森県	東北5県	関東甲信	東海北陸	近畿	中国四国	九州沖縄	外国	計
人文社会科学研究科	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
教育学研究科	0.0%	75.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	100.0%
医学研究科	5.4%	56.8%	10.8%	13.5%	0.0%	8.1%	5.4%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学研究科	20.0%	46.7%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
理工学研究科	30.8%	34.6%	23.1%	3.8%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
農学生命科学研究科	20.0%	40.0%	25.7%	11.4%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域社会研究科	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
計	17.8%	46.0%	18.4%	7.4%	1.2%	3.1%	1.8%	0.6%	3.7%	100.0%

2. 6 大学卒業から大学院入学までの年数

図2-5に示すように、大学卒業から大学院入学までの年数は、回答者の58.4%は学部卒業後直ちに入学しており、5年以内には88.8%が大学院に進んでいる。また、6年以上になると最長25年までの幅広い年数に偏りのない分布が見られる。

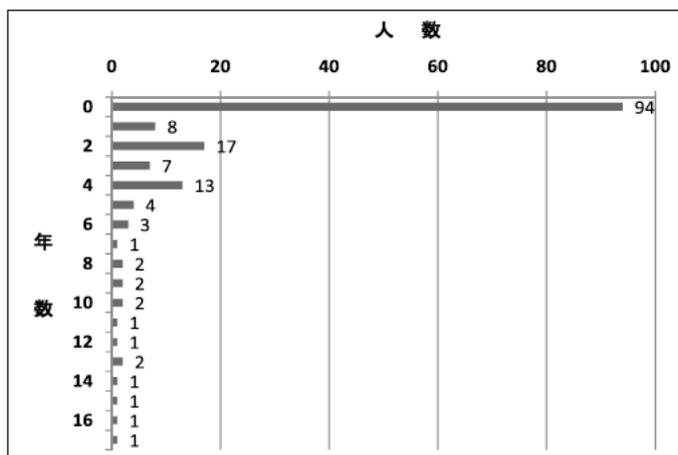


図2-5 入学までの年数(大学院)

2. 7 まとめ

第6回学生生活実態調査は、アンケート調査に答えた学生数が前回調査のほぼ半数という結果に終わった。その原因のひとつには、学内で別の機関によって同時期に同様の調査が行われたことなどが考えられるが、低回収率をもとにした報告書は調査結果の信憑性にも関わる深刻な問題を秘めているといえる。今後、この種のアンケート調査の意義・重要性についての認識啓発とともに協力の義務付けなど実施方法を検討していくことが求められる。

国立大学法人となった現在、弘前大学では大学自身が様々な自己改革を手がけているが、学生・院生自身も学生生活に関わる様々な問題を自己評価し、今後とも一層よりよいキャンパスライフなるよう変革してゆかなければならない。その意味において本実態調査はその足掛かりを提供するものとして大きな意義をもっている。学生・院生にはもちろん、教職員の皆さんにも今後の学生生活の改善にこの報告書を大いに役立てて欲しいと願っている。

(児玉忠・山内敏博)

■ 第三章 弘大生の学業生活

本章では、弘前大学の学部生を中心に大学院生のデータも交え、学生の学業に対する考え方や学習態度を分析し、問題点及びその対応策について検討を行う。

3. 1 大学・大学院進学理由

まず、学部生に大学進学理由を聞いたところ、図3-1に示すように、男女ともに「専門的知識や技術を修得するため」をあげた学生が最も多く、次いで「学問・研究をするため」、「学歴を得るため」、「教養を身につけるため」をあげた学生が多かった。これら上位の回答では男女の差があまりない。一方、「資格をとるため」と回答したのは男子学生が27.8%に対し、女子学生は40.8%と多く、また、「友人を作るため」、「スポーツや文化活動をするため」と回答したのは男子がそれぞれ19.3%、11.7%なのに対し、女子はそれぞれ12.9%、6.9%と少ない傾向が見られた。

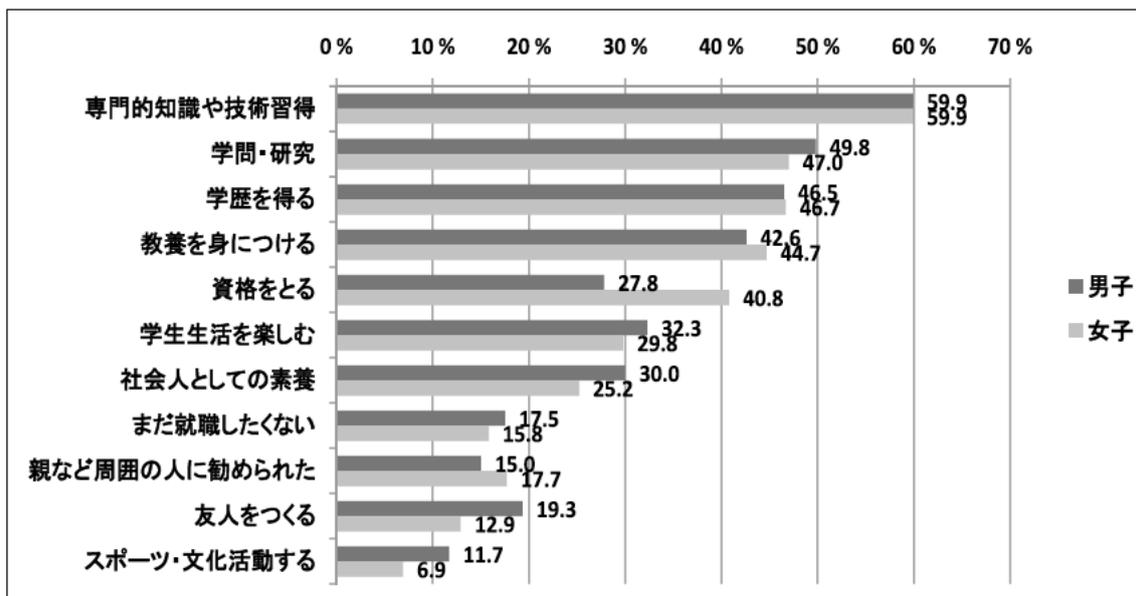


図3-1 大学進学の志望理由（複数回答）

弘前大学が第1志望かと学部生に聞いたところ、図3-2に示すように、男女とも約半数が第1志望と回答している。

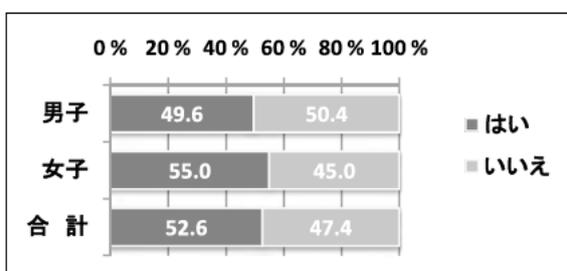


図3-2 弘前大学が第1志望か

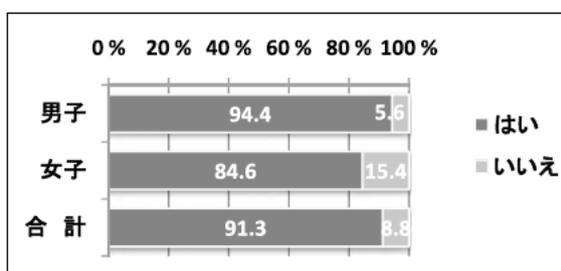


図3-3 弘大大学院が第1志望か

一方、弘大大学院が第1志望かと大学院生に聞いたところ、図3-3に示すように、第1志望と

答えた大学院生は、合計で90%以上と非常に高い割合であることが分かる。

次に、学部生に弘前大学を選んだ理由を聞いたところ、図3-4に示すように、「国立大学（国立大学法人）だから」が最も多く、「自分の志望する専攻分野があったから」、「自分の能力・学力に合っていたから」も50%を超える回答であった。次いで、「実家に近かったから」、「経済的負担が軽いから」という回答が多かった。その一方で、「施設・設備がよかったから」、「優れた教員がいると思ったから」は10%に満たない結果となったことは、考慮すべき課題であると考えられる。

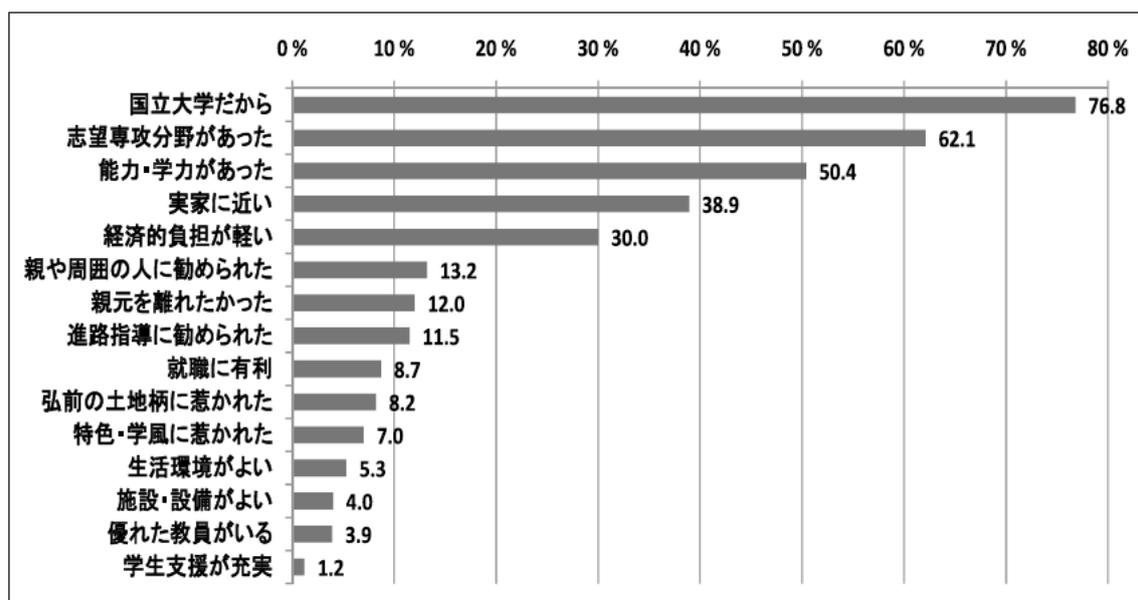


図3-4 弘前大学を選んだ理由（複数回答）

同様の質問を大学院生に対して聞いたところ、図3-5に示すように、「自分の志望する専攻分野があった」、「継続した勉強や研究ができるから」という回答が多く、ともに45%ほどである。次いで、「指導を受けたい教員がいたから」という回答が多い。弘大大学院を第1志望と答えた大学院生が91%を超えている理由は、このような点にあると考えられる。

また、学部生では「自分の能力・学力に合っていたから」という回答が50%あったが、大学院生では20%未満と少ないことや、学部生では76.8%と最も多かった「国立大学（国立大学法人）だから」という回答が、大学院生では17.2%とかなり少なくなっていることが、学部生と大学院生で大きく異なる点である。

その一方で、「将来就職に有利だと思ったから」との回答は、学部生・大学院生ともに少なく、10%に満たないことは考慮すべき課題であると考えられる。

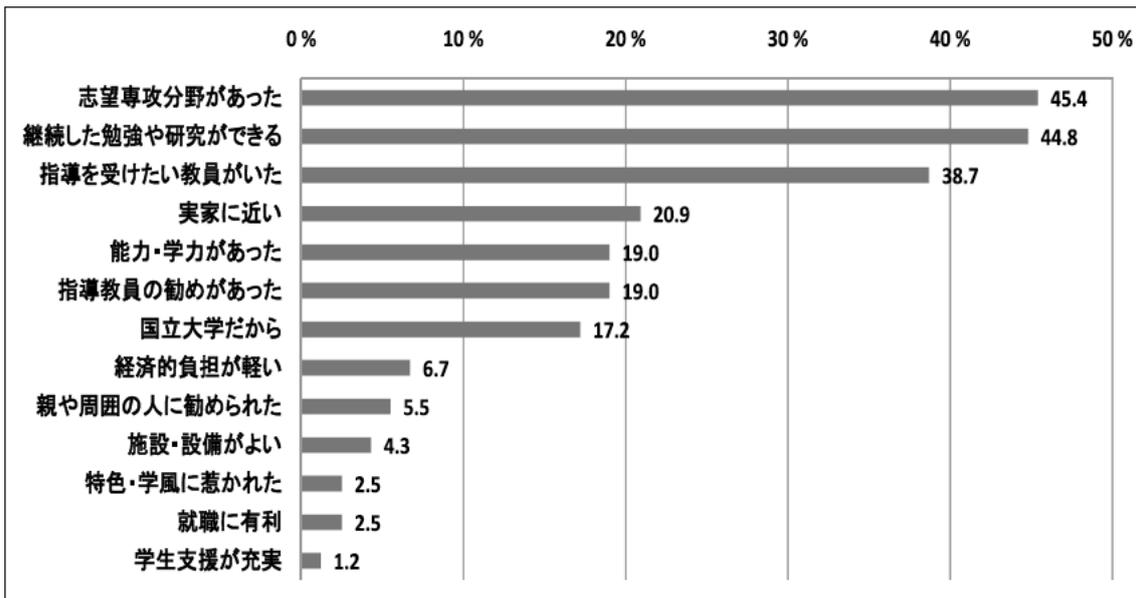


図 3 - 5 弘大大学院を選んだ理由（複数回答）

3. 2 高校での履修科目

学部生に、高校で履修した科目をすべて選んでもらった結果を図 3-6 に示す。数学では、「数学 I (数学 A)」及び「数学 II (数学 B)」が男女ともに約 98% と高い履修率を示している一方、「数学 III (数学 C)」は男子の履修率が 59.3% なのに対して女子は 41.9% と少なくなっている。

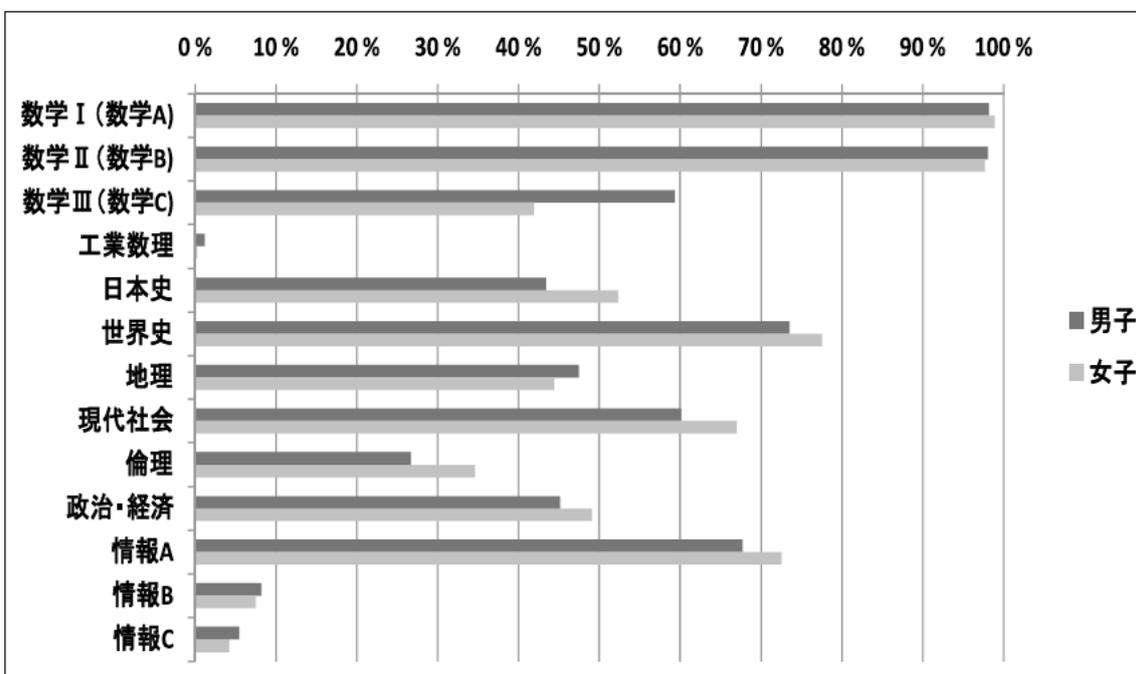


図 3 - 6 高校での履修科目

男女差がより顕著に現れるのは理科であり、「物理」を履修した男子学生は 51.9% に対し、女子学生は 28.3% ときわめて少なくなっている。逆に、「生物」を履修した男子学生は 53.3% に対し、女子学生は 75.4% と多くなっている。理科の科目別履修率を図 3-7 に示す。

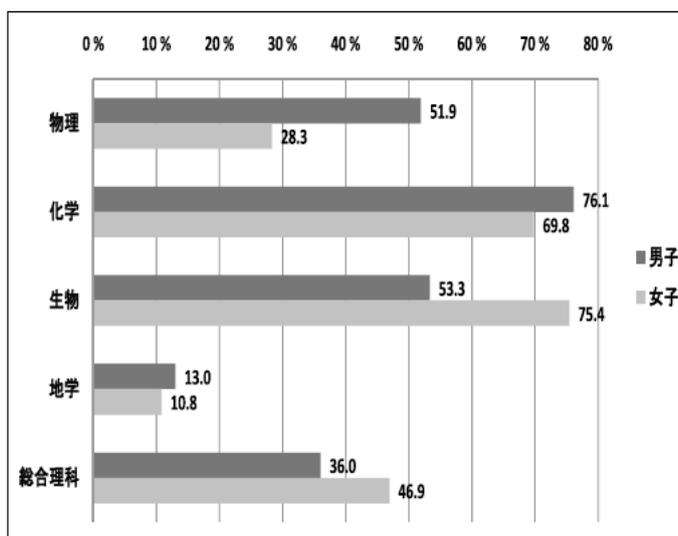


図 3-7 高校での理科の履修科目

前回、平成 18 年度の調査で必修科目未履修問題として話題になった「世界史」の履修率は、今回の調査では男女合計で 75.7% であり、前回調査時の 67.2% より 8.5 ポイント増加している。また、同じく必修科目となった教科「情報」については、「情報 A」,

「情報 B」, 「情報 C」の男女合計の履修率は今回の調査ではそれぞれ 70.3%, 7.8%, 4.8% であり、前回平成 18 年度の調査時でそれぞれ 19.6%, 2.1%, 2.4% であったことを考えると、特に「情報 A」の履修率が著しく向上していることが分かる。

3.3 弘大生の学習する態度

学部生に、今年度前期の授業への出席状況を聞いたところ、図 3-8 に示すように「すべて出席している」と「ほとんど出席している」の合計は、95% であった。

次に、授業に欠席する理由を聞いたところ、図 3-9 に示すように、「寝坊」と答えた学部生が男女ともに最も多く、男女合計すると 35% にのぼる。調査時期が前期（春期夏期）であるので冬期の状況は伺い知ることにはできないが、この時期の「寝坊」による「欠席」は基本的な生活態度の問題であり、学生の自覚を強く促したい。

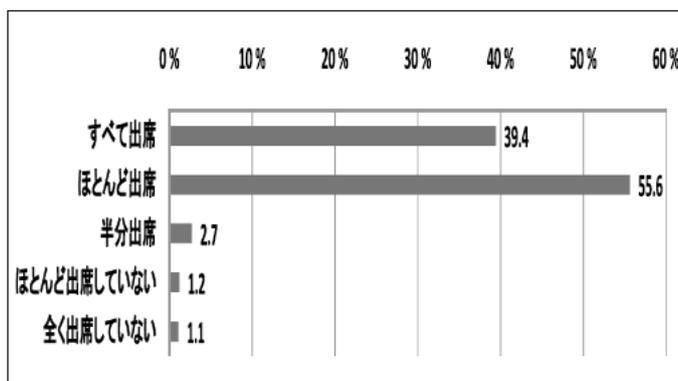


図 3-8 今年度前期の授業出席状況

次いで多いのが「病気・けが」だが、この回答では男子学生が 21.6% に対し、女子学生は 30.9% と多い。また男女合計では 10% に満たないが、「授業がつまらない」、「勉強意欲がわからない」、「ただなんとなく」という回答もあり、学習意欲の低下や授業に対する不満がこれらの回答の根底にある可能性も考えられる。

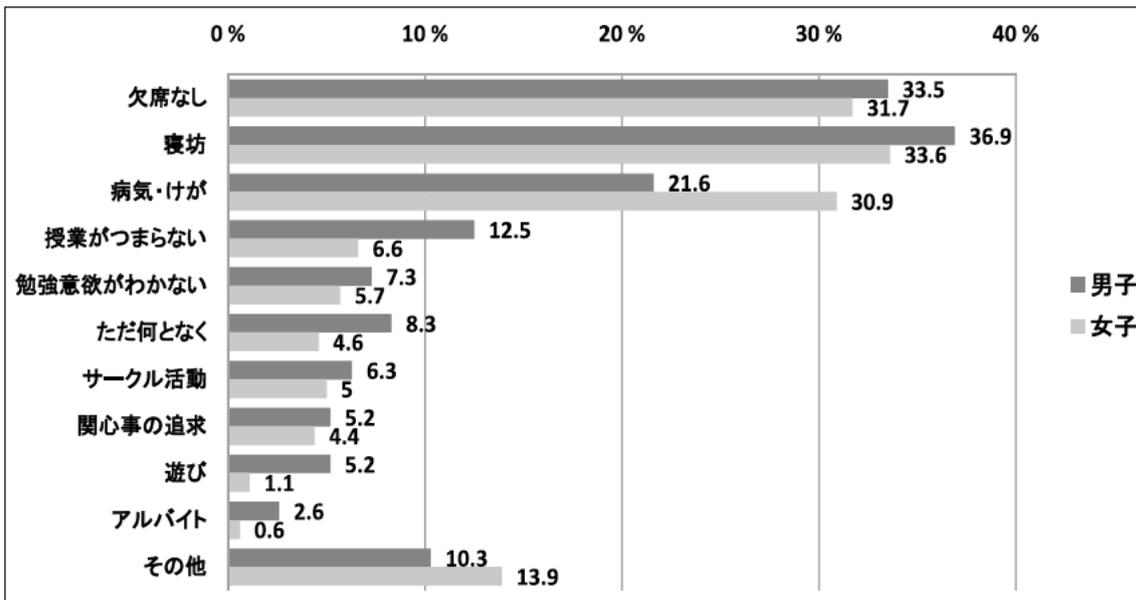


図 3-9 授業の欠席理由（複数回答）

授業内容の満足度に関する調査では、図 3-10 に示すように、「非常に満足している」と「まあまあ満足している」の合計は、学部生で 85.1%，大学院生では若干少なく 78.9%であった。

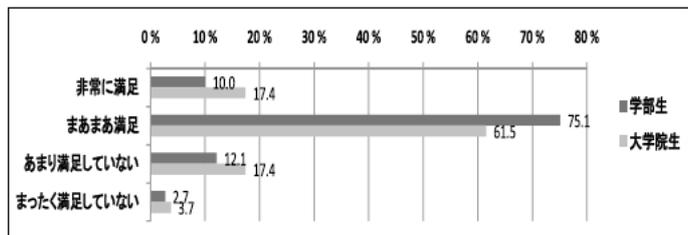


図 3-10 授業内容の満足度

学部生に授業に不満を感じる理由を聞いたところ、図 3-11 に示すように、「授業内容に興味、関心がもてない」が最も多く、次いで「単位取得や科目選択が制限されている」、「受講したい科目が少ない」という回答が多かった。「授業が全体として難しすぎる」と答えたのは 18.1%であった。授業に不満を感じる理由としては、授業内容の難易度よりも、興味関心が持てる授業が提供されていないことが多数を占める実情を教員側が理解し、授業内容の工夫をすることが必要であろう。

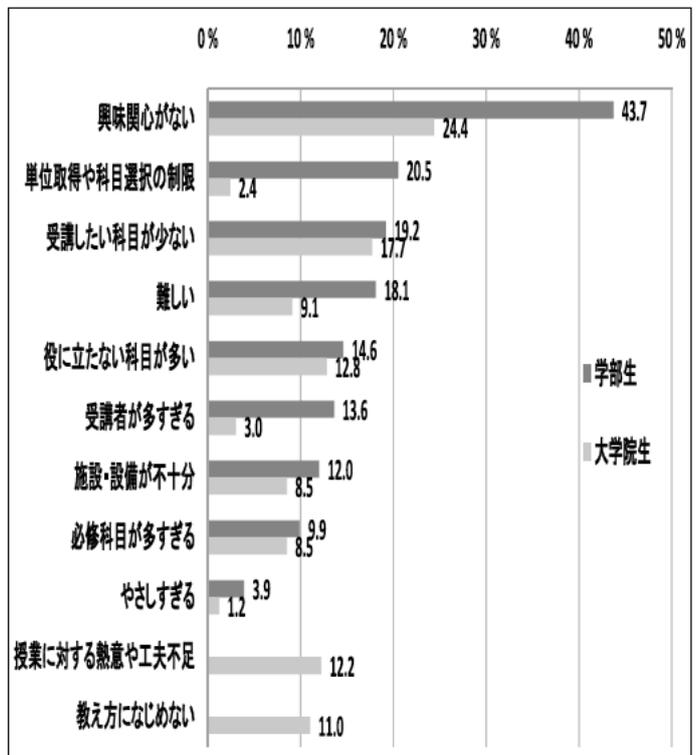


図 3-11 授業に不満を感じる理由

大学院生に授業に不満を感じる理由を聞いた結果は、図 3-11 のようになった。学部生と同様に「興味、関心がもてない」が最も多かったが、その割合は学部生が 43.7%に対して、大学院生は 24.4%と少

ないことが分かる。また、大学院生への設問固有の選択肢である「教員の考え方になじめない」、「教員の授業に対する熱意や工夫が足りない」を選んだ大学院生が10%ほどいた。

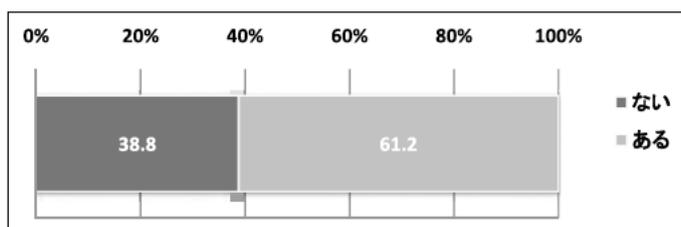


図3-12 難しすぎる授業はあるか

大学で履修した（している）科目の中で、難しくついていけないと感じるものがある

か、との質問には、図3-12に示すように、「ある」が61.2%であった。さらに「ある」と答えた人に難しすぎる科目数を聞いたところ、男子平均で3.6科目、女子平均で3.0科目であった。

また、難しすぎる授業があると答えた学生にどのようなことを希望するかを尋ねたところ、図3-13に示すように、「基礎からわかりやすく説明してほしい」が最も多く、男女合計では66.3%であった。次いで「例題や演習を増やしてほしい」が合計では多いが、男子学生では41.7%なのに対し、女子学生では22.5%と少ないのが特徴的である。また、「勉強の仕方を教えてほしい」と回答した学生も25%以上あったことは、憂慮すべき事態と考える。本来、大学に入る前までに培っておくべき「勉強の仕方」という基本的な学習姿勢を身につけていない弘大生が4分の1もいる現状をふまえた上での指導が教員側に求められていると考えられる。

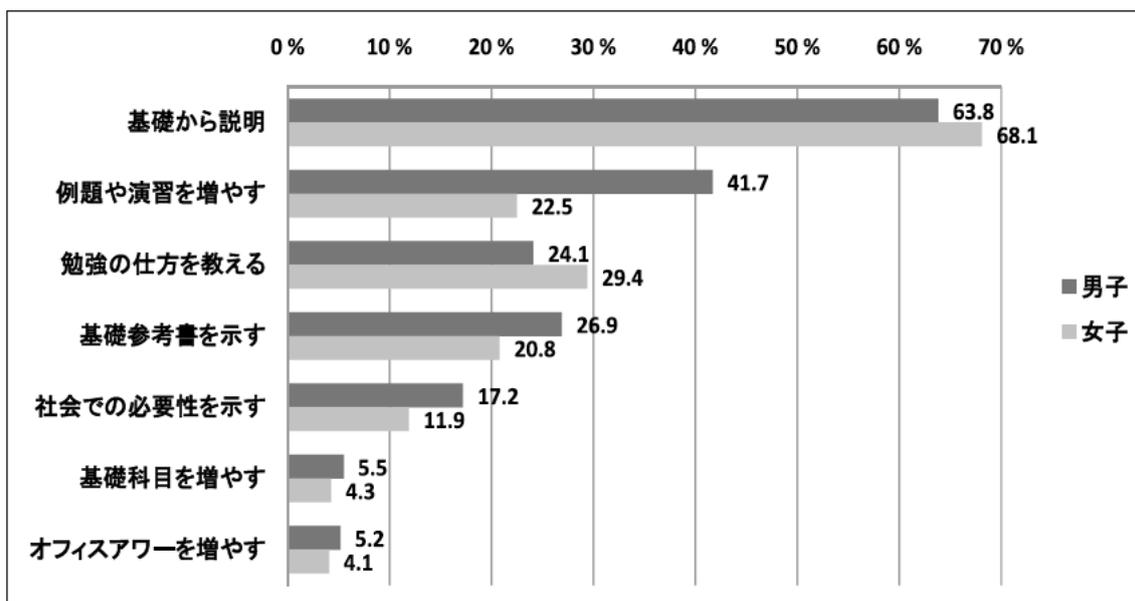


図3-13 難しすぎる授業へ希望すること（複数回答）

図3-14は、勉強や研究のことで教員と話をすることがあるかを学部生及び大学院生に聞いた結果を示している。「よくある」と「わりとある」の合計は学部生で31.9%、大学院生で84.5%となっており、日頃指導教員とのふれあいが多い大学院生の姿が明らかになっている。ただし、学部生であっ

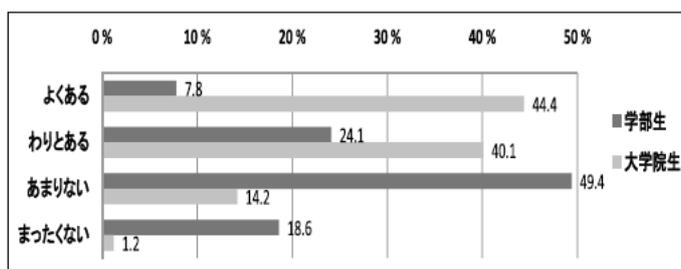


図3-14 教員と話をするか

ても、学年別では、卒業研究に入る4年次学生は教員と話す機会が多いと考えられる。

図3-15は、試験期間を除いたふだんの授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいに対する回答を示したものである。学部生では「3時間以上」の割合が最も低く、わずか6.4%であり、逆に「30分未満」と「しない」の合計は32.6%を占めている。大学設置基準では講義時間と同程度の予習と復習の時間が必要とされているが、この結果からは最低限の予習復習を行わない学部生が約3割、勉強時間が1時間以下の割合で見ると、実に5割以上に達することを意味している。

大学院生については、「3時間以上」と答えた割合は47.8%と、約半数近くになっている。しかし、この結果も手放しで歓迎できない事態である。なぜならば、前回平成18年度の調査では、「3時間以上」と答えた大学院生は61.8%あり、今回の調査では14ポイントも下がっているからである。研究主体であるはずの大学院生の「学部生」化が起こりつつあるのではないかという危惧を抱く結果である。

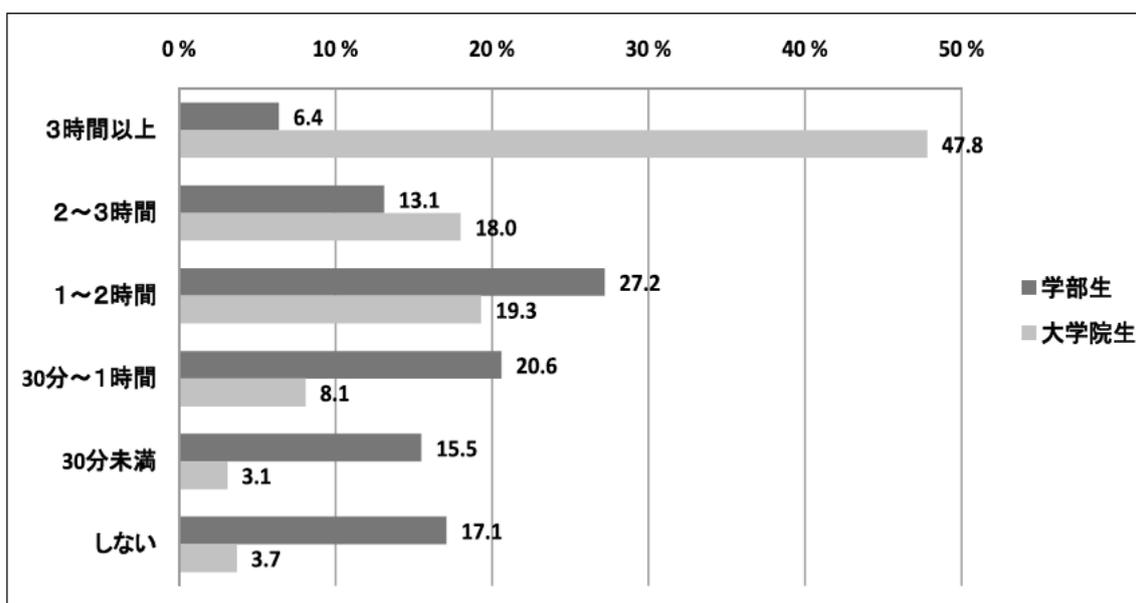


図3-15 授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいか

3.4 大学図書館の利用

図書館の利用頻度は、学部生は毎日利用する学生は学部全体で2.3%であった。一方で、「ほとんど利用しない」学生は26.8%であった。大学院生は、「月1, 2回」の利用が多く、「ほとんど利用しない」学生が37.7%あった(図3-16)。

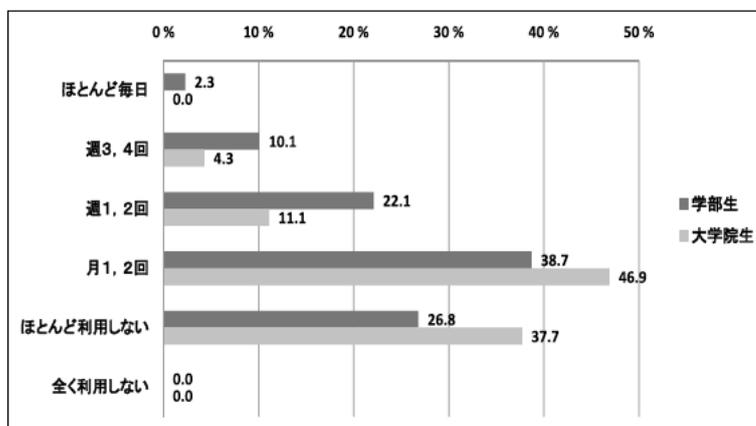


図3-16 図書館の利用頻度

図書館の利用目的は「調べもの」、「勉強・研究」が6割以上で最も多く、「パソコン利用」、「予習・復習」が3割で次に多かった。学部生、大学院生ともに「調べもの」、「勉強・研究」が主たる利用目的である。大学院生の図書館での「パソコン利用」が1割程度と低いのは、個人のパソコンを利用しているためと考えられる（図3-17）。

また、図書館の利用で困ったこととしては、「土・日を含め24時間利用できない」ことをあげた学生、大学院生がもっと多い（図3-18）。

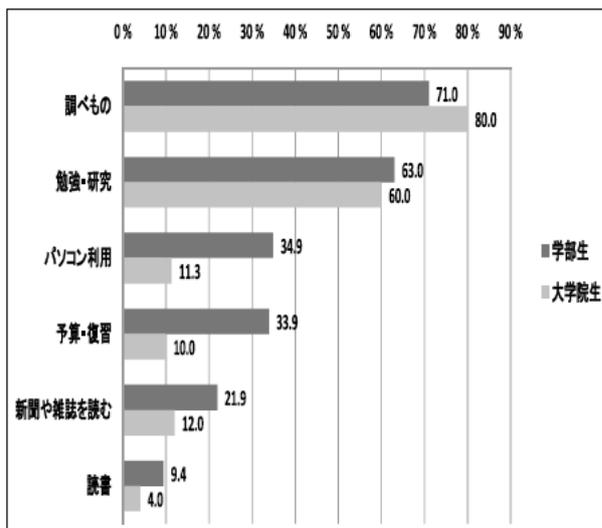


図3-17 図書館の利用目的

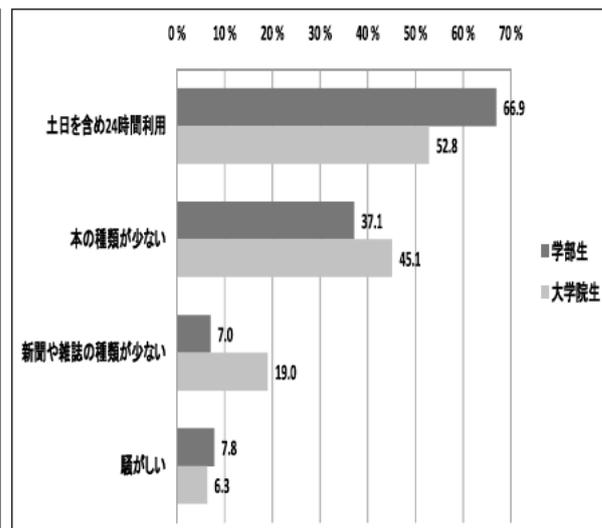


図3-18 図書館の利用で困ったこと

3.5 総合情報処理センターと学内パソコン室の利用状況

本学附属施設の総合情報処理センターと学部設置してあるパソコン室の利用状況を見ると、「ほとんど利用しない」学部生は4割、大学院生では5割を超える（図3-19）。

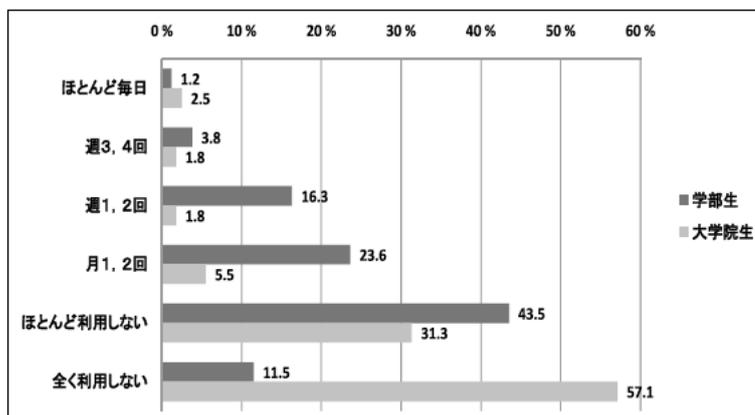


図3-19 情報処理センターとパソコン室の利用頻度

総合情報処理センターとパソコン室の利用で困っていることとしては、「利用で困ったことがない」と答えた学部生，大学院生が5割程度で、「24時間利用できない」ことを理由にあげた学部生は約3割，大学院生では2割程度ある（図3-20）。このことから、図書館同様、開館時間がその利用に対して大きく影響しているようである。

学部生の利用目的は、「レポートの作成」が最も多く、「授業の予習・復習」，「ホームページ閲覧」が多い。大学院生では「研究」，次いで、「レポート作成」が多い結果となった（図3-21）。このことから、大学のパソコンは、学業目的で利用されていることが分かる。

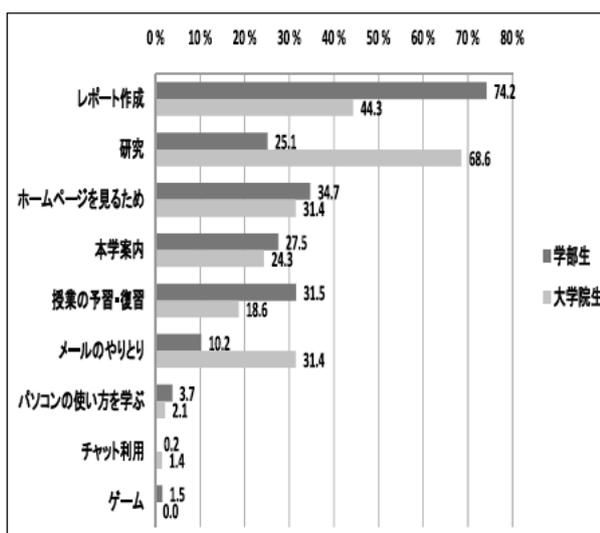
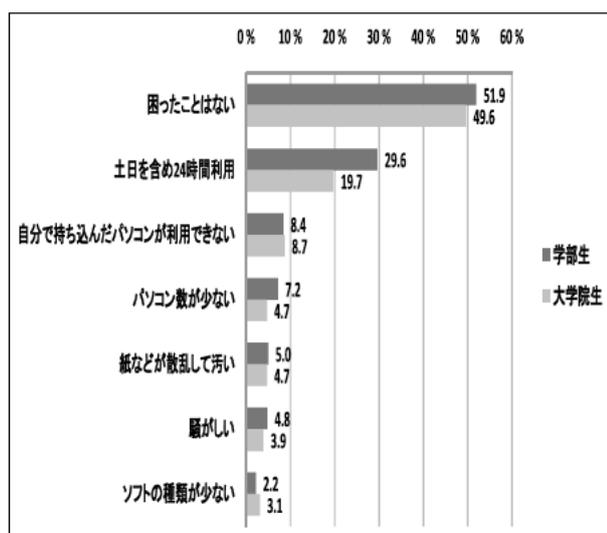


図3-20 総合情報処理センターとパソコン室の利用で困っていること（複数回答）

図3-21 総合情報処理センターとパソコン室の利用目的（複数回答）

3.6 自宅で使用可能なパソコンとその利用状況

自宅で使用可能なパソコン保有率は学部生で99%，大学院生で95%であり，自宅でパソコンを利用できない学生の方が少ない（図3-22）。平成18年度の本学第5回学生生活実態調査では自分専用のパソコン保有率は9割以上，第45回学生生活実態調査の全国調査では平成21年で「自分専用」，「家族共有」のパソコン保有率は97.7%である。また，全国調査から平成15年では自宅でのパソコン保有率は9割に達している。

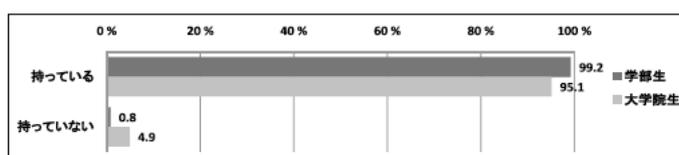


図3-22 自宅で利用可能なパソコン保有率

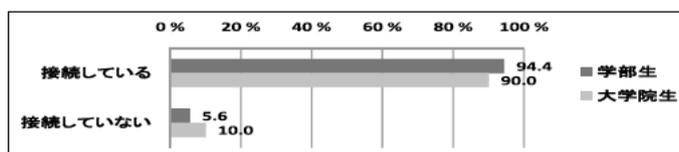


図3-23 インターネットの接続状況

また，個人のパソコンのインターネットの接続は9割以上である（図3-23）。

個人のパソコンの利用目的は、学部生で「レポート作成」、「ホームページ閲覧」が多く、次いで「授業の予習」、「メールのやりとり」、「音楽ソフト等のダウンロード」に用いられている。大学院生では「レポート作成」、「ホームページ閲覧」と同じくらいに「研究」のために個人のパソコンを使用している（図3-24）。また、3割から4割程度の学部生、大学院生は自宅や下宿先等から大学情報を見るためにパソコンが使われている。

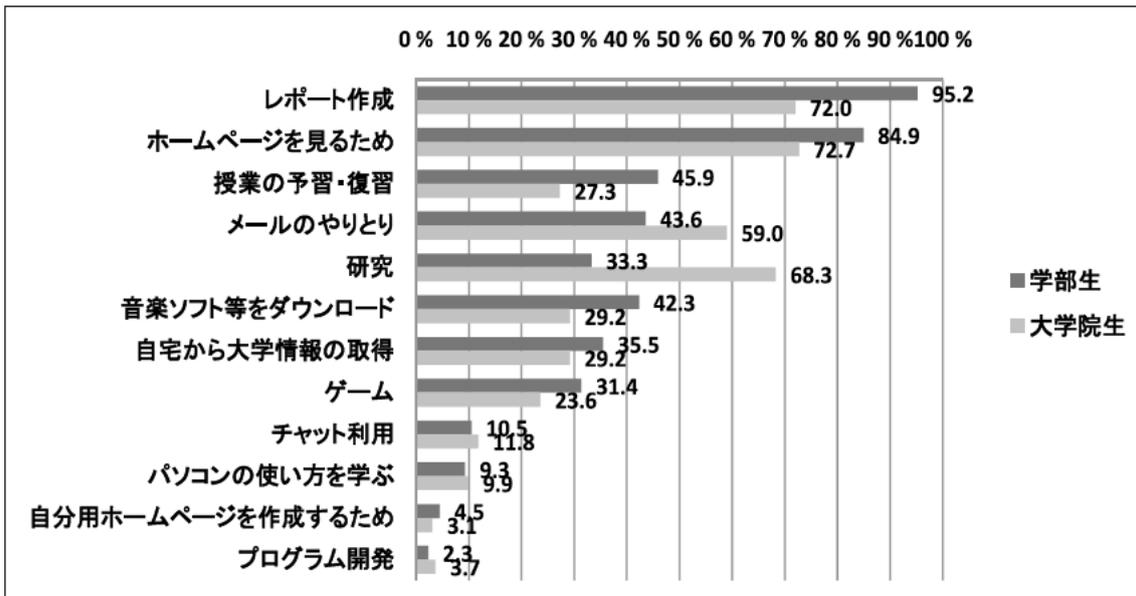


図3-24 自分用パソコンの利用目的（複数回答）

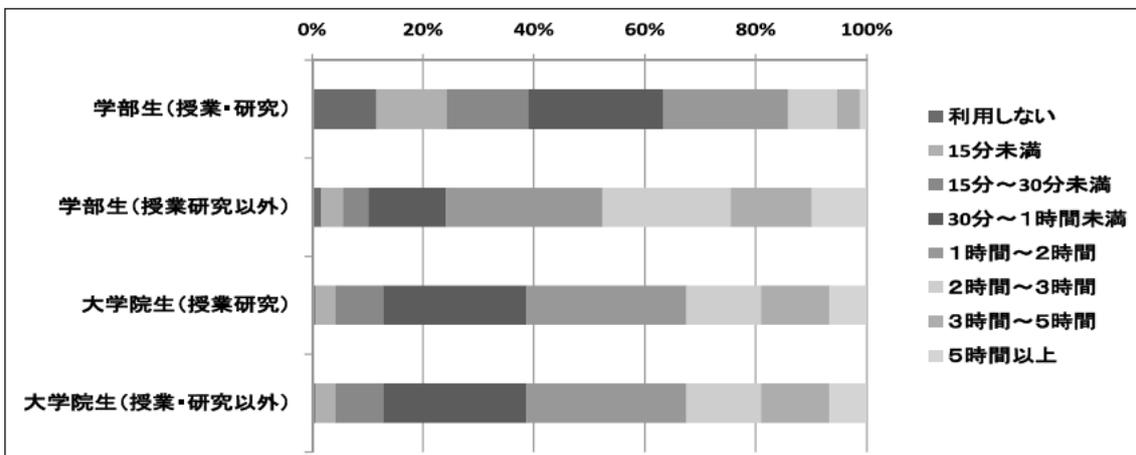


図3-25 インターネットの利用時間

学部生では授業や研究目的でインターネットを利用する時間は「30分～1時間」がもっと多く、次いで「1時間～2時間」が多い。授業・研究以外の利用は「1時間～2時間」、「2時間～3時間」が多い。大学院生では授業・研究目的でインターネットを利用する時間は「1時間～2時間」が最も多く、また、学部生より利用時間も長時間になる傾向にある。

また、授業・研究以外の目的で「2～5時間以上」利用している学部生では38%、大学院生では23%に達している（図3-25）。

3.7 学生用掲示板の利用

学生が掲示板を利用する目的は、「呼び出し確認」や「休講通知」が最も多く、次いで、「奨学金案内」や「単位取得の確認」が多い。しかしながら「全く見ていない」という学部生は3割弱におよび大学院生においては5割が「全く見ていない」と回答している（図3-26）。

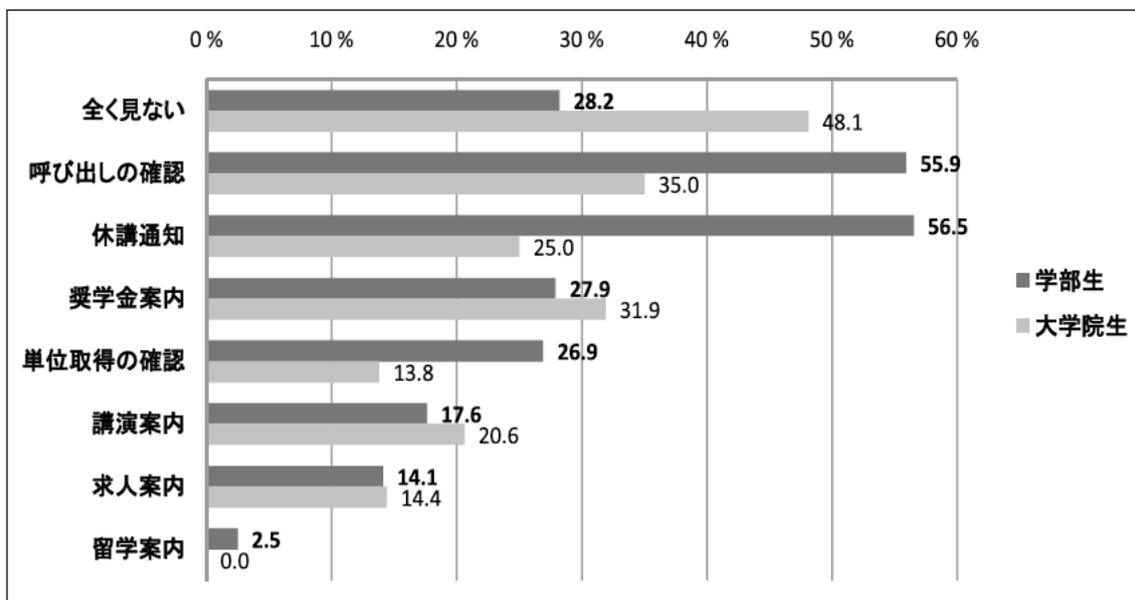


図3-26 学生用掲示板でよく利用する案内（複数回答）

3.8 海外留学について

学部生の3割は「海外留学」をしてみたいと考えており、大学院生では4割である（図3-27）。海外留学の理由としては、「外国語を自由に話したい」と考えている学部生・大学院が7割以上を占めている。学部生では「外国人と友達になりたい」が4割と多い。「海外で生活・就職してみたい」と考えている学生は4割から5割程度である（図3-28）。

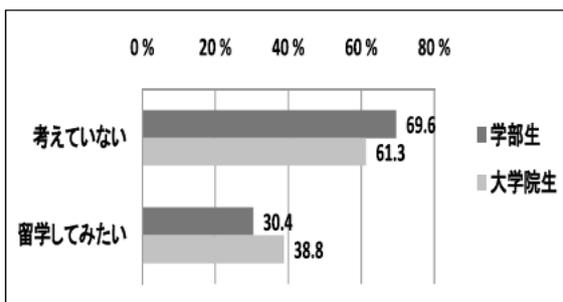


図3-27 海外留学について

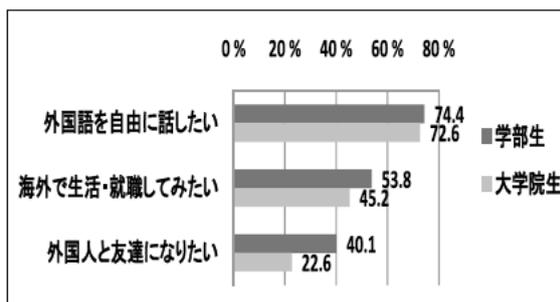


図3-28 海外留学の理由（複数回答）

（葛西真寿・吉田渉）

■第四章 弘大生の進路への希望と考え方

4. 1 卒業後の進路に対する希望

学部生全体のうち、卒業後に就職することを希望する学生は81.2%、本学もしくは他大学の大学院への進学する学生が11.7%であった。前回調査では、就職を希望するのが77.0%、いずれかの大学院への進学を希望するのが13.4%であった。二つの結果を見比べると、近年では、進学よりも就職を選ぶ傾向が強くなってきているのが伺える。

学部別に就職を希望する学生が占める割合を見ると、人文学部で顕著に大きく、92.1%にものぼる。一方、大学院進学を希望する学生が占める割合は、理系学部で大きく、理工学部では20.5%であり、農学生命科学部では、25.0%である。ただし、これらのパーセンテージ値は、前回よりも相当小さくなっており、理工学部では10%強、農学生命科学部では5%近く下がっている。

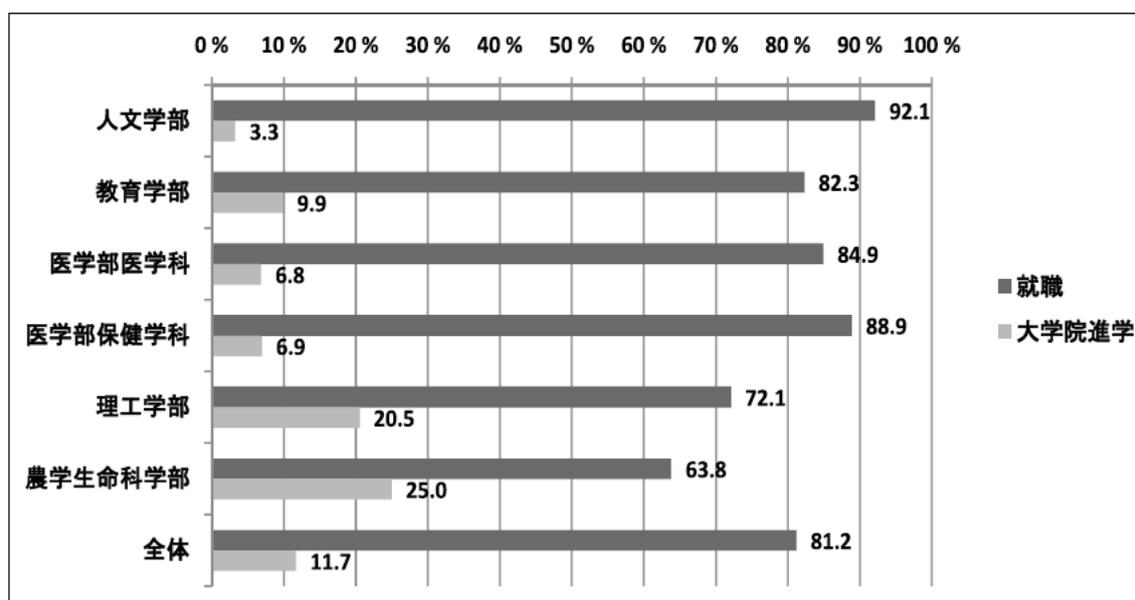


図4-1 卒業後の希望

4. 2 大学院への進学を希望する理由

大学院への進学を希望する学部生のうち、58.9%の学生が「もっと勉強したいから」ということを進学希望理由としてあげている。また、55.5%が「将来、学問・研究の道に進みたいから」、40.4%が「より高い学歴を得たいから」、32.2%が「就職や資格取得に有利だと思うから」という理由をあげている。これらのパーセンテージ値は高いように見受けられ、そのことから、多くの進学希望者は、それにふさわしい向上心を有していることが伺える。逆に、「希望の職に就けなかったから」、「友人が進学するから」という理由をあげたのが、それぞれ3.4%、0.7%に過ぎなかったことから、多くの学生は前向きな姿勢で大学院進学を希望していることが伺える。ただし、15.1%が「まだ就職したくないから」という理由をあげており、この15.1%という値は決して低くないように思われる。まとめると、よりよい将来を展望して大学院進学を希望する学生が多数

派ではあるが、モラトリアムの延長を図りたいという消極的な理由で進学を希望する学生も少なくはない、と言えるだろう。

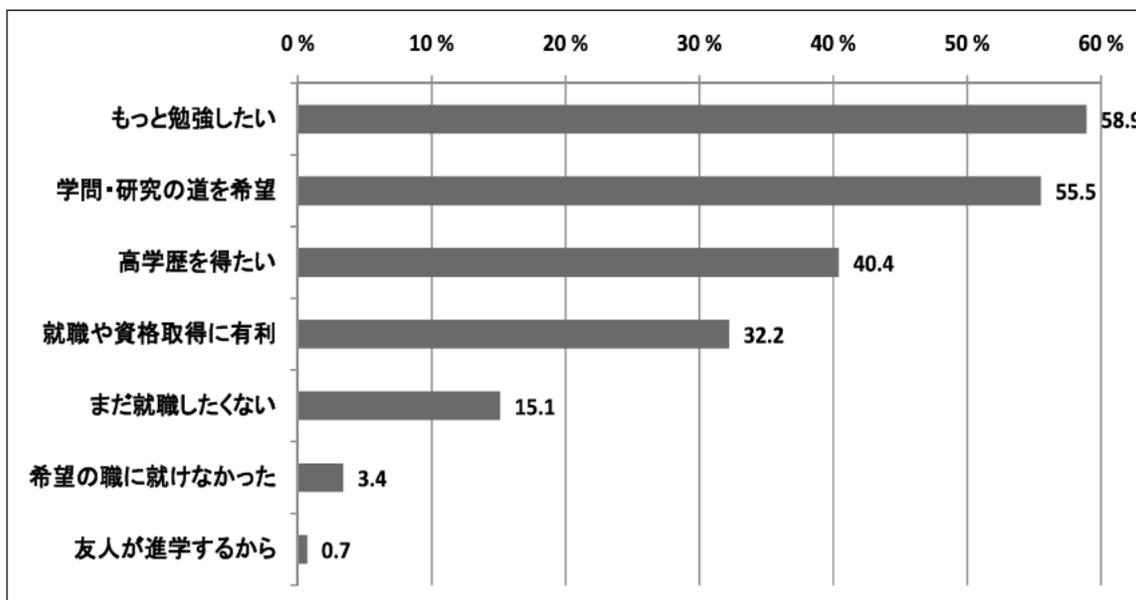


図 4-2 大学院に進学する理由

先述のように、大学院進学希望者が多いのは、理工学部と農学生命科学部である。この両学部間には顕著な違いが見られる。理工学部の場合、「将来、学問・研究の道に進みたいから」をあげたのは 35.9%に過ぎず、全学平均を下回る。一方、農学生命科学部の場合は、79.6%にものぼり、全学平均を大きく上回る。また、理工学部の場合、38.5%の学生が「就職や資格取得に有利だと思うから」を進学希望理由としているが、農学生命科学部では、22.2%に過ぎない。このことから、どちらかと言えば、理工学部の学生は、実利的理由から進学を希望し、農学生命科学部の学生は、学究指向であると考えられる。

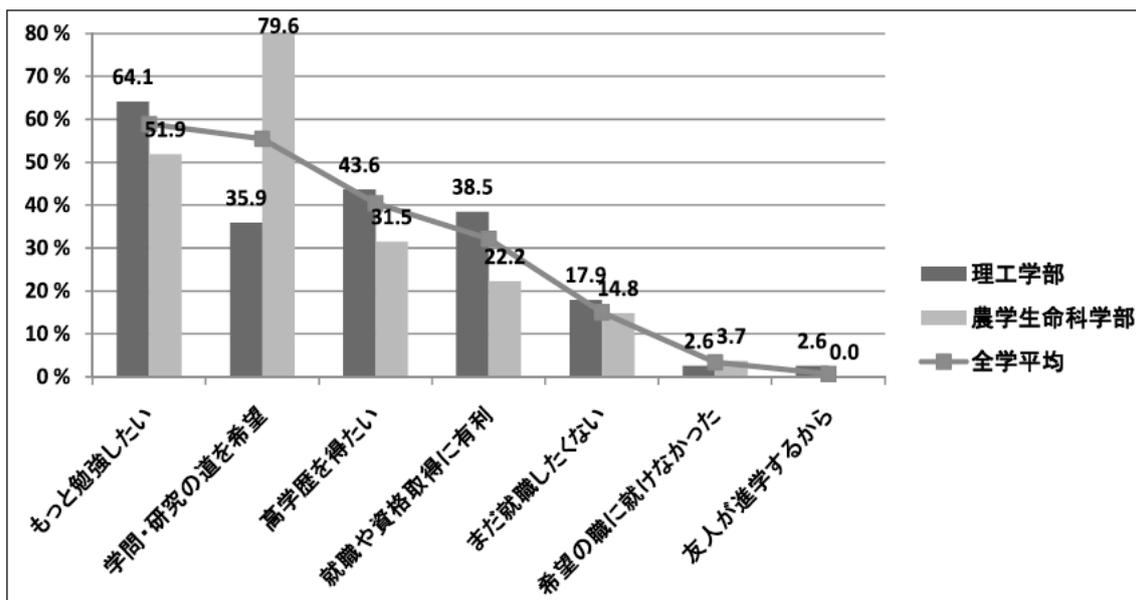


図 4-3 大学院に進学する理由（理工学部・農学生命科学部）

4.3 第一に希望する職種

図4-4は、どのような職種に就くことを第一に希望しているかを学部別にまとめたものである。全体的な傾向は、前回調査の結果と大きく変わっていない。学部の性質上、教育学部では教育職を希望する学生が多く、医学部（医学科，保健学科）では，専門職を希望する学生が多い。理工学部，農学生命科学部などの理系学部では，少なからぬ割合の学生が，研究職を希望している。

人文学部に関しては，前回の調査結果とは大きく異なる点がある。前回調査では，民間企業を希望する学生が最も多く，その割合は43.9%であった。今回も，43.3%の学生が民間企業を希望しており，その割合はほとんど変化していない。ただし，今回は，民間企業希望者は最多数派ではない。今回の最多数派は，公務員希望者であり，その割合は45.3%である。前回調査から今回までの間に，金融危機，世界同時不況があり，我が国の経済も低迷を続けている。そうした中，安定志向の学生が増加し，公務員希望者が増加したという結果に反映しているように思われる。

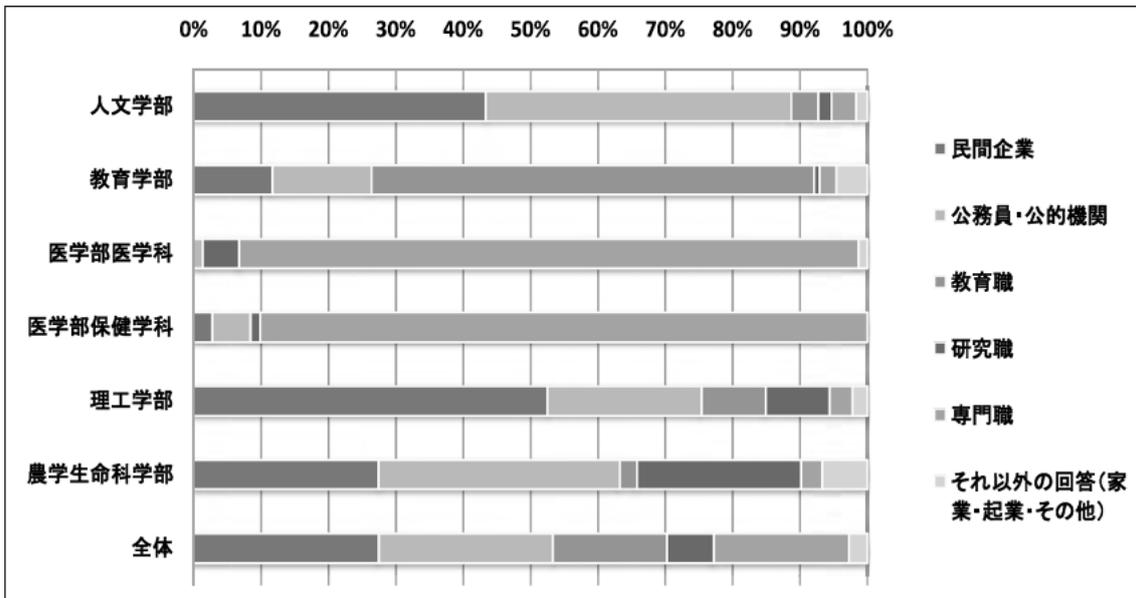


図4-4 第一に就職を希望する職種

4. 4 男女別に見た希望職種

図4-5は、学部生の第一希望職種の男女別である。この結果から分かるように、男女とも、専門職を第一希望とする学生の割合が大きく減少し、民間企業あるいは公務員を第一希望とする学生の割合が大きく増加している。要するに、月々の収入が確実に見込まれる職種に対する人気が強まってきている。また、この傾向は特に女子学生で顕著である。このことは、男子学生については、人気職種の順位が入れ替わるまでには至っていないが、女子学生については、前回調査では最も人気の高かった専門職が、今回調査で三番目の順位となっていることから伺える。こうした変化の背後にも、昨今の経済の低迷があるように推察される。

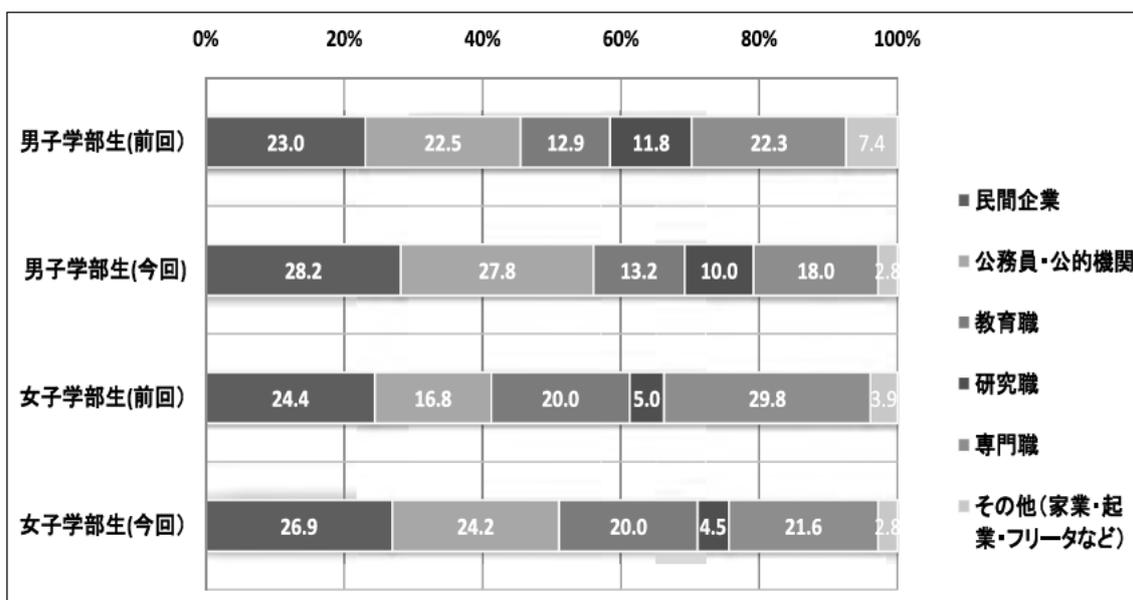


図4-5 男女別に見た希望職種（前回との比較）

4. 5 大都市で就労することに関する意識及び、出身地へのUターン願望

東京や大阪などの大都市で働いてみたいかという問いに対し、「強く思う」と答えた学生が11.4%、「少し思う」と答えた学生が31.7%であった。両者を合わせると、いくらかでも大都市での就労を希望する学生は、全体の約43%であり、このパーセンテージ値は、前回調査とほぼ変わらない。一方、大都市に働きに出たとしても、いつかは出身地に帰りたかという問いに対しては、「強く思う」と答えた学生が45.9%、「少し思う」と答えた学生が35.0%であった。これらを合わせると、80%強の学生が、将来的に出身地に帰りたかと考えていることになるが、これも前回調査と同様である。ちなみに、このような将来的なUターン願望は、教育学部と医学部保健学科の学生の間で強い。将来的に帰りたかと回答した学生の比率は、教育学部で84.4%、医学部保健学科で88.2%であった。これまた前回調査と同様である。総じて、相変わらず本学学生の強い地元志向を感じさせる調査結果となった（図4-6）。

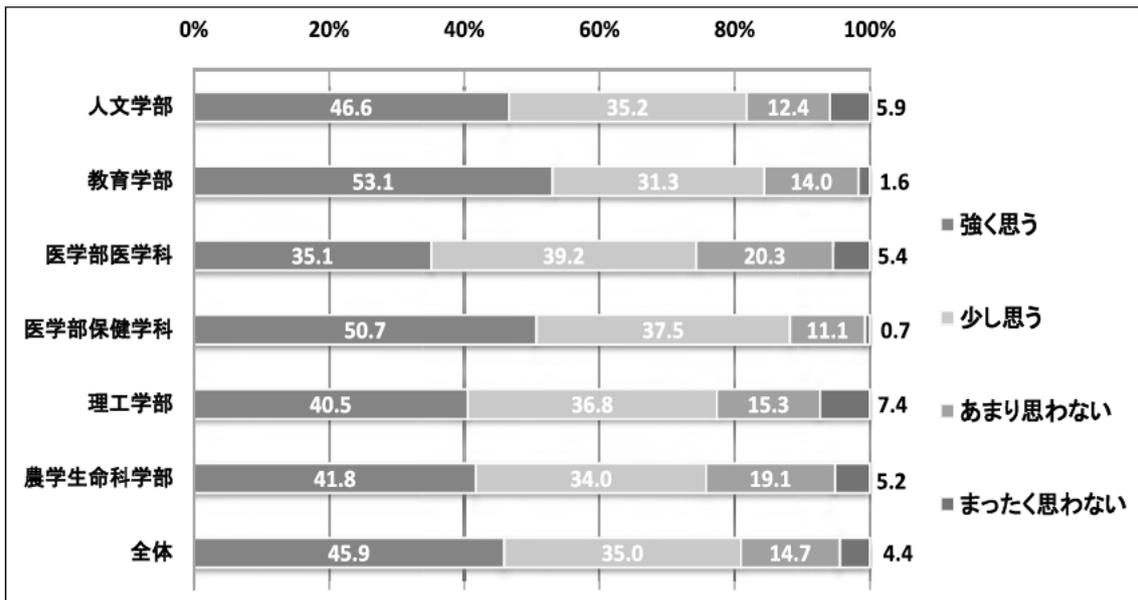


図 4-6 出身地へのUターン願望

4. 6 職業選択上で重視することについて

職業を選択する上で重視することは、図 4-7 が参考になる。近年の雇用情勢を反映し、医学部医学科以外は「安定した生活が保障される」を1番多くの学生が選択している。全体で71.9%の割合である。次に、「知識や技能が活かせる」、「十分な収入が期待できる」、「好きなことを仕事にできる」が多く選択されている。

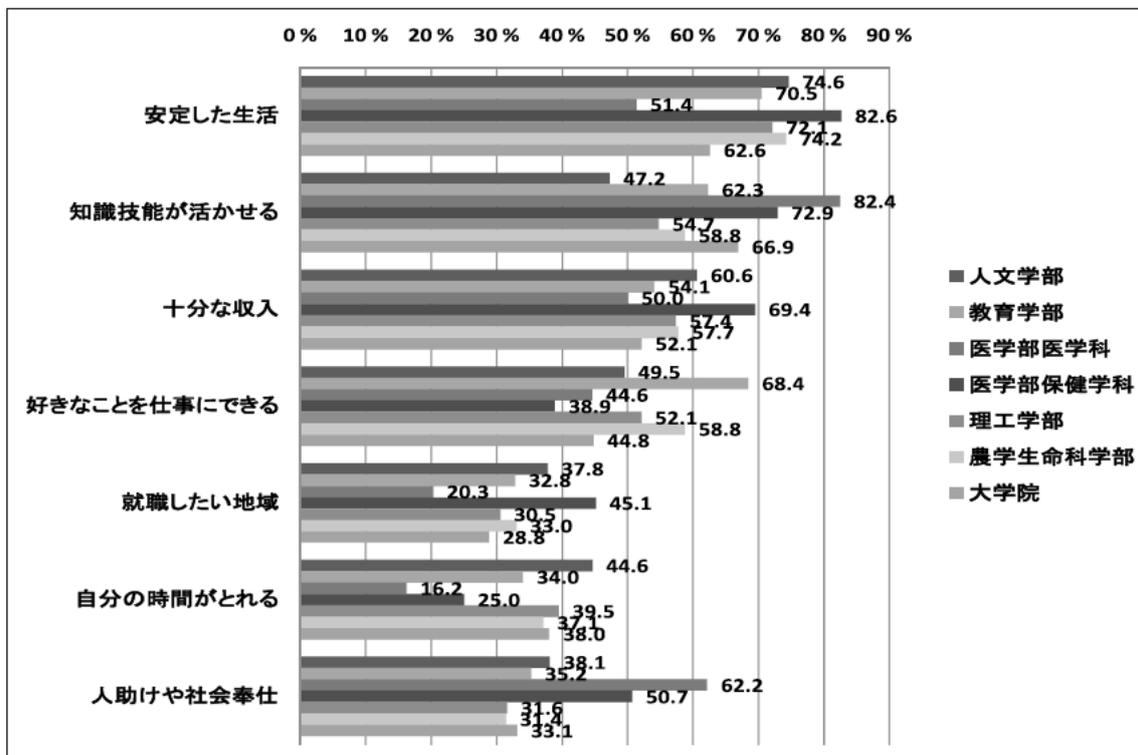


図 4-7 職業選択で重視すること

4. 7 就職や進学についての教員や大学への要望について

就職あるいは進学についての教員や大学への要望については、図4-8が参考になる。「大学としてみっと積極的な対策を講じてほしい」が36.8%、「大学に就職先の開拓にもっと積極的に取り組んでほしい」が35.0%、「教員にもっと積極的に助言、指導、斡旋をしてほしい」が35.4%、「教員にもっと人材育成に積極的であってほしい」が24.7%であった。「特に希望することはない」が26.2%であった。

4年前の調査時における「特に希望することはない」学生が25.4%であったことから、大学や教員が学生への就職支援に取り組みが浸透している結果が明らかになっている。

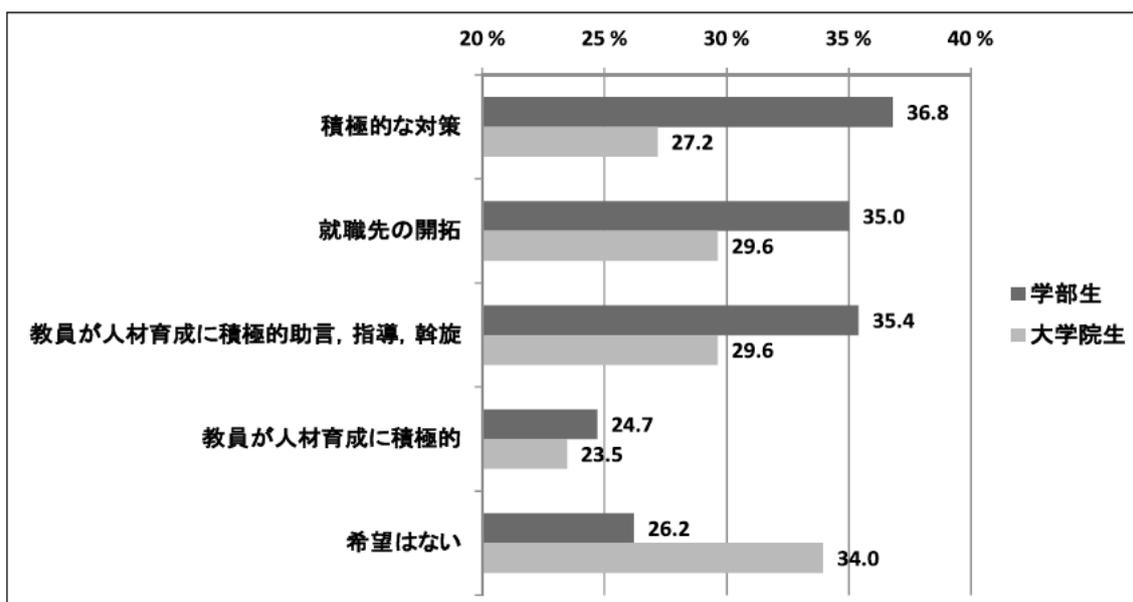


図4-8 就職あるいは進学についての要望

4. 8 学生就職支援センターの利用について

「利用した」、「今後利用したい」を合わせると、69.4%の学生が学生就職支援センターを通じた就職活動を行うことが明らかになった。その一方で、12.8%の学生が「存在を知らなかった」、「場所を知らなかった」と回答している。特に医学部保健学科の学生は50.0%の学生が「利用した」または「今後利用したい」と回答している一方で、

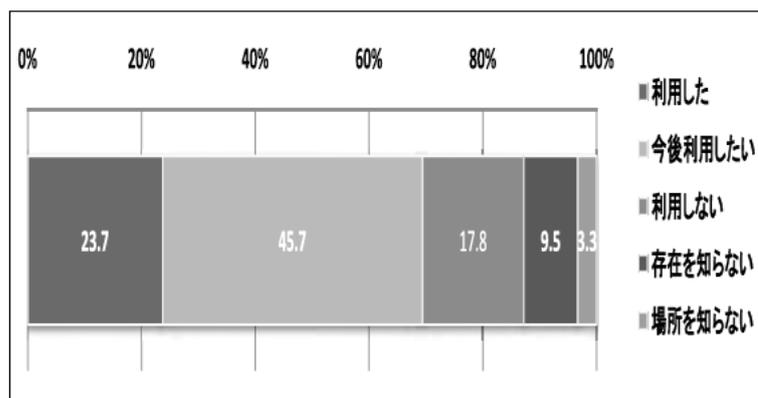


図4-9 学生就職支援センターの利用

22.9%と高い割合で「存在を知らなかった」、「場所を知らなかった」と回答している。周知の徹底等の何らかの対策を講じる必要があると考えられる。

(増山篤・佐藤友暁)

■第五章 弘大生の学生生活と人間関係

学生がどのような大学生活を行い、どのような人間関係を築いているのかは、学生生活の満足度にとって重要な意味をもつ。人間関係が希薄になったといわれる現代では、その実態を確認しておく意義は大きい。また、そうした学生たちが社会へどのような関心を持ち、日常的なツールとなった携帯やパソコンをどう活用しているかについても、その特徴を明らかにしておく必要がある。さらには、そうした学生たちに対して弘前大学が十分な支援を行えているのかも確認しておく必要がある。

この章では、学生生活実態調査の結果に基づき、これらの点を検討する。具体的な観点として取り上げるのは、「1 クラブ・サークル活動」、「2 人間関係」、「3 興味や個人的な関心」、「4 社会への関心・メディア利用」、「5 ネットワーク利用」、「6 キャンパスにおける環境」の6点である。なお、ここでは主に学部生に対して述べたものであり、「大学院」などの記述がないものはすべて学部生について述べたものである。

5. 1 クラブ・サークル活動

大学生活におけるクラブやサークル活動は重要な要素である。今回の調査では、弘大生のクラブやサークルに所属している割合は76%であり前回及び前々回の調査より10ポイント以上の上昇となった。男女差は小さいもののこれまで男子がやや多い傾向であったが、今回は逆転して女子の方が多くなった。また学部別に見た場合、教育学部のみ84%と高く他学部は75%前後であった。教育学部の場合、学生の段階から学校現場（小学校～高校）におけるクラブ活動などを意識した影響が現れているのかもしれない（図5-1）。

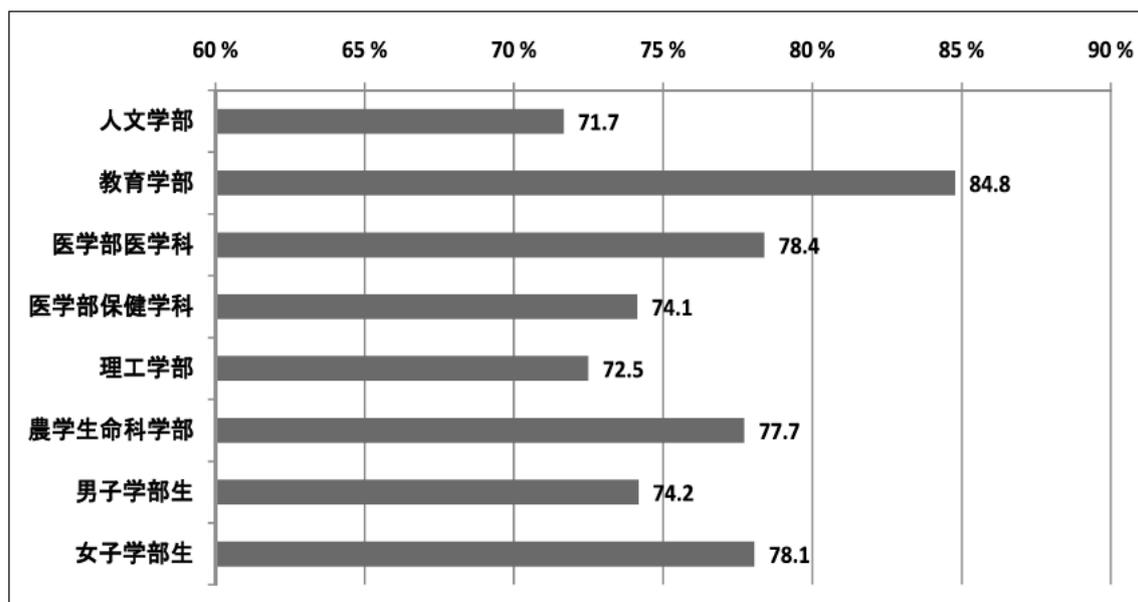


図5-1 学内のクラブやサークルへの所属

クラブやサークルに所属している学生に対して「所属してよかった理由」については、前回調

査とほぼ同様ではあるが全体的に各項目ともに値の上昇が見られる。男女差は基本的にはないが、「健康維持に役立っている」については男子が女子に対して 20 ポイント近く高い。この傾向は以前の調査でも同様であり，要因は不明である（本調査では所属クラブの詳細は不明）が，男子はスポーツ・体育系を，女子は文科系を中心に所属しているなどといった理由が考えられる（図 5-2）。また，「友人ができた」は 91%にも達し，クラブやサークル活動が人間関係に大きく寄与していることが分かる。これ以外の項目でも，「人との接し方を学べた」，「責任感や協調性が身についた」といった人間関係に関する項目が 40%を超えている。

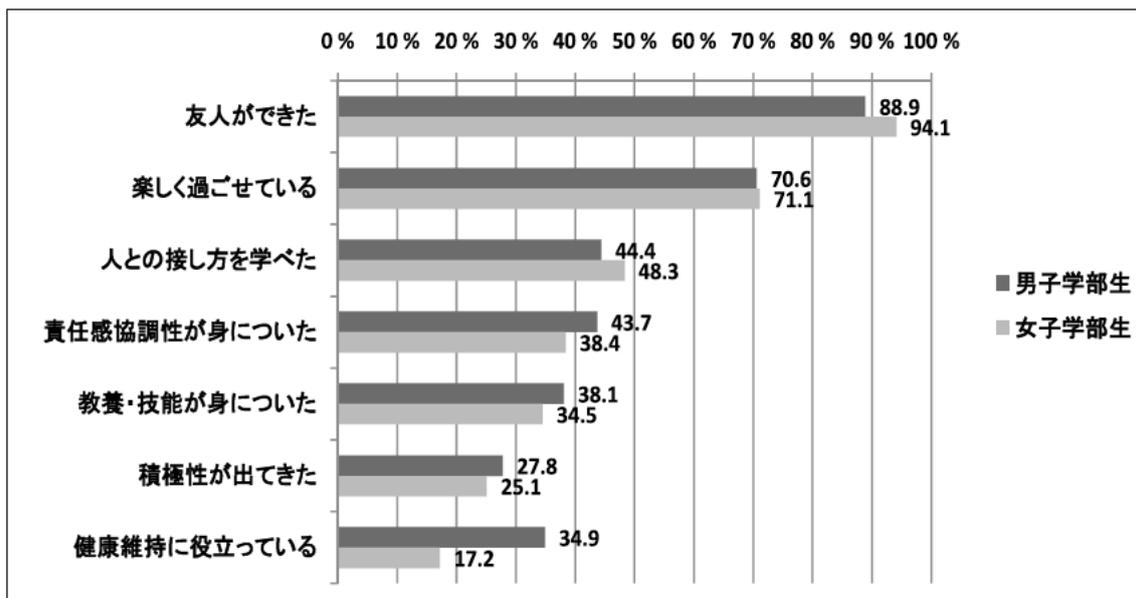


図 5-2 クラブやサークルに入って特によかったと思うこと

問 38 の学内外の平均友人数は，クラブやサークルに所属の有無で 2 群に分けた場合，学内外ともに平均の友人数はクラブやサークルに所属している学生の方が 10 人ほど多くなっている。この傾向は親しい友人数についても同様に見られる（図 5-3）。

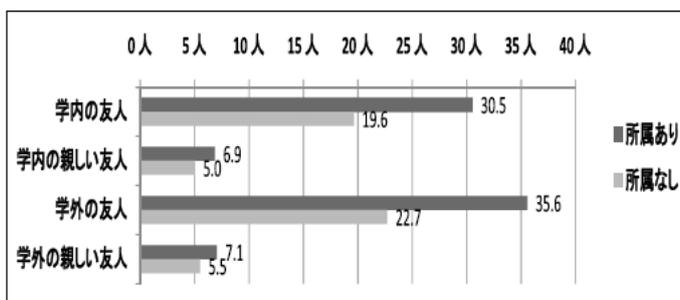


図 5-3 クラブ・サークル所属の有無による平均の友人数

ところで、クラブやサークルに所属していない学生の「クラブやサークルに所属していない理由」についての結果は、男女差や以前の調査結果と比較して大きな変化はなかった。ただし、人間関係を示す「生活を拘束されたくない」や「人間関係が面倒」については5ポイント以上増加しており、人間関係が希薄化・孤立化する傾向が見られる（図5-4）。

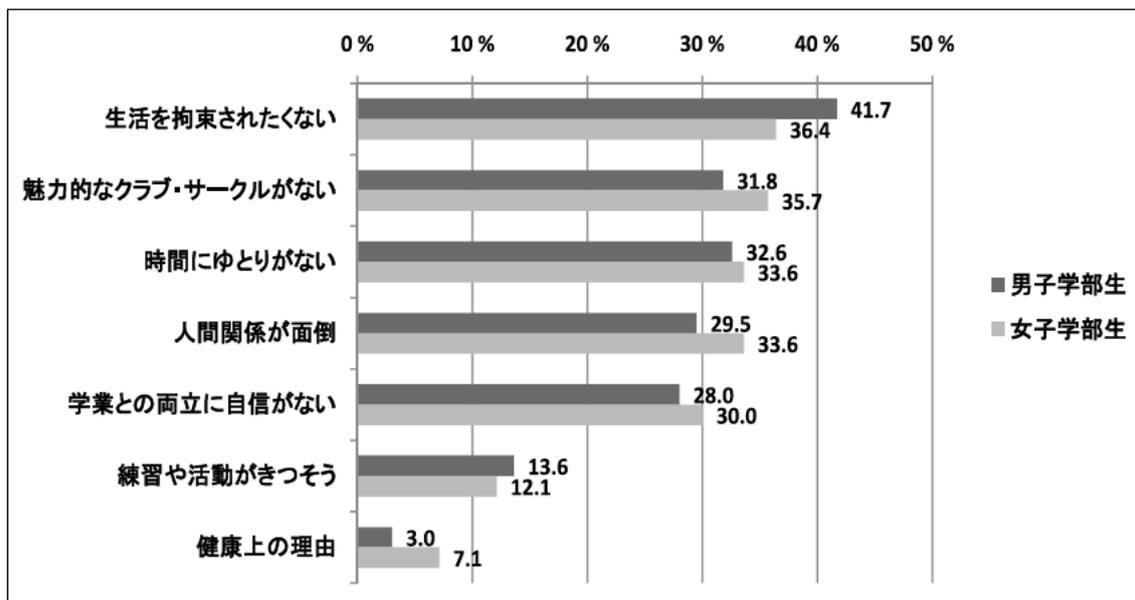


図5-4 クラブ・サークルに所属しない理由

5.2 人間関係

昨今、人間関係の希薄化・孤立化が関連すると思われる凶悪事件が増加する傾向が見られる中で、学生の「友人・人間関係」の状況を把握することは意義深い。学内外の友人の有無については、男女や学部間で多少のバラツキはあるが「学内に友人がいる」との回答は97%であり、「学外に友人がいる」との回答も93%以上であった。しかし一方で「学内に友

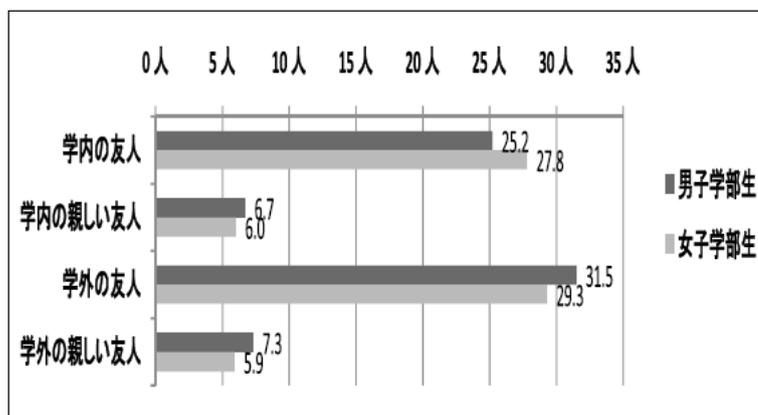


図5-5 平均の友人数

人がいない」との回答が男子で4%、女子で1%弱という結果であった。学内外の平均友人数は以前の調査とほぼ同様の結果であった。これらの結果は男女間においてひとつの共通した傾向が見られる。それは、学内の平均友人数のみ女子の方が男子より多く、それ以外（学外の平均友人数、学内外の親しい平均友人数）はいずれも男子の方が女子より多い、といったことである。この傾向をステレオタイプ的に解釈するならば、女子は男子と比較して、身近に多くの友人を作り親友を厳選する、ということになる。もちろん、個人差は大きく一般論的な見方であることは言うまでもない（図5-5）。

学部別で見た場合、学内外の友人の有無についてはあまり差はないが、学内外の平均友人数には学部の傾向が見られる。これは前回調査と同様、教育学部や医学部（医学科、保健学科）などの人とのコミュニケーションを重視する学部（卒業後の職業として教員や医療スタッフ）においては、学内外の平均友人数も多い。ただし、学内外の親しい平均友人数はほとんど同様である。また、学年の進行に伴う友人数の推移は男女ともに学内の平均友人数は増加、学外の平均友人数は減少する、という自然な傾向が見られる。（図5-6）。

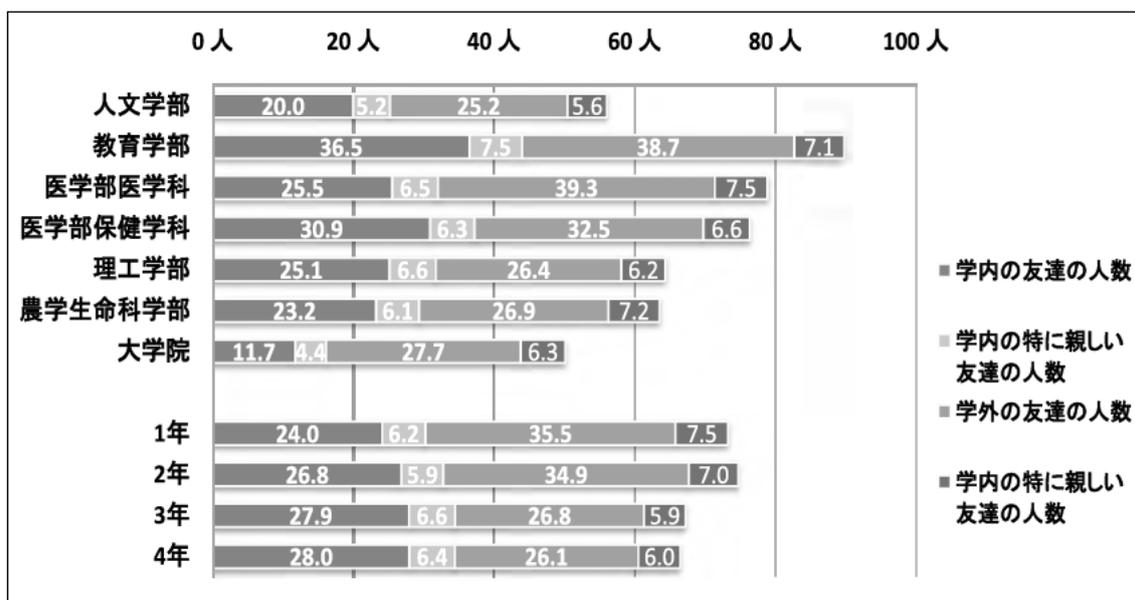


図5-6 学部や学年ごとの平均友人数

女子は男子より全体的に人間関係を大事に考える傾向があり、結果として友人関係は男子より良好、といったことが問39（「大切にしている人間関係」）と問41（「友人関係の全体的な状況」）の結果から読み取ることができる。これも前回調査と同様である。

ところで今回の調査でも、学内外に「友人がいない」と回答した人の割合は数%であった（前回調査は5%）。「学内に友人がいない」の回答者（26人）のみで「友人関係の全体的な状況」を集計すると「あまりうまくいっていない」と「うまくいっていない」の割合は40%に達している。また、問41（人間関係）と問64（悩みの相談）についてクロス集計してみると、「うまくいっている」～「まったくうまくいっていない」に従い、「悩みがあっても相談しない」や「相談する人がいない」の割合が増加し、「友人」や「家族」の割合が減少しており、ひとりで悩みや問題を抱え込んでいる状況が分かる。一方で、「教員」、「事務職員」、「保健管理センター」、「学生なんでも相談」といった大学関係の項目の割合はきわめて低く値の変動も見られないことから、学生の相談窓口としてはほとんど機能していないことが分かる。昨今の社会情勢なども考慮すると大学として形だけの学生に対する相談窓口だけではなく、学生にとって使いやすい・問題解決できる（カウンセリングなど）ように体制を整える必要があると思われる（図5-7）（図5-8）。

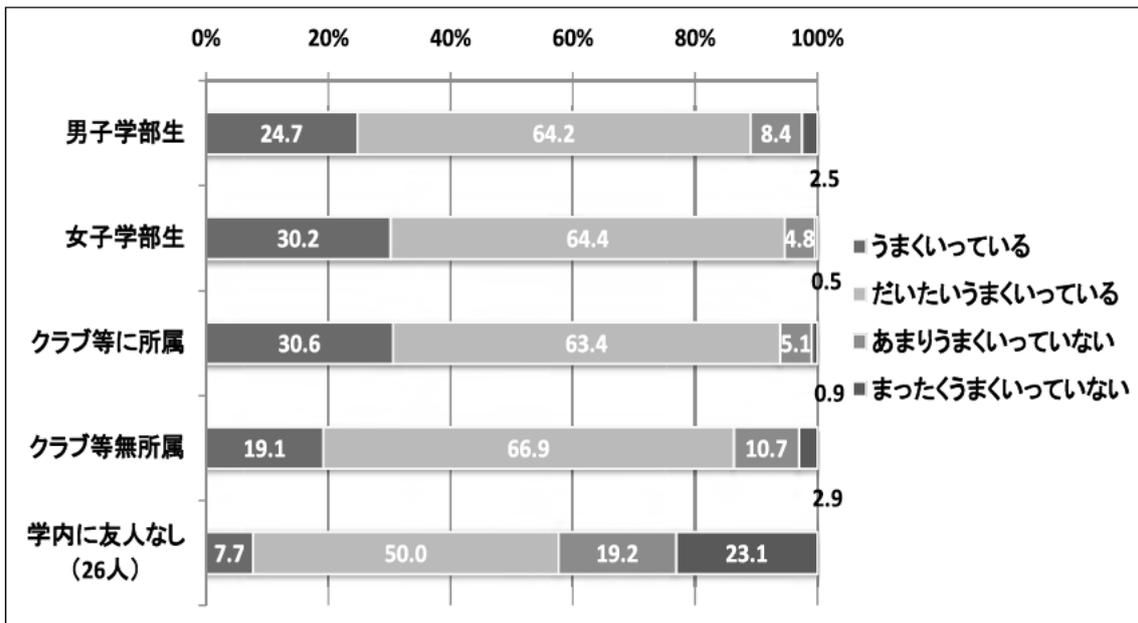


図 5 - 7 友人関係の状況

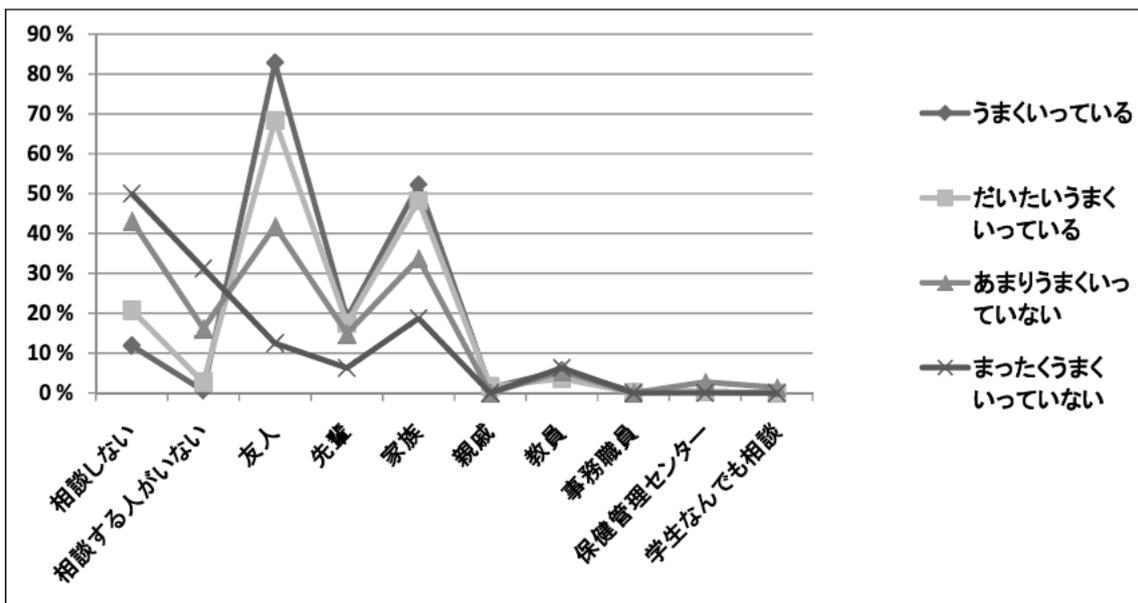


図 5 - 8 友人関係と相談対象

ところで日本国内の大学一般には本学に限らず、大学の国際化の流れや大学の経営戦略といった状況から、積極的に留学生を受け入れるようになってきた。本学における留学生との関係についてみると、「留学生と話をする機会が（ほとんど）ない」との回答が80%にも達する。これは男女ともに同様であり、前回調査ともほぼ同様で

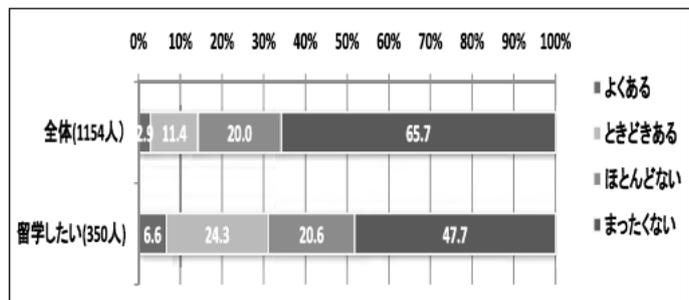


図 5 - 9 留学生と話す機会

ある。ただし、留学を考えている人だけで集計するとこの数字は15ポイントほど改善する。昨今の社会情勢の中、留学を志望する学生の減少が問題視されてきており、留学の推進、留学生の受け入れ、学生同士のコミュニケーション・交流といったことが有機的に機能するようなひとつのシステム・体制づくりが望まれる（図5-9）。

なお大学院における人間関係は、大学院としての状況がよく反映している結果となっており、全体的に問題はないように思われる。例えば友人数は、学部生と比較した場合、学内の友人（親しいを含む）の割合及び人数ともに少ない。一方、学外の友人（親しいを含む）については割合及び人数ともに学部生とほぼ同じとなった。また大切にしている人間関係では、「研究室やゼミ」は学部生とほぼ同じであるが、教員との関係は高く、逆にクラブ・サークル関係や高校以前における人との関係はいずれも低くなっている。人間関係の状態（良好／良好でない）についても、ほぼ学部生と同じであるが、修士課程の人は「うまくいっている」の比率が他に比べて（博士課程、学部生）10%程度高くなっている（「あまりうまくいっていない」などはほとんど同じ）。この理由としては修士課程では内部からの進学する比率や人数が多く、学部からの人間関係が継続し安定すると思われる。

5.3 興味や個人的な関心

興味・関心は、「趣味・遊び」が78%と最も多く、「進路」が66%、「友人関係や恋愛」が65%、「授業・勉強・研究」が62%と続いており、この世代における特徴がよく表れている。この結果は以前の調査とほぼ同様の結果であったが、全体的に各項目とも前回よりポイントが上昇している。特に「政治・社会問題」、「授業・勉強・研究」、「進路」の値がこれまでより5ポイント以上（ほとんど男女とも）増加しており、昨今の厳しい社会情勢（就職氷河期など）といったことが影響していると思われるが、一方でアンケート自体の回収率の低下に伴ったことによる数値の上昇の可能性もあることに注意する必要がある（図5-10）。

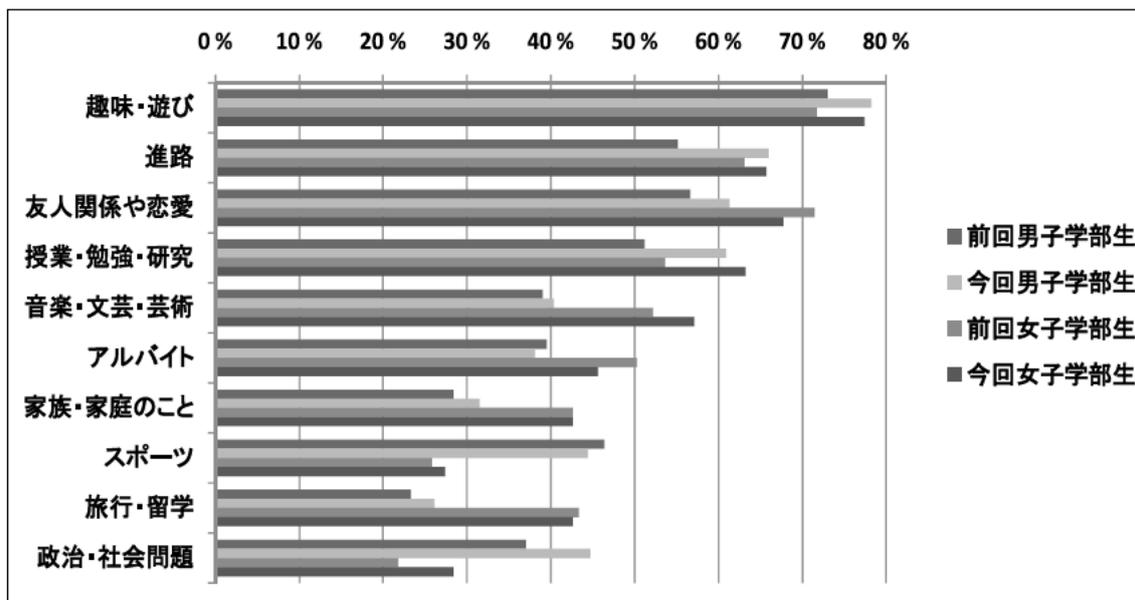


図5-10 興味・関心の前回調査との比較

少し詳細に見ていくと、項目ごとに男女差、学部間の差などがある。例えば、男女間の差が前回と今回ともに10ポイント以上の差となった項目は「政治・社会問題」、「スポーツ」、「家族・家庭」、「音楽・文芸・芸術」、「旅行・留学」であり（前の2項目が男子優位、後の3項目が女子優位）、男女の好みの違いがよく表れている。一方、前回調査では男女差が大きかったが本調査では差が小さいものもあった。5ポイント以上に差が縮まった項目は「友人関係や恋愛」と「進路」であった。ちなみに男女差がより大きくなった項目はなかった。

また前回は報告した学部ごとの差は前回調査とほぼ同様の傾向である。例えば教育学部や医学部保健学科は「友人関係や恋愛」は他学部と比べて高いが、「政治・社会問題」は低い（人文学部は高い）。そのような中で医学部医学科は変化が大きく、多少異なる項目がある。前回調査に比べて10ポイント以上変化した項目は「政治・社会問題」、「授業・勉強・研究」、「友人関係や恋愛」、「進路」の4項目と多く（前の2項目が増加、後の2項目が減少）、「進路」と「アルバイト」については他学部とはかけ離れて低い値となった。要因としては、医師不足（医療の崩壊）という社会情勢の影響が大きいと考える（例えば、進路はほぼ決まっている）。それ以外にも「アルバイト」では、親の経済状況や授業時間などの関係といった要因も考えられるが、「友人関係や恋愛」の減少の理由については不明である（図5-11）。

ところで大学院における興味・関心は、先の間人関係と同様に大学院としての状況がよく反映されている。例えば「授業・勉強・研究」の割合は学部生に比べて顕著に高く、「友人関係や恋愛」や「音楽・文芸・芸術」の割合は学部生に比べて顕著に低くなっている。さらに、修士課程と博士課程でも傾向に差があり、博士課程では「趣味・遊び」、「進路」、「アルバイト」の割合が顕著に低く、「家族・家庭」の割合が高くなっている。これは年齢の推移（修士の平均年齢：25才、博士の平均年齢：33才）による状況の変化（結婚や就職などの人生設計）と思われる。

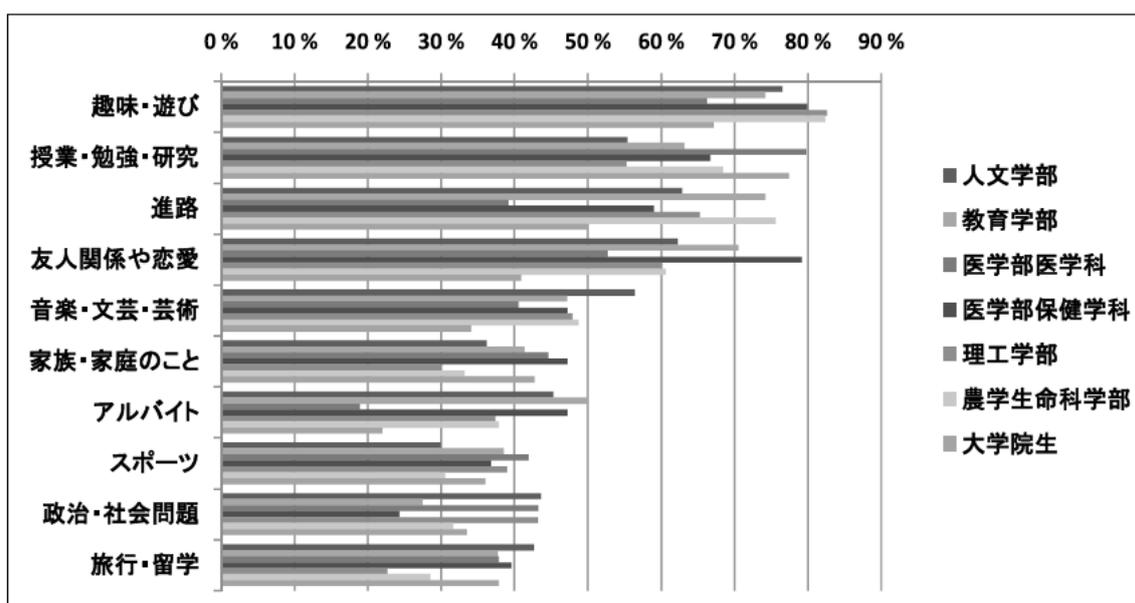


図5-11 興味・関心（学部・大学院別）

5. 4 社会への関心・メディア利用

社会の IT 化に伴い、ニュースや情報が飛躍的に増大するのみならず、その手段も大きく変化してきている。特に、新聞や本といったメディアの衰退・活字ばなれが危惧され、パソコンや携帯電話といった携帯電子機器が普及・手近になった環境において「情報・コミュニケーション」は学生生活において重要なものである。

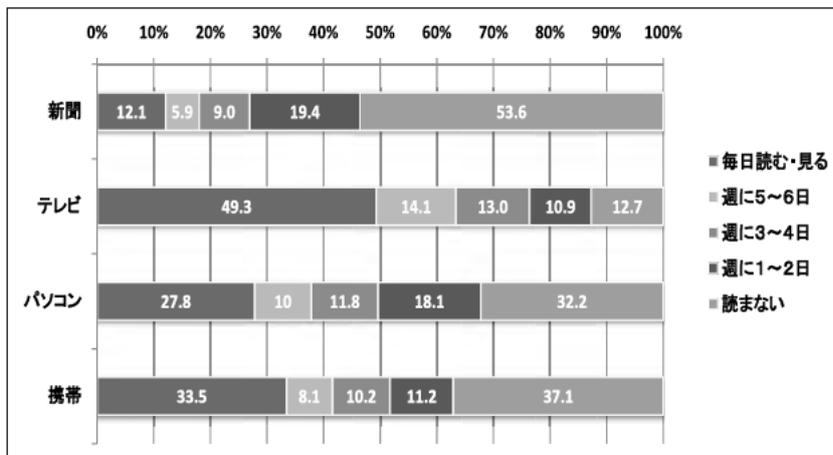


図5-12 1週間におけるメディアの利用回数

新聞離れの現象はさらに顕著

化しており「新聞は読まない」という回答の割合がついに50%を超え、「毎日読む」という回答の割合が12%にまで落ちてきた。一方で、テレビのニュースについては「毎日見る」割合は49%、パソコンや携帯電話でのニュースは「毎日見る」割合は30%前後であった。この世代にとっては、明らかに新聞はニュースソースとしての役割を終えていることが分かる。このことは大学院とのデータを比較するとよりハッキリと表れる。例えば、メディアごとに回答項目の割合を比較すると、新聞では「毎日見る・読む」の割合は博士課程が高く（学部：12%、博士：39%）、「新聞は読まない」の割合は博士課程が低い（学部：54%、博士：28%）。逆に携帯電話ではこの傾向が逆転する。ただし、学部生と修士課程の差については、新聞ではほとんど差がないが携帯電話では学部生と博士課程の中間的な傾向となっている（図5-12）。

メディアごとに1日あたりのニュースを見る時間を比較すると、パソコンや携帯電話のデジタル機器は旧来からのメディアに比べて短時間であり、これらの機器や利用形態からくる特徴をよく表している。一方、新聞については前回調査とほとんど変化はなかったが、テレビについては前回調査より短時間化する傾向が見られた。この要因はデジタル機器やインターネットによる影響と考えられ、今後、地上波デジタル放送の普及（特にワンセグ）に伴い、メディアの融合が進むことが予想されることからこの傾向はさらに顕著化するものと考えられる。

実は本調査では、問48（「ニュースの関心を持って見る・読む部分」）で設問のミスがあった。この回答は本来、複数回答が想定される（新聞などのニュースは通常、一項目のみを見る・読むことは一般的ではない）が、本調査では一項目のみを回答する形式になってしまった。以前の調査では、複数回答が可能であったこともあり、これまでとはかなり異なる結果となった（本来、比較すべきではないが）。本調査では、「トップニュース」は78%であるが、それ以外のどの項目とも10%またはそれ以下と極端に少なくなっている。このことは「トップニュース」の重要性は表してはいるが、上記の理由から傾向の推移については不明である（図5-13）。

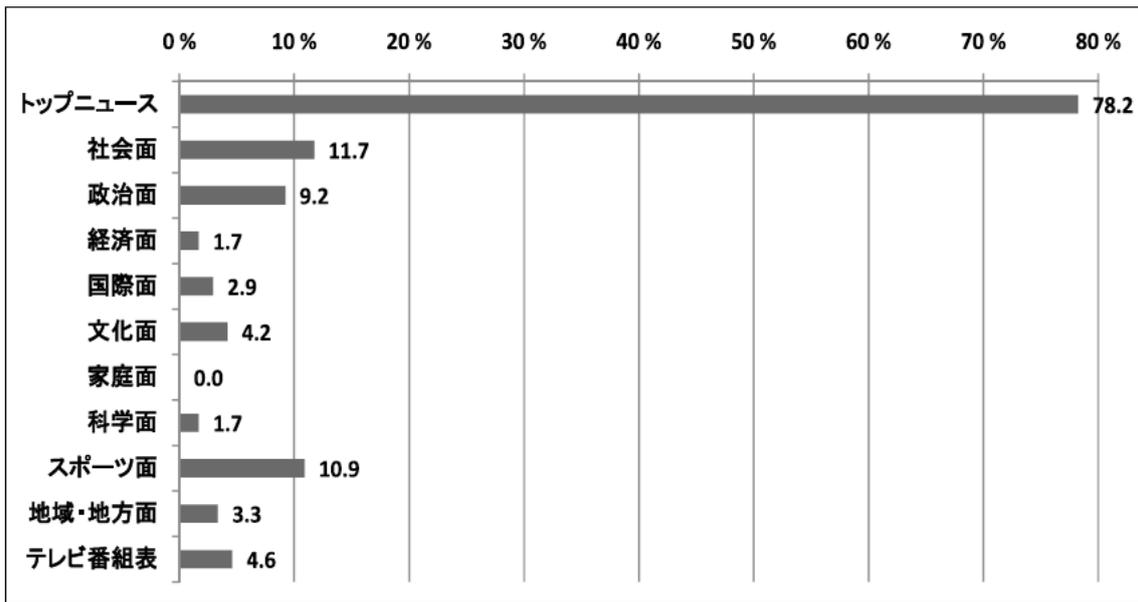


図 5-13 各メディアで見る・読む分野

5.5 ネットワーク利用

インターネットを含むパソコンや携帯電話はこの 10 年間で我々の社会生活に定着・浸透した。これは問 24～26 の結果にも現れており、いまの学生はデジタルネイティブ、デジタル世代などと呼ばれているくらいである。電子メールも日常的に使われており、電子メールを使わない人の割合は全体の 1% 弱に過ぎない。そのためか、メールの書き込み時間は、前回調査よりやや短くなる傾向がある。また男子と女子では、女子の方が長く利用する傾向があり、他と同様に女子はコミュニケーションを重視しているとも言える。本調査では電子メールの使用機器は明らかではないが、問 24 において自宅に PC がある人は 100% 近くいるにもかかわらずメールの利用は 45% ほどであることから、電子メールの使用機器は半数以上の人々が携帯電話・携帯端末によるものと思われる。

このような状況から、インターネットに関連するトラブルも増加してきている。ただし、前回調査と比較してみると、男子はほとんど同じであるが女子は 10 ポイント以上も増加している。トラブルの内容についても変化が見られる。前回調査ではコンピュータウィルスの感染といったことが男女ともに 60% 前後と最も多かったが、コンピュータセキュ

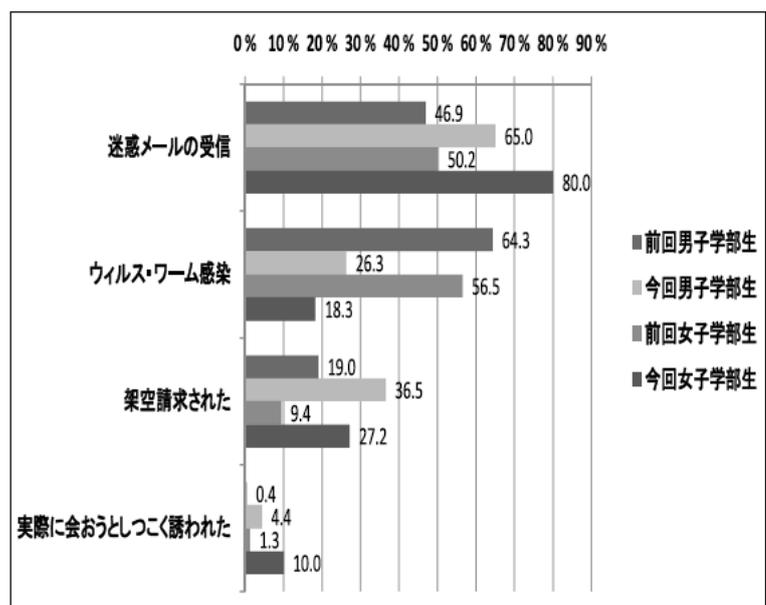


図 5-14 インターネットでのトラブル

リティへの意識が向上するとともにウィルス対策ソフトの導入が一般化したこともあり本調査では20%前後となり大きく減少した。一方、迷惑メールは前回調査でも50%と高かったが、さらに増加し73%となった。特に女子は80%と高い。また、架空請求も前回の15%から31%へと増加してきており、オレオレ詐欺などと同様に詐欺のひとつの手段として定着してきており、今後とも注意する必要がある。さらに、しつこく誘われるといったストーカー的な内容も女子に増加する傾向にあり、女子の場合、注意が必要である。なお、大学院との差は迷惑メールと架空請求の項目以外には違いはなかった（この2項目のみ学部生がかなり高い）（図5-14）。

トラブルの割合は1日の平均利用時間に関係している。問25（授業や研究のインターネット利用）と問26（授業や研究以外のインターネット利用）と問50（インターネット利用でのトラブル）についてクロス集計してみると、1日の利用時間が長いほどトラブルの割合が高くなる。ただし、この結果を見る時にはいくつか注意が必要である。ひとつは、単に各問についてのクロス集計であり、「授業や研究」や「それ以外」でのトラブルの割合を意味してはいない。もうひとつは、「まったく利用しない」人でもトラブルがあるのは、用途が「授業や研究」または「それ以外」のどちらかで利用しているためである。しかし、両方とも「まったく利用しない」と答えている人の中で「トラブルがあった」との回答が1人いた（図5-15）。

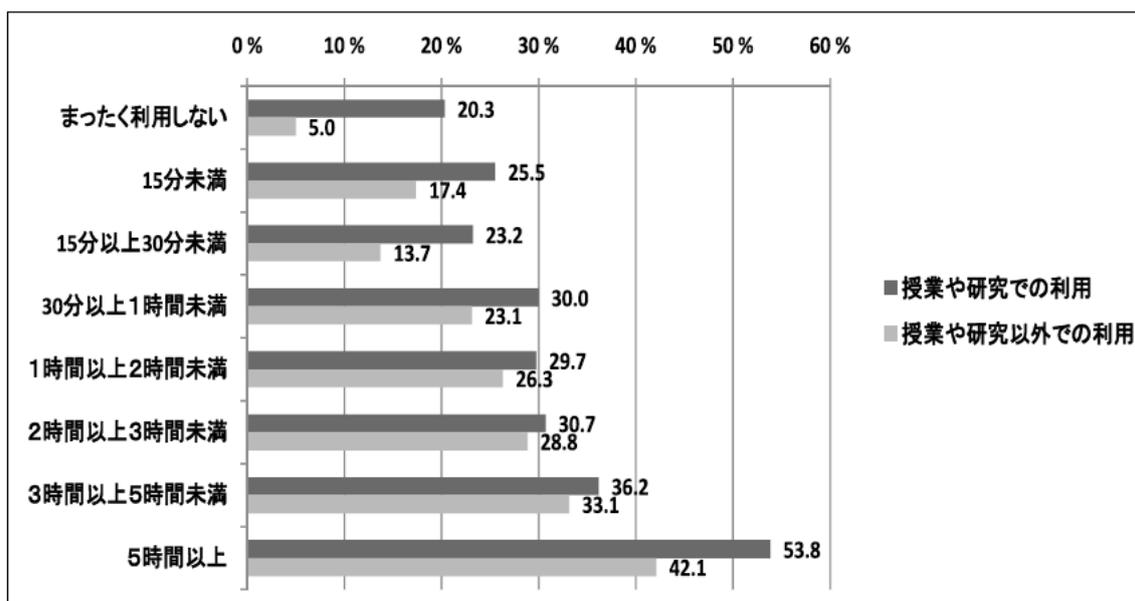


図5-15 インターネットの利用時間とトラブルの割合

5. 6 キャンパスにおける環境

(1) 通学

通学は毎日の学生生活の中でもっとも基本となる要素のひとつであり、特に本学のように冬の環境が厳しい地域においては重要である。加えて、自宅生よりアパート・学生寮・下宿生が多いため、通学は住宅状況の指標でもある。

通学時間が10分以内である割合は64%であり、全体の平均通学時間は16.7分であった。自宅、下宿、アパート、学生寮ごとに通学の平均時間を求めると、それぞれ、42.4分、18.2分、14.3

分、25.2分であり、自宅生の通学時間は他と比べて2倍程度長いが、平均通学時間が約17分という値は全国大学生協での調査結果（全国平均で72分、東北地方の平均で40分）と比較してもトップクラスであり、本学周辺の下宿やアパートの住宅状況は良好とも言えよう（図5-16）（図5-17）。

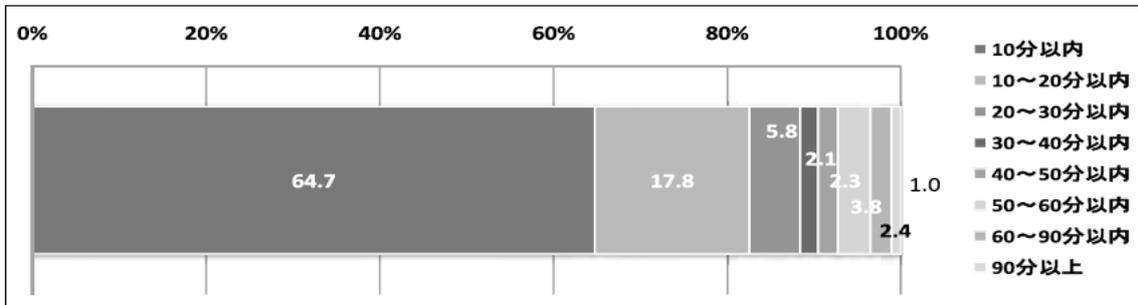


図5-16 通学時間の分布

ところで、通学における交通手段であるが、このような状況から徒歩や自転車が多数。中でも自転車を利用している人は84%である。また、複数の交通手段を用いている人は53%であった。ただし、天気などにより徒歩と自転車を使い分ける、駅まで徒歩で駅から鉄道、といった質的に異なるものが混ざっている点は注意しなければならない。なお、通

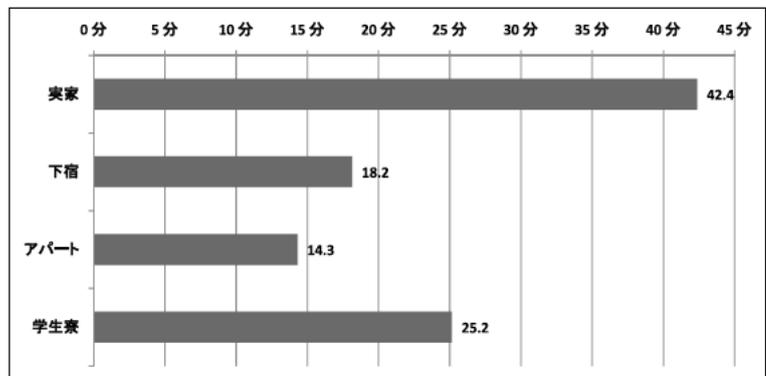


図5-17 居住形態ごとの平均通学時間

学に自家用車に用いる人の割合は8%であり、この中で自宅生の割合は98%、平均通学時間は37分、自家用車のみの通学が40%（複数が60%）であった（図5-18）。

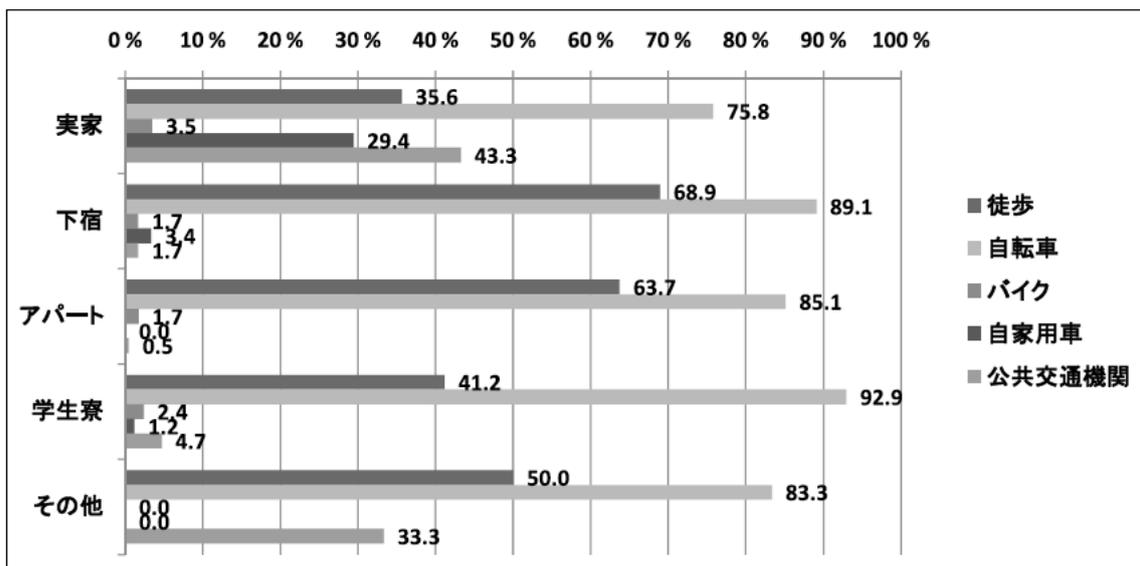


図5-18 居住形態ごとの通学手段

駐輪場や駐車場について「不足して困っている」という回答がそれぞれの利用者の 30%及び 45%であった。特に駐車場については、学外の有料駐車場を借りている人が 40%を超えているが、この内の 10%は駐車許可書の交付を受けている。駐車スペースの問題は車社会における一般的な問題ではあるが、学生が駐車許可書の交付を受ける場合、それなりの理由があることから、何らかの対応が必要と考える。

ところで、大学院の平均の通学時間、通学手段の割合は同様の傾向であった。ただし、自家用車の割合は、学部生、修士、博士の順に高くなっている。駐車許可書の交付率も学部生に比べると顕著に高く（修士：89%、博士：57%）、大学構内に駐車している割合も学部生に比べて顕著に高い（修士：74%、博士：62%）。しかし、このような状況にもかかわらず、駐車スペースについては学部生、修士、博士ともに同様の結果（割合）となった。

（２）空き時間の利用場所

全体的に見た場合、多少の違いはあるものの前回調査とほぼ同様であった。授業の空き時間に「学外」へ出る学生はやや増えたが、一方で学生ホールをはじめ、「研究室・実習・実験室」や「空き教室」の利用もわずかに増えている。この数年、キャンパス内において学生のスペースの作りをはじめとして環境整備を進めているが、これらの効果については数字にはまだはっきりとは表れていないように見える（図 5-19）。

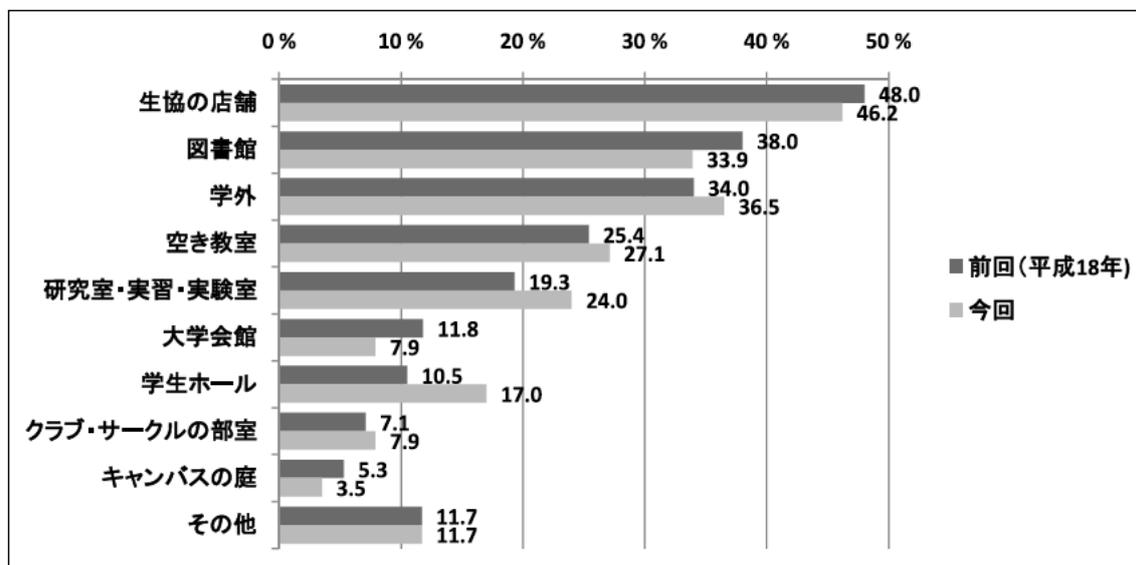


図 5-19 授業の空き時間の居場所

利用場所について少し丁寧に見ていくと、いくつかの特徴があることが分かる。ひとつは、それぞれの利用場所は学部ごとに差があることである。例えば、前回調査でも指摘したことはあるが、「研究室・実習・実験室」の利用率は人文学部及び医学部医学科、医学部保健学科では低い。これは卒業研究などに対して学部ごとの実施体制の違いによる影響と思われる。同様に、「学生ホール」は人文学部の利用率が顕著に高く、前回調査に比べても 10 ポイント以上の増加となった。また、「空き教室」については医学部医学科と医学部保健学科の利用率が顕著に高く、やはり前回調査に比べて 10 ポイント以上の増加となった。これらは改修工事や環境改善の成果と思わ

れる。またそれ以外にも、学年進行とともに利用率の推移が見られる利用場所がある。例えば、「生協の店舗」は学年とともに利用率が顕著に低下する（「学生ホール」もわずかに低下傾向が見られる）が、「研究室・実習・実験室」は逆に学年とともに利用率は顕著に増加する（図5-19）（図5-20）。

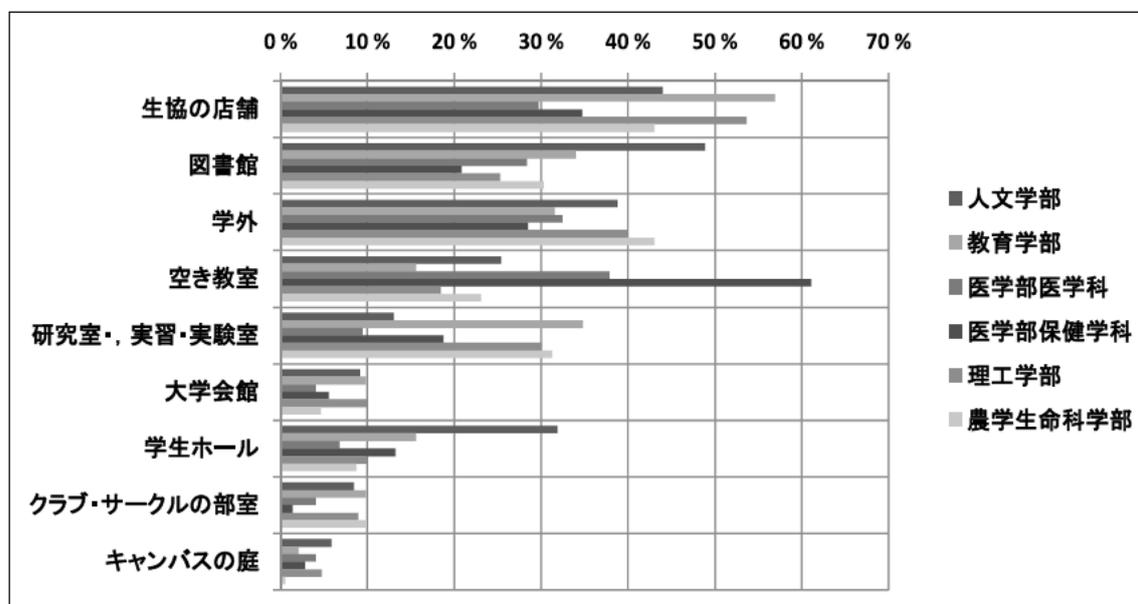


図5-20 学部ごとの授業の空き時間の居場所

建物の改修工事や環境整備事業は大学全体としてはまだ完了していないが、今後とも、学生が利用したい・利用しやすいと感じるような視点での体制づくりや指導が必要である。

5.7 まとめ

この章の分析から、学生の大学生生活の改善に向けて、いくつか指摘しておきたい。

・学生の間関係と相談体制の確立

ほとんどの学生が人間関係に問題はないが、一部ではあるが人間関係に問題を抱えている学生がいるのも事実である。本来、学生の人間関係は個人的な問題であり、大学が介入すべきではないが、一方でスクールカウセリング的な体制は必要である。しかし残念ながら先に示したように、これらの施設はほとんど利用されていないのが現状である。そのため、学生なんでも相談、保健管理センターといった相談窓口の存在を学生自身のみならず家族などへの周知、教職員（特に担任や指導教員など）と相談窓口との連携の推進、学生にとって使いやすい（気軽に相談できるなど）雰囲気や体制を整える必要があると思われる。

・情報リテラシーの教育と注意喚起

自宅でパソコンを利用する学生がきわめて多くなっている現在、情報をどこからどのように得

るべきか、その情報をどう理解し活用すべきかといった情報リテラシーの教育は、学部を越えて急務である。インターネットは、大量の情報を一度に入手することはできるが、信頼性をどう見極めて自らの学習に生かすかといった視点からの授業はまだなされていない。学生たちのメディア利用の実態をふまえつつ、大学において情報リテラシー教育をどう構築していくか検討すべき時期にきている。また、携帯やパソコンの利用によってトラブルに巻き込まれる例も増加していることがわかった。これらの実態の周知やそれへの対策などに関する注意喚起などについても急務といえる。

・キャンパス内の環境整備

ここ何年にも渡り継続的に学部の改修工事をはじめとしてキャンパス内の環境整備が進められ、学生生活の中心となるキャンパス内の環境はいろいろな点で改善が見られる。しかし、本調査での結果はこれまでの調査結果と同様で3～4割の学生が授業の空き時間に学外に出ている状況に変わりはない。ただ、ある意味でキャンパス内の環境に関係なくこの程度の数値になるのかもしれない。また、専門課程以降の体制が学部ごとに大きく異なっているため、各施設や部屋の利用状況が異なることは当然なのかもしれない。しかし、いま一度、学生が利用したい・利用しやすいと感じるような視点でこれらの環境が整備されているか再確認する必要はあろう。

(児玉忠・松谷秀哉)

■第六章 弘大生の健康

弘前大学の学部生と大学院生の心身の健康について、基本的な生活習慣、身体の状態、そして、悩みの3つに分けて述べる。

6.1 基本的な生活習慣

(1) 朝食

弘前大学の学生の朝食習慣を見るために、1週間に何日朝食を摂っているのかを調査した。「毎日」「5～6日」を合わせた摂取状況は、学部生全体では69%であり、大学院生全体は54%であった。それぞれに男女比で見ると、男子学部生は62%、女子学部生75%であり、男子大学院生50%、女子大学院生63%であった。一方、「とらない」者は男子学部生で13%、女子学部生5%、男子大学院生16%、女子大学院生9%であった。学部・大学院ともに男子学生よりも女子学生の方が、また、男女ともに大学院生よりも学部生の方が朝食を摂る日数が多いと言える。

次に、学生を学年別に見てみると1年生と2年生では「毎日」「5～6日」朝食を摂る学生が約80%であった。しかし、3年生では66%、4年生では55%程度と摂取率が次第に減少してきている。ただし、医学部医学科5・6年生では、回答人数が9名と少ないがほぼ全員が朝食を摂取していた(図6-1)。

以上のことより、全体的傾向としては、学年が進むにつれてほぼ毎日朝食を摂るという習慣が薄れていっていると言える。

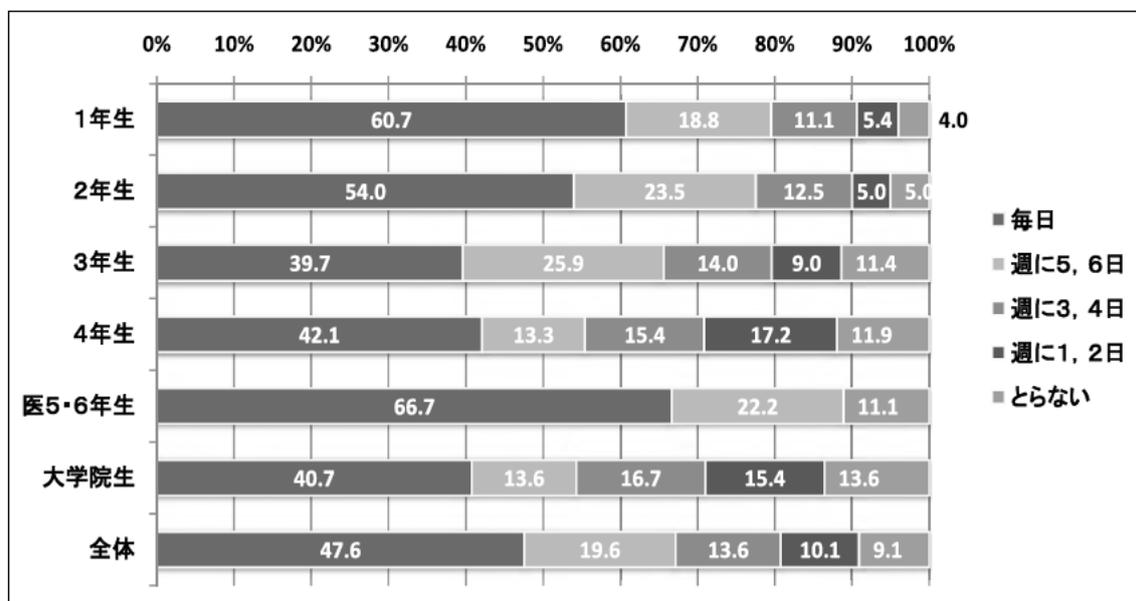


図6-1 1週間あたりの朝食摂取日数

(2) 生活リズム

生活リズムを見るために、起床時刻と就寝時刻について、平日と休日に分けて調査した。

平日の起床時刻で集中していたのは、男子学部生は7～8時台に64%、女子学部生では6～8時台に82%であり、大学院生においては6～8時台が75%であった。就寝時刻を見ると、その日のうちに就寝する学生は、学部生は男女ともに13%、大学院生では19%しかいなかった。大方が午前0時過ぎから午前2時台に集中しており、それぞれ80%前後であった。

平日の平均的な生活リズムは、男子学部生では7時44分頃起床し午前0時29分頃に就寝、女子学部生では7時25分頃起床し午前0時30分頃に就寝している。男子大学院生では7時40分頃起床し午前0時30分頃就寝、女子大学院生では7時2分頃起床し午前0時15分頃就寝している。なお、平均睡眠時間はほぼ7時間であった。

休日の平均的な生活リズムは、平日に比して全体的に遅くなっている。学部生では起床時刻は1時間30分程度、就寝時刻は30分程度遅くなっている。しかし、大学院生では起床時刻が1時間遅くなっているにもかかわらず、就寝時刻は平日とほぼ同じであった。大学院生の方が就寝時刻を一定に保った生活を送っていると言える。

(3) 喫煙

弘前大学では、平成18年12月12日からキャンパス内は全面禁煙となった。そこで、全面禁煙となってからの初めての調査であり、学生の喫煙習慣についてみる(図6-2参照)。

全体的な喫煙状況を見ると、女子よりも男子の喫煙率が高く、特に男子大学院生が25%と高くなっている。また、喫煙者の1日当たりの喫煙本数は、男子学部生が9本、女子学部生6本、男子大学院生10本であり、女子大学院生においては11本となっている。前回の調査結果に比し減少しているが、まだまだ喫煙者が多いと言えよう。

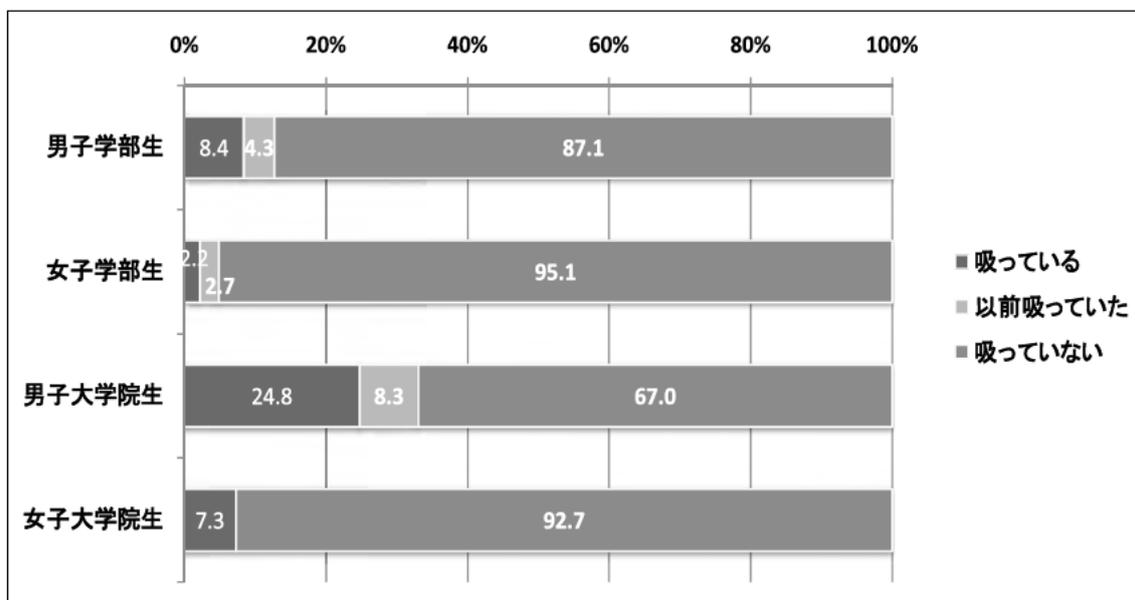


図6-2 喫煙習慣

「喫煙する者の周囲の人間がその煙を吸ってしまう」受動喫煙の機会について、1週間にどれくらいあるかを調査した。「毎日」「3～6日」を合わせた割合は、学部生では男女ともに22%程度であり、大学院生においては男女ともに17%程度であった。

(4) 飲酒

1週間あたりの飲酒の機会について調査した(図6-3参照)。どのくらいの頻度でお酒(アルコール)を飲む機会があるか見ると、「飲まない」者は男子学部生では22%,女子学部生は28%,男子大学院生では9%,女子大学院生は18%となっている。年齢的にも大学院生の方が学部生よりも飲酒回数は多くなっている。また、前回の調査結果と比較すると全体的に飲酒する機会が増加していることが分かった。

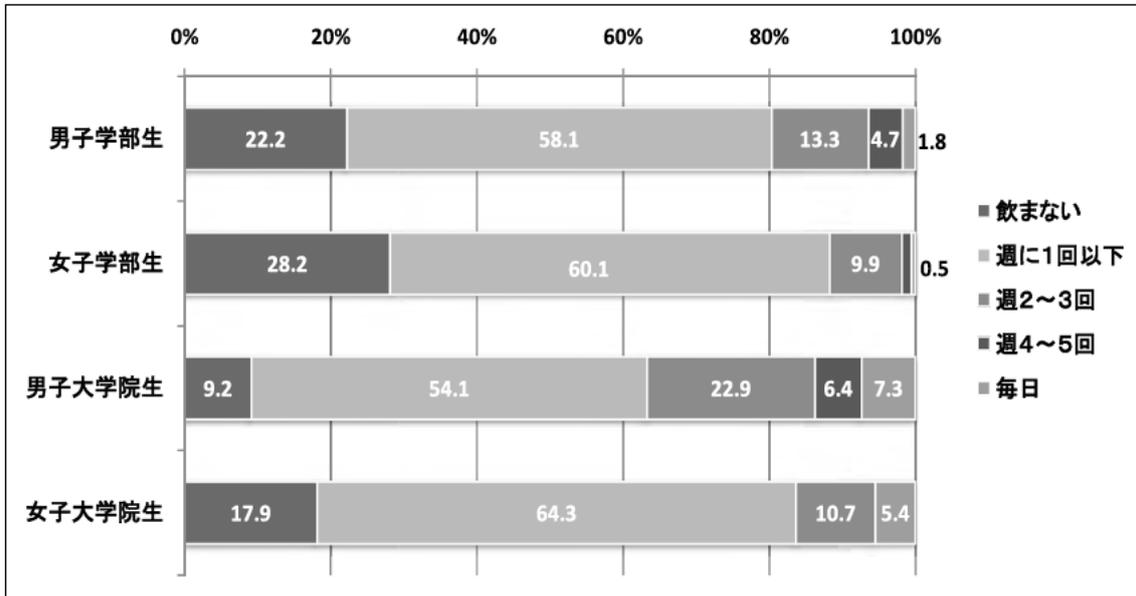


図6-3 1週間あたりの飲酒の機会

(5) 健康のために心がけていること

普段の生活において健康のために心がけていることを複数回答で尋ねた。表6-1に上位3位までを紹介する。

表6-1 健康のために心がけていること(上位3位まで)

男子学部生	%	女子学部生	%
身体を動かすようにしている	40.7	バランスのとれた食事	39.7
スポーツをしている	37.4	身体を動かすようにしている	39.4
バランスのとれた食事	33.9	規則正しい生活	28.8

男子大学院生	%	女子大学院生	%
身体を動かすようにしている	30.3	バランスのとれた食事	45.5
バランスのとれた食事	30.3	身体を動かすようにしている	38.2
スポーツをしている	28.4	規則正しい生活	21.8

6. 2 身体 の健康状態

(1) 定期健康診断の受診状況

平成 22 年度の定期健康診断を「全く受けなかった」者は、学部生では 10%，大学院生では 17% となった。

学部生の受診率を学年別に見てみた（図 6-4）。受診率が一番低かったのは 2 年生であった。全体的に受診率が高率になってきているのは、大学側の周知や案内などに工夫がなされた効果と言えよう。また、3 年生と 4 年生は将来の進路を考える時期にあり、進学や就職活動のために現実的な必要性に迫られているためであろうと推察される。

健康診断を受けなかった理由を問うた。その理由として多い順にあげると、学部生では「忘れていた」「授業があった」「受けるのが面倒」「知らなかった」「その他」が、大学院生では「忘れていた」「その他」「知らなかった」「授業があった」「受けるのが面倒」であった（図 6-5 参照）。半数以上の者が「忘れていた」と「知らなかった」と回答していたことから、大学側は、定期健康診断を受診することが学生の責任であるという意識をもつことができるような働きかけが必要であろう。また、「授業があった」という学生が 23%いたことから、授業を担当する教員の理解と協力が不可欠である。

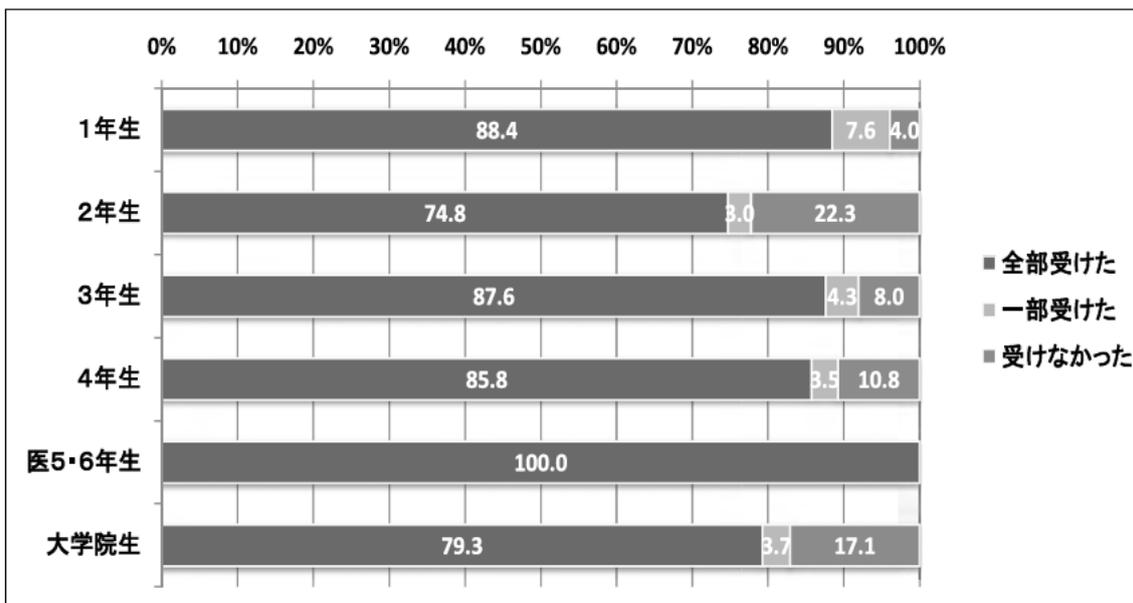


図 6-4 学年別の健康診断受診状況

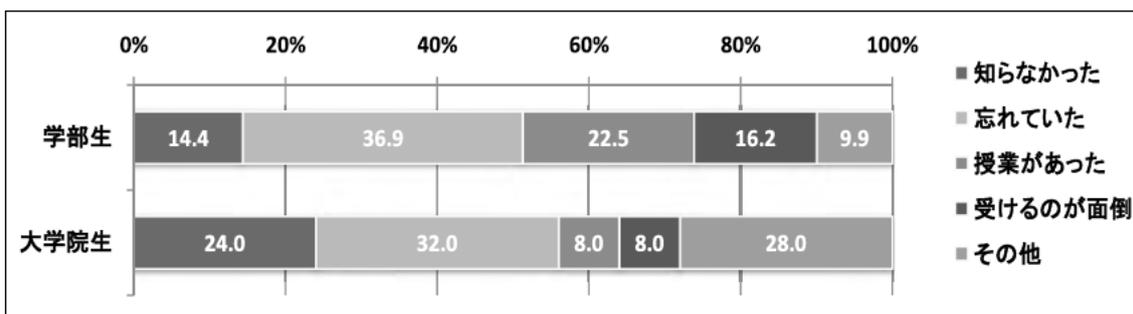


図 6-5 健康診断を受けなかった理由

(2) 健康状態に関する認識

現在の健康状態に関する認識は、「良好である」と回答した者は、学部生では78%、大学院生では63%である。しかし、大学院生の中には、「病気ではないと思うが調子が悪い」と回答した者が28%いた(図6-6)。

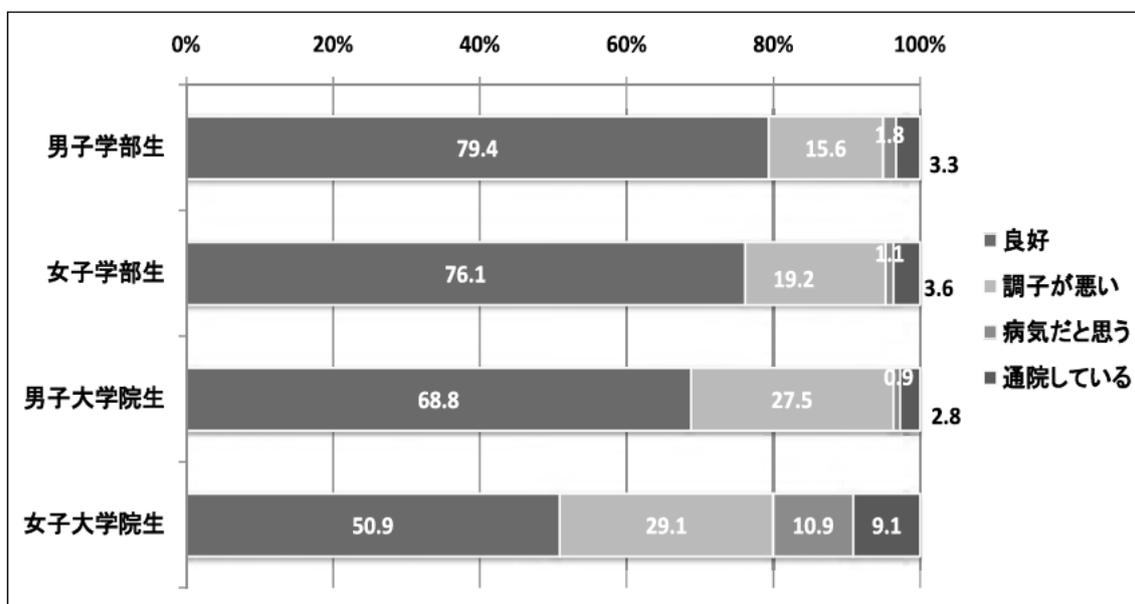


図6-6 現在の健康状態についての認識

自覚症状を尋ねたところ、「自覚症状なし」が学部生では24%、大学院生では25%。自覚症状としては多様なものがあげられているが、表6-2でその中から上位3つを紹介する(複数選択)。

表6-2 よく感じる自覚症状

学部生	%	大学院生	%
疲れる	43.7	疲れる	48.7
憂鬱になる	27.5	集中力の低下	32.0
集中力の低下	26.8	無力感	26.7

6.3 悩み

(1) 悩みの内容

悩みについて尋ねたところ、悩みがないと答えた者は学部生では男女ともに10%程度であるが、大学院生では男子が19%、女子が2%である。大多数の者が悩みをもっているということになるが、女子大学院生に悩みをもっている比率が高いことが着目されよう。

悩みの内容を表6-3で上位3つを紹介する。

学部生	%	大学院生	%
進路・就職	64.1	研究・学位論文	63.2
勉強・成績	37.1	進路・就職	57.7
卒業研究	31.4	勉強・成績	23.9

(2) 対処方法

さて、そういった悩みへの対処方法を見てみると学部生においても大学院生においても男子が女子に比べて「自分自身で解決」し、また女子が「誰かに相談」する傾向がある（図6-7）。

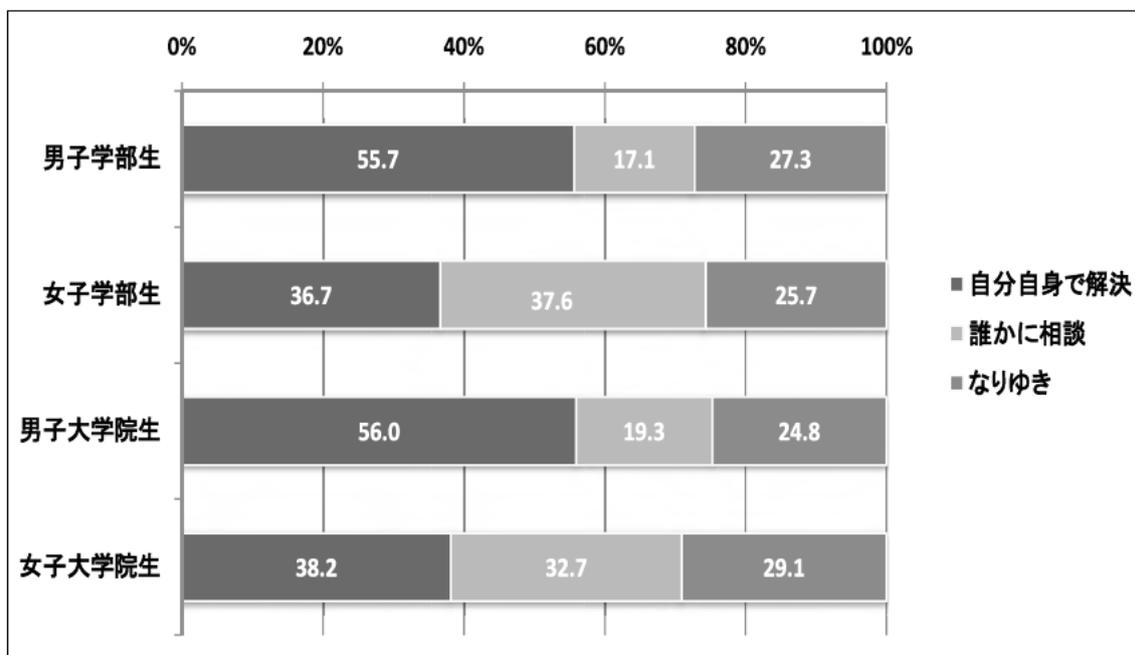


図6-7 悩みへの対処方法

具体的な相談相手としては、学部生では「友人」が最も高く7割程度である。次いで「家族・親戚」が5割程度である。大学院生も傾向は同じであり、「友人」6割程度である。次いで「家族・親戚」が4割程度である。

(3) 大学をやめたい

大学をやめたいと思ったことがあるか否かについては、学部生では25%程度が「ある」と回答している。大学院生では男子が35%，女子の47%がやめたいと思ったことが「ある」と回答している（図6-8）。

やめたいと思った理由の上位3つは、学部生では「学部学科が合わない」が4割程度、「能力に合わない」が3割程度、「学生との人間関係」が2割程度である。大学院生の場合、「能力に合わない」が4割程度、「教員との関係」が3割程度、「経済的理由」が2割程度である。

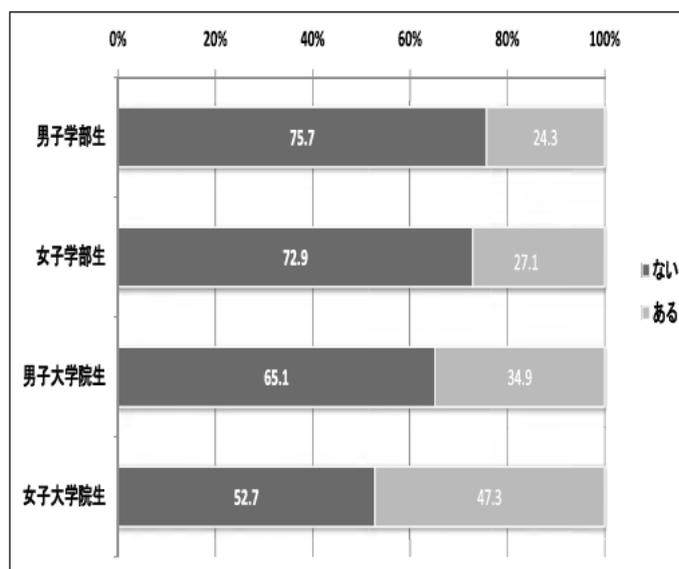


図6-8 大学をやめたいと思ったことがあるかどうか

6. 4 まとめ

基本的な生活習慣については、ほぼ毎日の朝食を摂取している者の割合は学部生では7割程度、大学院生では5割程度である。大学院生よりも学部生、男子より女子において朝食摂取の割合が高いようである。

平均睡眠時間は約7時間である。平成18年12月より全面禁煙となっているが、喫煙に関しては、女子よりも男子の方が、特に男子大学院生にその率が高くなっている。飲酒については、大学院生の方が学部生よりも飲酒回数は多い。以上、生活習慣から見ると、学部生に比べると大学院生の健康度は若干低い状態にある。

健康状態に関しては、7割以上の者が良好であるとみなしているが、その一方でなんらかの自覚症状を有する者が同じく7割以上いる。

ほとんどの大学生・大学院生がなんらかの悩みをもっており、その内容は現在の勉学・研究のこと、将来の進路に関することである。その悩みへの対処方法であるが、女子に比べて男子は自分自身で解決する傾向がある。大学をやめたいと思ったことがあるかどうかについては、学部生よりも大学院生において「ある」という回答が多く、特に女子の大学院生において顕著であった。

全体を通して学部生より大学院生における健康の程度は下がっていると言えよう。

(石崎智子・田名場美雪)

■第七章 弘大生の経済状況

学生の経済状況を把握することは、効果的な支援策を考える上でも欠かせない。この章では、学生の経済面についての調査結果をまとめる。なお、経済状況については、前回調査と同様、本調査でもほとんど男女の性差は見られなかった。よって今回の報告書では、主に学部ごとの差に焦点を当てながら検討する。

7. 1 家計支持者の経済状態

まずは、学生にとって重要な経済的資源である実家の経済状況である。主たる家計支持者の職業と年収を見てみよう。

職業については、民間企業が43.2%と最も多く、次いで公務員・公的機関の21.8%が多くなっている。そのほか、教育職5.9%、研究職0.3%、専門職6.1%と専門職系の職業を合わせて12.3%を占めている。

年収については、学部ごとの主たる家計支持者の年収を示した図7-1を参照して欲しい。最下部の学部全体の比率を見ると、主な家計支持者の年収が400万円に満たない回答者が44.9%にのぼることが分かる。学部ごとに見ると、他の学部と比べて医学部医学科は、800万円以上の高収入層の割合も高いが、同時に200万円未満の低収入層の割合も高くなっており、二極化する傾向があるのかもしれない。

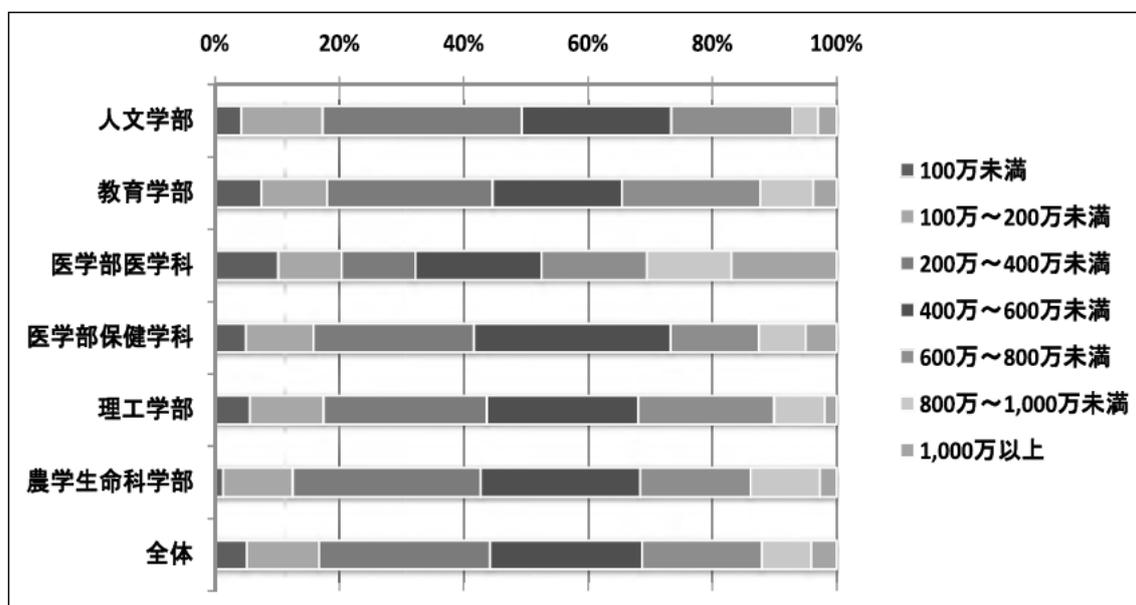


図7-1 主たる家計支持者の年収（学生による推定）

7. 2 学生の支出入の状況

(1) 数値の処理について

次に、学生自身の経済状態や収入のパターンについて検討する。ただし、円単位の具体的な数

字で尋ねた生活費に関する問いには、無回答や不正確な回答が多い。そこで、以下の基準で回答を処理した。第一に、支出入の内訳について、内訳の質問のすべてに記入がなかった場合は欠損とした。いずれかの質問に回答があれば、それ以外の質問で無記入であっても0円と回答したものと判断した。第二に、100を下回る極端に小さな値は単位の誤解を招いたと考え、その値に10,000を乗じて回答とした。第三に、支出入の総計への回答と、細目についての回答の総和が食い違う場合、回答を欠損とした。ただし、回答者に計算を課すタイプの質問に対して、正確な回答が得られるのは非現実的であると考え、総計と細目の総和との比が0.7~1.3の範囲にある限りは、有効な回答とした（分母は総計への回答）。第四に、支出・収入のそれぞれについて、総和と総計についての回答が10,000を下回る回答は、質問の意図の無理解か単位の誤解があったと考え、欠損とした。

以上の処理により、収入については921名、支出については842名の回答者のデータを分析対象とした。なお、この数値の処理については、前回と前々回の調査を参考にしよう努めたが、今回の調査は回答者が減少しており、回答者の確保のために異なる処理も行っている。異なるのは、総計と細目の総和との比の有効値を0.7~1.3に拡大したこと（前回は0.9~1.1）、収入と支出の比による欠損処理を行わなかったこと（前回は0.9~1.1で欠損処理）、そして、支出入に欠損があるケースを支出入の数値のみの欠損として扱ったこと（前回は分析全体からケースごと除いている）である。

（２）収入

まずは、学生の収入である。表7-1は、学部ごとの学生の収入の分布と、収入の平均値、中央値を示している。

表7-1 学生の収入

	人文学部	教育学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	理工学部	農学生命 科学部	全体
25,000円未満	8.6	6.3	3.6	5.8	4.9	5.7	6.3
25,000~50,000円未満	22.0	19.4	5.4	10.0	20.2	21.4	18.5
50,000~75,000円未満	14.2	20.9	3.6	12.5	14.7	8.8	13.9
75,000~100,000円未満	33.6	33.0	33.9	39.2	42.9	40.9	37.1
100,000~125,000円未満	10.8	9.9	19.6	16.7	10.4	13.2	12.3
125,000~150,000円未満	8.2	8.4	17.9	9.2	5.5	6.9	8.3
150,000円以上	2.6	2.1	16.1	6.7	1.2	3.1	3.7
平均値(円)	79,428	79,089	115,732	92,600	79,902	84,563	84,252
中央値(円)	80,000	80,000	108,750	94,000	80,000	90,000	86,000
人数	232	191	56	120	163	159	921

まずは、学生全体の動向として、最右列に示した全体の数値を見てみよう。学生が得る収入として最も多いのは、75,000~100,000円未満で、37.1%を占めていた。しかし次に多いのは、25,000円~50,000円未満の18.5%であり、低い収入の学生層の存在が気にかかる場所である。全体の収入の平均値は、84,252円（中央値86,000円）である。データの処理方法が異なるので留保が必要であるが、前回の調査において学生が得る収入として最も多かったのは、100,000円~125,000円未満の層で32.6%、そして平均値86,800円（中央値90,000円）であることを考えると、今回の調査では学生の収入がやや減少していることが分かる。

次に、表7-1の収入を学部ごとに見ると、医学部医学科の学生の収入が抜きん出て高い。平均115,732円（中央値108,750円）の収入があり、10万円以上の収入を得ている学生が半数以上を占める。

では、全体として学生はその収入をどのように得ているのだろうか。収入の内訳（平均84,252円）を総額に対する比率で見ると、48.8%（平均41,106円）は実家から、37.1%（31,290円）は奨学金、13.1%（11,043円）はアルバイト、その他1.0%（813円）となっている。実家から得た比率が高いのはもちろんであるが、一方で奨学金も重要な収入源となっていることが分かる。

（3）支出

では、学生はその収入を何に使っているのだろうか。居住形態によって大きく変化する食費、住居費、光熱水費を除く細目について、学部ごとに月の支出額を表したのが、図7-2である。

まず、細目全体の傾向として、学生が多くの支出を行っているのは娯楽費であり、あまり学部の差はなく8,000円前後となっている。また一方で貯金が、衣料費や通信費の金額を超えて平均4,000円を超えており、学生の堅実な生活が垣間見えるところである。

細目を学部ごとに比較すると、医学部医学科に突出した特徴がみてとれる。医学部医学科の学生は、研究・勉学に、他の学部と比べると2倍以上の支出を行っており、またその他の支出も突出している（その他の中身は不明）。一方、医学部医学科は貯金額が4,000円弱と他の学部と比べて決して多くないが、前回の調査と比べると、この貯金額は2分の1以下になっている。医学部医学科の学生が収入を貯金に回さず（回せず？）、研究・勉学やその他に割く傾向にあるようである。

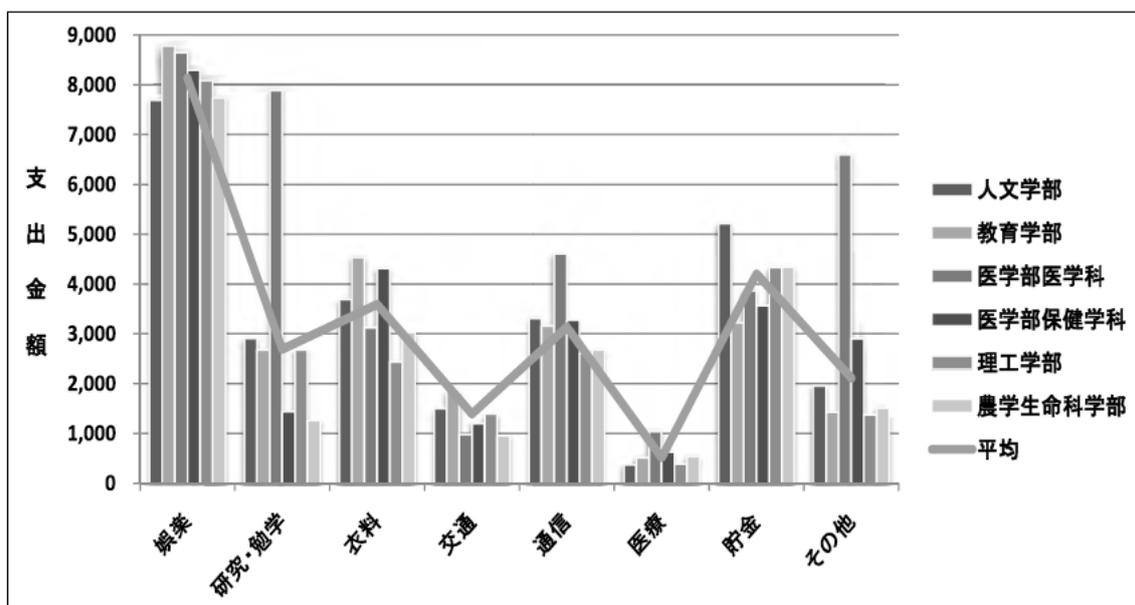


図7-2 細目ごとの平均支出額

（4）預貯金とローン

また、学生は現在、一定の預貯金を確保している。なお、預貯金の金額の平均については、1,000

万円以上を回答した者が2名おり、これらは平均値を大きくゆがめるので、はずれ値として取り除いて分析した。

表7-2は、学部ごとに学生の預貯金の金額を示している。学部によって幅があり、やはり医学部医学科は平均約100万円（中央値40万円）と突出しているが、その他の学部でも25万円前後（中央値で10～20万円の間）を確保している。これは、前回の調査と比べると倍以上増加している。おそらく、超氷河期の中での就職活動のための資金の確保や、いざというときのための生活防衛として、学生は堅実にお金をセーブする傾向があるのだろう。ただし、個人の預貯金がない学生が、すべての学部で3割前後存在していることも見逃すべきではない。これは医学部医学科の学生も例外ではない。

なお、クレジットまたはローンの残額は、9割強がなしと回答している。

表7-2 学生の預貯金額

	人文学部	教育学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	理工学部	農学生命 科学部	全体
平均値(円)	234,728	242,110	1,000,009	242,527	237,745	273,546	289,555
中央値(円)	100,000	150,000	400,000	200,000	100,000	200,000	150,000
預貯金が0の割合(%)	27.0	31.5	30.1	26.2	33.5	28.1	29.3

7.3 アルバイトの動向

授業料の支払いを自分のアルバイト収入でまかなっている学生は0.5%とほとんどいないが、学生の収入の中でアルバイト収入は一定の割合を占めている。特に自宅から通っている学生は仕送りがないため、日常生活に必要な資金の多くをアルバイトで稼いでいる。仕送りがある学生も、家賃や学費の支払いで、その多くが支出されることもあるだろう。そこで、学生がどの程度アルバイトをしているのかまとめておこう。

アルバイトをしている学生は、全体の35.6%であった。学部ごとにアルバイトをしている比率が最も高いのは、教育学部の48.4%であり、最も低いのは医学部医学科の24.3%であった。おそらく、居住形態や学業の忙しさとの関連があると思われる。

アルバイトの時間はそれほど多くない。アルバイトをしていると回答した学生のうち、59.7%が週に1～3日と回答しており、さらに18.4%が不定期に働くとは回答している。1日あたりの働く時間が決まっている学生の労働時間は、平均4.8時間であった。

アルバイトの主な目的（複数回答）は、「自由に使えるお金が欲しい(67.8%)」、「遊びやつきあいにお金が必要(53.2%)」などの理由も多いが、一方で、「社会経験のため(54.7%)」、「家庭の経済負担軽減(45.0%)」、「貯金をしたい(43.8%)」、「経済的に少しでも自立したい(36.6%)」などのより積極的な理由も多くの回答がなされていた。

7.4 居住形態と経済

こうした経済状況は、居住形態によっても大きく左右される。まず、表7-3は学生の居住形態を示している。最右列に示した全体の傾向を見ると、下宿・アパートが67.2%と抜きん出て比率が高いことが分かる。学部ごとには、医学部医学科が83.8%と下宿・アパートに居住する比率

が高く、逆に人文学部は58.7%と低くなっている。人文学部は近県からの学生が多く、逆に医学部医学科は遠方からの学生が多いことが関連していると考えられる。

表 7-3 現在の居住形態

	人文学部	教育学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	理工学部	農学生命 科学部	全 体
実 家	33.0	29.5	16.2	18.3	23.3	18.7	25.3
下宿・アパート	58.7	62.7	83.8	73.2	69.3	73.1	67.2
学 生 寮	8.3	7.8	0.0	8.5	7.4	8.3	7.5
人 数	303	244	74	142	189	193	1145

この下宿・アパートに住んでいる学生について、住居の広さはバス・トイレ付の6畳～12畳が73.4%と多くを占め、また一人暮らしが95.1%と大半である。これらの学生が学生寮に住まない主な理由としては、「集団生活がいやだ」という回答が23.7%と最も多く、そのほか「相部屋であることや規則に縛られる」、「自分の時間が持てない」などの人間関係の問題をあげるものが多い。設備の問題をあげたものは1割以下と少なかった。一方、学生寮に住む学生は85.7%が経済的理由でそれを選んでいった。

表 7-4 居住形態別に見た学生の収入

	自宅	アパート 下宿	学生寮
25,000円未満	22.2	2.7	0.0
25,000～50,000円未満	41.5	9.6	40.2
50,000～75,000円未満	15.3	11.3	31.7
75,000～100,000円未満	12.5	45.4	23.2
100,000～125,000円未満	5.7	15.5	1.2
125,000～150,000円未満	2.3	10.5	3.7
150,000円以上	0.6	5.0	0.0

最後に、表7-4は、居住形態別の学生の収入を示している。ここからは、自宅生の収入が明らかに低いことが分かる。自宅生がアルバイトに依存するのに対して、アパート・下宿に住む回答者は実家からの援助に依存しているからであろう。

7. 5 学生が所有しているもの

最後に、こうした経済状況の中で、現代の学生は家にどのようなものを所有しているのだろうか。表7-5は、学生の部屋にあり、所有しているものを複数回答で示している。やはり携帯・PHSやパソコンは9割強とほとんどの学生が所有している。前回の調査と比較して5%以上所有が増加したものは、ゲーム機、冷蔵庫、洗濯機、パソコンであった。ゲーム機やパソコンは、現代の若者が好む情報機器の普及を、また冷蔵庫や洗濯機などは、学生の居住形態の個人化を示していると考えられる。

表 7-5 所有しているもの

品目	%
テレビ	70.9
ビデオ	23.2
オーディオ機器	59.4
ゲーム機	51.0
冷蔵庫	62.9
洗濯機	55.3
クーラー	38.6
固定電話	5.2
携帯・PHS	99.0
FAX	2.6
パソコン	94.4
自転車	90.9
バイク	3.4
自動車	11.7

7. 6 まとめ

本章では学部生の経済状況について検討してきた。全体の調査票の回収率が激減したこと、昨年までの調査とは数値の処理方法をやや変更したことなど、留保が必要な点も多々あるが、本章で注目すべき点をまとめておこう。

第一に、居住形態等にも左右されるとはいえ、前回と比べて学生の収入が全体として低下している様子が明らかになった。昨今の厳しい経済状況が、学生の懐も直撃している側面があるのだろう。第二に、預貯金などの備えがある学生と、全くない学生の双方の存在が浮き彫りになってきた。預貯金のある学生は一定額を堅実に行っており、近い将来に備えている様子であった。その一方で、預貯金がない学生がどの学部にも3割前後あり、学生の生活に影響がありそうである。第三に、そうした中で、学部別に見ると、医学部医学科がやはり収入や預貯金額の面では突出していた。しかし支出額を見ると、医学部医学科の学生は研究・勉学その他に多くの拠出を行っており、必要な支出となっているようであった。

こうした厳しい学生の経済状況の中で、奨学金などの収入を手当てしていくものの存在意義が、ますます大きくなっていると思われる。奨学金等の一層の充実を行うべきであろう。

(山口恵子)

大学院生の経済状況

大学院生の経済状況を把握することは、効果的な支援策を考える上でも欠かせない。ここでは、経済面についての調査結果をまとめた。

7.7 データの処理

本調査では、円単位の具体的な数字で大学院生の収入と支出を尋ねており回答者に対して密接に関連した各設問ごとに整合性のある回答が求められる。このような点を考慮せず回答を行うと、支出が収入より大きい、支出や収入の細目に対する回答を合計すると本人に尋ねた総支出、総収入と大きく異なるなどの問題が生じることとなる。

学部生の処理と同様にして、このような問題が含まれる回答者を取り除いて分析を行うこととした。まず、問64の支出入についての質問で欠損がある回答者を取り除いた。この処理により、23人の回答者が分析から除外された。続いて、支出、収入のそれぞれについて、総和、総計についての回答を0円とした12名について、欠損とした。0円とした回答者は、質問の意図を誤解したか、単位を万円、あるいは千円と誤解したと考えることとした。

また、学部生では、支出の総計を尋ねた質問への問への答えと、細目について尋ねた質問への回答の総和が食い違う場合、回答を欠損としている。ただし、回答者に「計算問題」を課すタイプの質問に対して、正確な回答が常に得られると考えるのは非現実的だと考え、細目の総和と総計との比が0.7～1.3の範囲にある限りは有効な回答とした（総計への回答を分母とした）。しかし、大学院生の場合とは事情が異なると思われるので、こちらでは欠損値としなかった。

以上の処理により、165名の回答者中、35名を欠損として、130名の回答者のデータを分析に利用した。

7.8 主たる家計支持者の職業について

表7-6にあるように民間企業から専門職に占める割合が約73.1%といわゆる第三次産業に就く子弟が多い傾向にある。

表7-6 主たる家計支持者の職業

	民間企業	公務員・ 公的機関	教育職	研究職	専門職	農林漁業	自営業 (自宅)	自営業 (自宅以外)	パート・ アルバイト	無職・ 失業中	その他	不明	計
割合	25.4%	18.5%	7.7%	2.3%	19.2%	3.8%	5.4%	4.6%	4.6%	3.1%	2.3%	3.1%	100.0%
回答数	33	24	10	3	25	5	7	6	6	4	3	4	130

7. 9 主たる家計支持者の年収について

表7-7に示したように、200～400万円未満の分布が最も多かった。また、全体として見たとき、医学研究科の学生は、主たる家計支持者の年収が多いなどの傾向がある。

表7-7 主たる家計支持者の年収（大学院生による推定）

	人文社会科学 研究科	教育学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学 研究科	地域社会 研究科	計(%)
100万円 未満	33.3	23.1	-	-	4.3	10.0	33.3	7.7
100～200万円 未満	-	7.7	-	18.2	8.7	13.3	-	8.5
200～400万円 未満	66.7	23.1	12.5	54.5	17.4	20.0	33.3	22.3
400～600万円 未満	-	30.8	16.7	9.1	19.6	26.7	-	20.0
600～800万円 未満	-	15.4	33.3	9.1	17.4	20.0	-	19.2
800～1,000万 円未満	-	-	25.0	-	13.0	6.7	-	10.8
1,000万円以上	-	-	12.5	9.1	10.9	3.3	-	7.7
不 明	-	-	-	-	8.7	-	33.3	3.8
回答数	3	13	24	11	46	30	3	130

7. 10 収支と研究科

表7-8には、研究科ごとの収入の分布を表示した。最右列に示した全体についての結果から、学生が得る収入としては、50,000円から125,000円未満までで、この範囲に全体の60%程度が入ることになる。中央値は100,000円である。研究科の差を見ると、医学研究科の学生の収入の高さが特徴的である。その中央値は425,000円であり、すべての学生が15万円以上の収入を得ていた。研究科ごとに確認すると、医学研究科を除いて、65%が親と回答している。医学研究科のみ、この値が8.3%に下がり、アルバイトによる支払いが25%にまで上がる。

表7-8 研究科ごとの収入の分布

	人文社会科学 研究科	教育学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学 研究科	地域社会 研究科	計(%)
25,000円未満	-	23.1	-	-	-	3.3	-	3.1
25,000～50,000円未満	-	-	-	-	2.2	-	-	0.8
50,000～75,000円未満	33.3	23.1	-	-	10.9	10.0	100.0	10.9
75,000～100,000円未満	33.3	15.4	-	-	32.6	36.7	-	22.5
100,000～125,000円未満	33.3	7.7	-	36.4	39.1	33.3	-	26.4
125,000～150,000円未満	-	7.7	-	-	10.9	6.7	-	6.2
150,000～500,000円未満	-	23.1	54.2	63.6	4.3	10.0	-	21.7
500,000円以上	-	-	45.8	-	-	-	-	8.5
回答数	3	13	24	11	46	30	3	129

では、大学院生は得た収入を何に使っているだろうか。居住形態によって大きく変化する食費、住居費、光熱水費を除いて、それ以外の細目について、研究科ごとに支出額を比較してみた。結果を表7-9に示した。特に収入の多かった医学研究科に注目すると、相対的に娯楽と研究・勉学費、貯金への支出が増加している。医学研究科と他の研究科とで差が大きいのは貯金への支出であり、ここからも経済的に余裕のある状況が推察される。

表7-9 細目ごとの平均支出額(千円)

	人文社会科学 研究科	教育学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学 研究科	地域社会 研究科
娯楽費	10.0	8.8	18.3	8.5	8.7	9.9	5.0
研究・勉学費	7.0	2.8	16.4	9.9	2.0	4.1	6.0
衣料費	0.0	3.7	10.4	3.9	2.1	3.7	1.0
交通費	0.0	5.2	12.5	8.4	2.4	3.7	2.5
通信費	4.0	5.6	6.7	9.2	2.4	3.8	4.8
医療費	3.3	0.8	2.3	3.2	0.6	0.6	0.8
貯金	0.0	11.0	111.5	11.6	3.8	8.4	0.0
その他	0.0	8.7	33.0	17.3	1.9	2.3	5.5

表7-10に研究科ごとに預貯金額の平均値と中央値を示したが、いずれで比較した場合も、医学研究科が飛び抜けている。預貯金が0円と回答した学生は全体の38%であった。

表7-10 研究科別に見た預貯金の平均値と中央値(千円)

	人文社会科学 研究科	教育学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学 研究科	地域社会 研究科
平均値	1,200	443	6,443	3,690	227	185	200
中央値	1,200	300	4,000	800	200	130	200

7.11 アルバイト

授業料の支払いをアルバイト収入で行っている大学院生は9%おり、医学研究科では25%にのぼるが、その他の研究科においてはほとんどいない。しかし、収入に占めるアルバイトの比率は小さくなく、特に自宅から通っている学生は仕送りがないため、日常生活に必要な資金の多くをバイトで稼いでいる。仕送りがある学生も、家賃や学費の支払いで、その多くが支出されることもあるだろう。そこで、大学院生がどの程度のアルバイトをしているのかをまとめた。

まず、研究科別にアルバイトをしている大学院生の比率と居住形態の比率を表7-11にまとめた。居住形態によってアルバイトをしている大学院生の率は異なり、全体的な傾向としては、アパート暮らしの大学院生(70.5%)の方が、自宅生(18.2%)、寮生(4.5%)よりもアルバイト率が圧倒的に高かった。

表7-11 研究科別に見たアルバイトをしている大学院生の率と居住形態の分布

		人文社会科学 研究科	教育学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学 研究科	地域社会 研究科
バイト率		0.0	38.5	37.5	27.3	28.3	40.0	100.0
居住 形態	実家	-	-	22.2	66.7	-	25.0	50.0
	下宿	-	-	-	-	7.7	-	-
	アパート	-	80.0	66.7	33.3	92.3	58.3	50.0
	学生寮	-	20.0	-	-	-	8.3	-
	その他	-	-	11.1	-	-	8.3	-
全回答数		3	13	24	11	46	30	2

アルバイトの時間は、アルバイトをしていると回答した学生のうち、63.2%が、アルバイトの日数を1～3日と回答しており、毎日と回答した学生は前回の34.6%から4.4%となった。

さらに19.3%が不定期と回答している。1日あたりの労働時間も多様であった。平均労働時間は前回より1.5時間少ない4.8時間であった。これらのことから、大学院生は、学部生と比べ時間の融通がきき、本人の都合に応じてアルバイトを行っていることが伺える。

7.12 必要とされる奨学金の分配

大学院生では、学費の主な供給源として、奨学金をあげている学生は全体で20.5%と前回の11.8%から増加している。この項では、公的な奨学金の分配について検証した。

表7-7に示したように、全体として見たとき、医学研究科の学生は、主たる家計支持者の年収が600～800万円未満付近に多く、人文社会科学研究科、農学生命科学研究科の学生は、200～400万円未満に多くなっている。

表7-12に示したように、農学生命科学研究科学生の奨学金取得率が最も高く76.7%、次いで、教育学研究科69.2%となっていた。

これらから、家計支持者の所得が低い学生が奨学金を積極的に取得しているといえる。

表7-12 奨学金の取得率と取得している場合の月額

		人文社会科学 研究科	教育学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学 研究科	地域社会 研究科	全 体
奨学金の取得率(%)		0.0	69.2	0.0	45.5	63.0	76.7	0.0	51.2
奨学金の月額(千円)	平均値	-	67.3	-	93.6	79.8	69.3	-	75.5
	中央値	0	84.0	0.0	88.0	88.0	80.0	0.0	80.0
人 数		3	13	24	11	46	30	2	129

さらに主たる家計支持者の年収による奨学金の取得率と支給額からも検証した。

表7-13に示したように、奨学金の取得率、平均金額では、家計支持者収入が低いほど高くなる一方で、奨学金取得者に限定して平均金額を算出すると、家計支持者年収が800～1,000万円未

満の平均金額が 88.3 千円と最も高く、次いで年収 1,000 万円以上の平均金額が 86.5 千円となっており。3 番目に高いのは 100～200 万円未満の 84.4 千円となっている。

全体として奨学金制度は学費による経済的な困窮度が高い学生に支給されている一方で、特に家計支持者収入が高い学生にも多額の支給がなされていることになるが、これは奨学金の大半を占める貸与型奨学金において、家計支持者年収が高い学生ほど被貸与額も高くなるという傾向が反映されたものと考えられる。

また、年収が最も低い 100 万円未満の層において取得率・金額ともに低くなっているが、こちらも貸与型奨学金における、家計支持者年収が低い学生は被貸与額を必用最小限に抑える傾向が反映されているものと考えられる。

本調査の結果を見る限り、公的な奨学金については、必要度の高い学生に支給されている反面、高収入な家庭の学生にも支給されていると思われる。貸与型有利子奨学金の本人収入上限額が修士課程で 595 万円、博士課程で 798 万円と緩やかな制限になっている以上、当然の帰結かもしれない。全体の取得率は前回の 31.2%から半数を超える 51.6%にまで増加していることから、総体的に奨学金の必要度が高まっていることが判るが、必用最小限の奨学金を必要としている学生がいる反面、より余裕のある大学院生活を送るために奨学金を取得している学生もおり、奨学金の必要理由は多様化している。

表7-13 主たる家計支持者の年収による奨学金の取得率と奨学金の平均月額

		100万円未満	100～ 200万円未満	200～ 400万円 未満	400～ 600万円 未満	600～ 800万円未満	800～ 1,000万円未満	1,000万円以上	全体
奨学金の取得率(%)		40.0	83.3	58.6	57.7	44.0	28.6	40.0	51.6
奨学金の月額(千円)	全 体	21.8	70.3	45.2	41.7	33.4	25.2	34.6	39.6
	取得者のみ	54.5	84.4	77.1	72.2	75.8	88.3	86.5	76.7
人 数		10	12	29	26	25	14	10	126

7. 13 居住状態について

全体的な状況について、それぞれの調査項目に従って表で示した。

前回調査より実家居住者が 10%程度減り、アパート居住者が 10%程度増えている。

表7-14 居住状態

居住形態(%)	広さ(%)		同居人(%)		
実家	21.5	6畳以下(BTなし)	2.2	いない	88.8
下宿	3.8	6畳以下(BTあり)	11.1	家族・親戚	7.9
アパート	66.2	12畳以下(BTなし)	7.8	知人・友人	3.4
学生寮	1.5	12畳以下(BTあり)	65.6		
その他	6.9	12畳以上	13.3		

なお、学生寮に住む理由は、「食事が出る」が 1 位で、逆に住まない理由としては、「集団生活がいや」が 1 位で、以下、「自分の時間がない」、「相部屋がいや」の順番だった。

7. 14 所有物について

大学院生自身が所有しているものとして、右の表7-15に示したが、携帯・PHSの所有が98.5%になっていることと、固定電話が半減近い20%になったこと、そして自家用乗用車が前回の55%から40%となった点が注目される。

冷蔵庫などの生活家電・オーディオ機器・パソコン・携帯電話などはほとんどの大学院生が所有していることから、個人生活の充実が伺える。

表7-15 所有しているもの

品目	%
テレビ	85.4
ビデオ	46.9
オーディオ機器	63.8
ゲーム機	53.8
冷蔵庫	80.8
洗濯機	76.9
クーラー	42.3
固定電話	20.0
携帯・PHS	98.5
FAX	10.8
パソコン	95.4
自転車	72.3
バイク	6.9
自動車	40.8

7. 15 まとめ

大学院生の経済状況については、回答者を見る限りにおいては、奨学金及びアルバイトによる収入で十分に維持できていること、社会人入学による収入の安定等があり、特に問題はないと思われる。また、クレジット及びローンの残額については図7-3に示すとおり、79.1%がなし、5万円未満が10.1%、5万円～10万円未満が2.3%、10万円以上が8.6%という数字になっており、特に憂慮すべき状況は見えない。

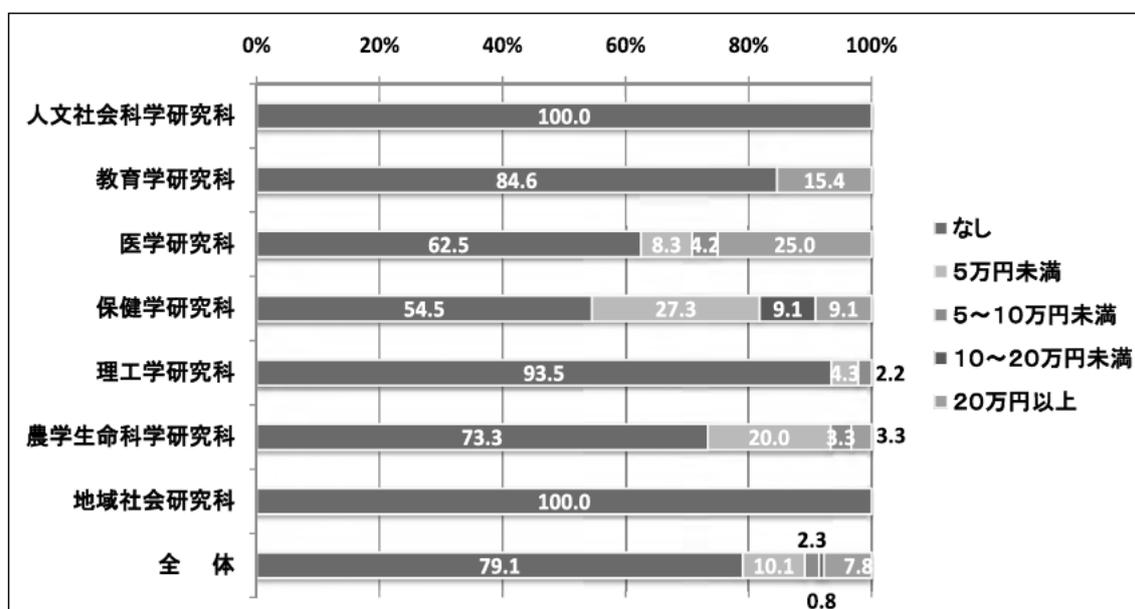


図7-3 研究科別に見たクレジットまたはローンの残額状況

その他の全体的な傾向としては前回調査時と顕著な変化は見られず、前回調査同様、研究・勉学費への支出より娯楽費への支出が上回るなど、学費捻出のためにアルバイトに追われるなどの経済的に逼迫した学生の様子は浮かんでこなかった。

しかし、その中で気にかかる変化としては、学費の主な供給源を奨学金としている割合の上昇である。

率としては11.8%から20.5%への約9%の増加に過ぎないと見ることもできるが、割合としては倍近く増加していることと、主たる家計支持者の年収に関わらず全体的に取得率が上がっている点が特徴としてあげられる。

回答者の取得している奨学金の種類が、本人の恒久的な所得となる給付型奨学金であれば特段問題はないが、一般的に奨学金の大半は貸与型が占めている。貸与型は利息の有無及び返済期間に違いはあるものの一時的な所得に過ぎず、当然ながら長期的な視点からは返済が必要となる性質のものである。

学生個々人のニーズに応じて奨学金を活用している、または活用可能な制度が整っているともいえるが、貸与型奨学金の受給が常態化しつつあるのなら、この傾向が続くことには一抹の不安が残る。

緊急的な状況に対応するための貸与型奨学金の整備も確かに必要だが、給付型奨学金などの恒久的な経済的支援も同時に充実することが望まれる。

(山内敏博)

付録 1
第 6 回 学生生活実態調査票

(学部学生・大学院生別)



弘前大学 第6回学生生活実態調査

平成22年10月（学部学生用）

1. このアンケートは、4年に一度、全学的に実施されるもので、大学の教育改善の基礎資料となります。お忙しい中ですが、ぜひとも率直に答えていただくよう、お願いいたします。
2. 質問は、ふだんの生活や考えに最も近いと思われる選択肢の番号に○をつけていただくものがほとんどです。
3. 回答は、この用紙に直接書き込んでください。
4. 回答は統計的に処理され、全体の傾向をつかむために用いられます。あなたの答えが個人として分析されることは絶対にありません。お答えにより、なんらかの不利が生じることもありません。
5. 回答がすみましたら、この調査用紙を **10月29日（金）まで**に回収箱に投函してください。回収箱は学生センター窓口、学生課窓口、各学部学務係、大学会館入口に置いています。

学生生活実態調査専門委員会

第 6 回弘前大学学生生活実態調査

学生生活実態調査専門委員会

はじめに、あなた自身の所属などについてお尋ねします。

問 1 性別 1. 男 2. 女

問 2 年齢 () 歳

問 3 所属学部科

1. 人文学部 2. 教育学部 3. 医学部医学科 4. 医学部保健学科 5. 理工学部
6. 農学生命科学部
-

問 4 学年

1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年 5. (医・医) 5年 6. (医・医) 6年
-

問 5 受験様式

1. 前期日程 2. 後期日程 3. 推薦 (センター試験有) 4. 推薦 (センター試験無)
5. その他 ()
-

問 6 実家の所在地

1. 北海道 2. 青森県 3. 岩手県 4. 秋田県 5. 宮城県
6. 山形県 7. 福島県 8. 関東甲信 9. 東海・北陸 10. 近畿
11. 中国・四国 12. 九州・沖縄 13. 外国

次に、学業についてお聞きします。

問7 大学進学を志望した理由は次のうちのどれでしたか (〇はいくつでも)。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 学問・研究をするため | 2. 専門的な知識や技術を修得するため |
| 3. 教養を身につけるため | 4. 社会人としての素養を身につけるため |
| 5. 資格をとるため | 6. 学歴を得るため |
| 7. 自由な学生生活を楽しむため | 8. スポーツや文化活動をするため |
| 9. 友人を作るため | 10. 親など周囲の人に勧められたため |
| 11. まだ就職したくなかったため | 12. その他 () |
-

問8 弘前大学は第一志望の大学でしたか。 1. はい 2. いいえ

問9 弘前大学を選んだ理由は次のうちのどれでしたか (〇はいくつでも)。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自分の志望する専攻分野があったから | 2. 大学の特色・学風に惹かれたから |
| 3. 自分の能力・学力に合っていたから | 4. 大学の施設・設備がよかったから |
| 5. 優れた教員がいると思ったから | 6. 国立大学 (国立大学法人) だから |
| 7. 実家に近かったから | 8. 将来就職に有利だと思ったから |
| 9. 授業料などの経済的負担が軽いから | 10. 親など周囲の人に勧められたから |
| 11. 進路指導の先生に勧められたから | 12. 弘前の土地柄に惹かれたから |
| 13. 親もとを離れたかったから | 14. 生活環境がよいから |
| 15. 学生支援が充実しているから | 16. その他 () |
-

問10 高校で履修した数学、理科、社会、情報の科目 (またはそれに最も近い科目) に〇をつけてください (〇はいくつでも)。

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------|
| 1. 数学Ⅰ (数学A) | 2. 数学Ⅱ (数学B) | 3. 数学Ⅲ (数学C) | 4. 工業数理 |
| 5. 物理 | 6. 化学 | 7. 生物 | 8. 地学 |
| 9. 総合理科 | 10. 日本史 | 11. 世界史 | 12. 地理 |
| 13. 現代社会 | 14. 倫理 | 15. 政治・経済 | 16. 情報A |
| 17. 情報B | 18. 情報C | | |
-

問11 今年度の前期は全体としてどのくらい授業に出席しましたか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. すべて出席している | 2. ほとんど出席している |
| 3. 半分くらい出席している | 4. ほとんど出席していない |
| 5. まったく出席していない | |
-

問12 授業を欠席する主な理由は、次のうちどれですか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|--------------|------------------------|-------------|
| 1. 欠席はしていない | 2. 病気・けが | 3. 遊び |
| 4. 寝坊 | 5. サークル活動 | 6. アルバイト |
| 7. 自分の関心事の追求 | 8. 勉強の意欲がわからない | 9. 授業がつまらない |
| 10. ただ何となく | 11. その他 () | |
-

問13 今年度の前期に受講した授業の内容に満足していますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 非常に満足している | 2. まあまあ満足している |
| 3. あまり満足していない | 4. まったく満足していない |
-

問14 授業に不満を感じる理由はなんですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 授業が全体として難しすぎる | 2. 授業がやさしすぎる |
| 3. 授業内容に興味、関心がもてない | 4. 受講したい科目が少ない |
| 5. 将来役に立たない科目が多い | 6. 受講者が多すぎる |
| 7. 必須科目が多すぎる | 8. 単位取得や科目選択が制限されている |
| 9. 施設・設備が不十分である | 10. その他 () |
-

問15 大学で履修した (している) 科目の中で、難しくついていけないと感じるものがありますか。

- | | |
|-------|----------------------|
| 1. ない | 2. ある → () 科目くらい |
|-------|----------------------|

SQ. (あると答えた方に) どのようなことを希望しますか (〇はいくつでも)。

- | | |
|---------------------------------------|----------------------|
| 1. 基礎となる参考書を示してほしい | 2. 基礎から分かりやすく説明してほしい |
| 3. 例題や演習を増やしてほしい | 4. 社会での必要性を示してほしい |
| 5. 勉強の仕方を教えてほしい | 6. 基礎科目を増やしてほしい |
| 7. 質問に答えてくれるオフィスアワーを増やしてほしい | |
| 8. その他 () | |
-

問16 勉強や研究のことで、教員と話をすることがありますか。

- | | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. よくある | 2. わりにある | 3. あまりない | 4. まったくない |
|---------|----------|----------|-----------|
-

問17 試験期間を除くと、ふだんの授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいですか。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 3時間以上 | 2. 2時間～3時間未満 | 3. 1時間～2時間未満 |
| 4. 30分～1時間未満 | 5. 30分未満 | 6. しない |
-

問18 大学の図書館をどのくらい利用していますか。

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に3、4回 | 3. 週に1、2回 |
| 4. 月に1、2回 | 5. ほとんど利用しない | 4. まったく利用しない |
-

問19 大学の図書館をどのような目的で利用していますか (〇はいくつでも)。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 自分の勉強・研究のため | 2. 調べものをするため |
| 3. 授業の予習・復習のため | 4. 新聞や雑誌を読むため |
| 5. 読書を楽しむため | 6. パソコンを利用するため |
| 7. その他 () | |
-

問20 大学の図書館の利用について、困ったことは何ですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 話し声やパソコンなどの音で騒がしい | |
| 2. 土・日曜日を含め、24時間利用できない | |
| 3. 本の数と種類が少ない | 4. 新聞や雑誌の種類が少ない |
| 5. その他 () | |
-

問21 総合情報処理センターや学部のパソコン室をどのくらい利用していますか

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に3、4回 | 3. 週に1、2回 |
| 4. 月に1、2回 | 5. ほとんど利用しない | 6. まったく利用しない |
-

問22 総合情報処理センターや学部のパソコン室及び無線LANの利用について、困っていることは何ですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 困ったことはない | 2. 利用できるパソコンの数が少ない |
| 3. 使った紙などが散乱していて汚い | 4. 話し声やパソコンなどの音で騒がしい |
| 5. 土・日曜日を含め、24時間利用できない | 6. ソフトの種類が少ない |
| 7. 自分で持ち込んだパソコンが利用できない | 8. その他 () |
-

問23 あなたは本学のパソコンをどのような目的で利用していますか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|----------------------------------|--------------|----------------|
| 1. 授業の予習・復習のため | 2. 研究のため | 3. レポート作成のため |
| 4. パソコンの使い方を学ぶため | 5. メールのやりとり | 6. ホームページを見るため |
| 7. ゲームをするため | 8. チャット利用のため | |
| 9. 本学の案内 (シラバスや大学院入試情報等) を確かめるため | | |
| 10. その他 () | | |
-

あなたの進路に関することについてお聞きします。

問 29 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 就職 | 2. 本学の大学院へ進学 |
| 3. 国内の他大学の大学院へ進学 | 4. 海外の大学または大学院へ進学 |
| 5. 専門学校へ進学 | 6. まだ考えていない |
| 7. その他 () | |
-

問 30 (問 29 で「大学院進学」と答えた方に) その理由はなんですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 1. もっと勉強したいから | 2. 将来、学問・研究の道に進みたいから |
| 3. より高い学歴を得たいから | 4. 就職や資格取得に有利だと思うから |
| 5. 希望の職に就けなかったから | 6. まだ就職したくないから |
| 7. 友人が進学するから | 8. その他 () |
-

問 31 将来の職業の第一希望は次のうちのどれですか。

- | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|----------|
| 1. 民間企業 | 2. 公務員・公的機関 | 3. 教育職 |
| 4. 研究職 | 5. 専門職 (医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など) | |
| 6. 家業を継ぐ・手伝う | 7. 自分で起業する | 8. フリーター |
| 9. その他 () | | |
-

問 32 東京や大阪などの大都市で働いてみたいと思いますか。

- | | | | |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 強く思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
|---------|---------|------------|-------------|
-

問 33 大都市などに働きに出たとして、いつかは出身地に帰りたいと思いますか。

- | | | | |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 強く思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
|---------|---------|------------|-------------|
-

問 34 職業を選択する際に、特に重視するのは次のうちどれですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 知識や技能が活かせる | 2. 独創性や創造性が発揮できる |
| 3. 十分な収入が期待できる | 4. 安定した生活が保障される |
| 5. 社会的な地位・名声が得られる | 6. 華やかな活躍ができる |
| 7. 人や組織を動かすことができる | 8. 自由な活動ができる |
| 9. 人助けや社会奉仕ができる | 10. 自分のための時間を作れる |
| 11. 好きなことを仕事にできる | 12. 転勤がない |
| 13. 家業を継ぐこと | 14. 就職したい地域 |
| 15. その他 () | |
-

問 35 就職または進学について、教員や大学に希望することは次のうちどれですか (〇はいくつでも)。

1. 大学としてもっと積極的な対策を講じてほしい
 2. 大学に就職先の開拓にもっと積極的に取り組んでほしい
 3. 教員にもっと人材育成に積極的であってほしい
 4. 教員にもっと積極的に助言、指導、斡旋をしてほしい
 5. 特に希望することはない
 6. その他 ()
-

問36 学生就職支援センターを利用しますか。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 利用した | 2. 今後利用したい | 3. 利用しない |
| 4. 存在を知らなかった | 5. 場所を知らなかった | |

現在の人間関係や学生生活についてお聞きします。

問37 あなたは現在学内のクラブやサークルに所属していますか。

1. 所属している →(1)と(2)にお答えください
2. 所属していない →(3)にお答えください

(1) (クラブやサークルに所属している方に) クラブやサークルに入って特によかったと思うのはどんなことですか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|----------------|-------------|------------------|
| 1. 教養・技能が身についた | 2. 友人ができた | 3. 健康維持に役立っている |
| 4. 人との接し方を学べた | 5. 積極性が出てきた | 6. 責任感や協調性が身についた |
| 7. 楽しく過ごせている | 8. その他 () | |

(2) (クラブやサークルに所属している方に) 施設や大学の支援に満足していますか。

1. はい
2. いいえ

(3) (所属していない方に) その理由はなんですか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|--------------------|---------------|--------------|
| 1. 学業と両立させる自信がない | 2. 練習や活動がきつそう | 3. 健康上の理由 |
| 4. 生活を拘束されたくない | 5. 人間関係が面倒 | 6. 時間にゆとりがない |
| 7. 魅力的なクラブ・サークルがない | 8. その他 () | |

問38 あなたには現在、友達と呼べる人は何人くらいいますか。学内と学外それぞれについて教えてください。

- | | | |
|-----------------------|--------|----------------|
| (1) 学内の友達…………… | 1. いない | 2. いる () 人くらい |
| (2) 学内の友達で特に親しいと言える人… | 1. いない | 2. いる () 人くらい |
| (3) 学外の友達…………… | 1. いない | 2. いる () 人くらい |
| (4) 学外の友達で特に親しいと言える人… | 1. いない | 2. いる () 人くらい |

問39 あなたが大切にしている人間関係は次のうちのどれですか (〇はいくつでも)。

1. 同じクラス・研究室・ゼミの仲間や先輩・後輩
 2. クラブやサークルの仲間や先輩・後輩
 3. 寮や下宿など住居を同じくする仲間や先輩・後輩
 4. 指導教員をはじめとする大学の教員
 5. 高校以来の友達
 6. 中学校以前からの友達
 7. 1～3以外で、入学後に親しくなった友達や先輩・後輩
 8. その他 ()
 9. 特にない
-

問46 パソコンのニュースサイトについてお聞きします。

ニュースサイトをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

SQ (見ると答えた方に) 一日にどのくらい時間ニュースサイトを見ていますか。

1. 5分未満
 2. 5分以上10分未満
 3. 10分以上30分未満
 4. 30分以上1時間未満
 5. 1時間以上2時間未満
 6. 2時間以上
-

問47 携帯電話のニュースサイトについてお聞きします。

ニュースサイトをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

SQ (見ると答えた方に) 一日にどのくらい時間ニュースサイトを見ていますか。

1. 5分未満
 2. 5分以上10分未満
 3. 10分以上30分未満
 4. 30分以上1時間未満
 5. 1時間以上2時間未満
 6. 2時間以上
-

問48 問44から問47でニュースを見ると答えた方に質問します。関心を持って見る部分はどこですか。

1. トップニュース
 2. 社会面
 3. 政治面
 4. 経済面
 5. 国際面
 6. 文化面
 7. 家庭面
 8. 科学面
 9. スポーツ面
 10. 地域・地方面
 11. テレビ番組表
-

問49 ふだん、携帯電話のメールまで含めてメールの読み書きに使う時間は一日にどれくらいですか。

1. 15分未満
 2. 15分以上30分未満
 3. 30分以上1時間未満
 4. 1時間以上2時間未満
 5. 2時間以上5時間未満
 6. 5時間以上
 7. メールは使わない
-

問50 インターネット利用でトラブルにあったことがありますか。

1. はい 2. いいえ

SQ (はいと答えた方に) どのようなトラブルですか (○はいくつでも)。

1. 自分のパソコンがウィルスやワームに感染した 2. 迷惑メールを受信した
3. メールやホームページ等で嫌がらせをされた 4. 掲示板等が荒らされた
5. 架空請求された 6. 代金を送ったのに品物が来なかった (詐欺にあった)
7. 自分のアカウントが不正に (勝手に) 利用された
8. 自分のファイルが見られてしまった (または、書き込みされた)
9. 実際に会おうとしつこく誘われた 10. 商品等の購入に関してしつこく勧誘された
11. 自分の個人情報勝手に公開された 12. その他 ()

問51 通学時間は片道で何分くらいですか。 約 () 分

問52 主な通学方法はなんですか (利用するものにいくつでも○)。

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 5. 公共交通機関

SQ (自転車で大学まで来る方のみ) 自転車の利用についてお聞きします。

(1) 自転車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐輪スペース 2. 構内の路上 3. 構外

(2) 駐輪スペースの設置状況について、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない 2. 不足しているが、特に困っていない
3. 不足していて困っている

(3) 自転車登録をしていますか

1. はい 2. いいえ

SQ (自家用車で大学まで来る方のみ) 自家用車の利用についてお聞きします。

(1) 自家用車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐車場 2. 構外の有料駐車場 3. その他

(2) 駐車スペースについて、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない 2. 不足しているが、特に困っていない
3. 不足していて困っている

(3) 駐車許可書の交付を受けていますか。

1. はい 2. いいえ

問59 あなたは今年度(平成22年度)の定期健康診断を受けましたか。

1. 指定された検査項目を全部受けた
2. 指定された検査項目の一部を受けた
3. 全く受けなかった

SQ (全く受けなかった方に) その理由はなんですか。

1. 知らなかった
2. 忘れていた
3. 授業があった
4. 受けるのが面倒
5. その他 ()

問60 現在のあなたの健康状態はどうですか。

1. 良好
2. 病気ではないと思うが調子が悪い
3. 受診してはいないが病気だと思う
4. 病気やけがで通院治療中である

問61 体や心について、よく感じる自覚症状がありますか (〇はいくつでも)。

1. 自覚症状はない
2. 疲れる
3. 食欲がない
4. よく眠れない
5. 頭痛がする
6. 胃腸の調子が悪い
7. よく熱が出る
8. 便秘しやすい
9. 下痢しやすい
10. イライラする
11. 集中力の低下
12. 無力感がある
13. 憂鬱になる
14. その他 ()

問62 現在、悩んでいることがありますか (〇はいくつでも)。

1. 悩みはない
2. 勉強や成績のこと
3. 卒業研究や論文のこと
4. 進路や就職のこと
5. クラブ・サークル活動のこと
6. 人間関係のこと
7. 恋愛や結婚のこと
8. 自分自身の性格のこと
9. 健康上のこと
10. 性(セックス)に関して
11. 経済的なこと
12. 家庭環境や家族のこと
13. その他 ()

問63 ふだん、悩みにどのように対処することが多いですか。

1. 自分自身で解決できるように努力することが多い
2. 誰かに相談することが多い
3. 特に何もせず、なりゆきにまかせることが多い

問64 悩みについて相談するのは主に誰ですか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------|------------------------|-------------|
| 1. 悩みがあっても相談しない | 2. 相談する人がいない | 3. 友人 |
| 4. 先輩 | 5. 家族 | 6. 親戚 |
| 7. 教員 | 8. 事務職員 | 9. 保健管理センター |
| 10. 学生なんでも相談 | 11. その他 () | |
-

問65 あなたは大学をやめたいと思ったことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ない | 2. ある |
|-------|-------|

SQ (あると答えた方に) そう思った理由は次のうちどれですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 学部、学科が合わない | 2. 自分の能力に合わない |
| 3. 就職に不利だと思った | 4. 経済的理由 |
| 5. 家庭的事情 | 6. 遊びたいと思った |
| 7. 恋愛・結婚問題 | 8. 他にやりたいことが見つかった |
| 9. 学生同士の間人間関係 | 10. 教員との関係 |
| 11. その他 () | |

最後に経済的なことについてお聞きします。

問66 あなたの家庭の、主たる家計支持者の職業は、次のうちどれに当たりますか。

- | | | |
|--------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 民間企業 | 2. 公務員・公的機関 | 3. 教育職 |
| 4. 研究職 | 5. 専門職 (医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など) | |
| 6. 農林漁業 | 7. 自営業 (自宅で) | 8. 自営業 (自宅以外) |
| 9. パート・アルバイト | 10. 無職・失業中 | 11. その他 () |

問67 主たる家計支持者の年収は、だいたいどのくらいですか。

- | | | |
|------------------|------------------|--------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円～200万円未満 | 3. 200万円～400万円未満 |
| 4. 400万円～600万円未満 | 5. 600万円～800万円未満 | 6. 800万円～1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上 | | |

問68 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して記入してください。

支出 約 () 円	収入 約 () 円
内訳：食費…………… () 円	内訳：実家から…………… () 円
住居費…………… () 円	奨学金…………… () 円
光熱水費…………… () 円	アルバイト…………… () 円
娯楽費…………… () 円	その他…………… () 円
研究・勉学費…………… () 円	
衣料費…………… () 円	
交通費…………… () 円	
通信費…………… () 円	
医療費…………… () 円	
貯金…………… () 円	
その他…………… () 円	

問69 現在、あなた自身の預貯金がありますか。

- | | |
|----------------|-------|
| 1. ある →約 () 円 | 2. ない |
|----------------|-------|

問70 現在、あなた自身のクレジットまたはローンの残額がありますか。

- | | | | | |
|-------|----------|-------------|--------------|-----------|
| 1. ない | 2. 5万円未満 | 3. 5～10万円未満 | 4. 10～20万円未満 | 5. 20万円以上 |
|-------|----------|-------------|--------------|-----------|

問71 現在アルバイトをしていますか。

1. している 2. していない

SQ (アルバイトをしている方に) そのアルバイトについてお聞きします。

(1) 週に何日アルバイトをしていますか。

1. 1～3日 2. 4～6日 3. 毎日 4. 不定期

(2) 一日当たりのアルバイトの時間は、大体決まっていますか。

1. 決まっている → だいたい () 時間くらい
2. 決まっていない

(3) アルバイトの主な目的は次のうちどれですか (○はいくつでも)。

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 家庭の経済的負担を軽減するため | 2. 遊びやつきあいにお金が必要 |
| 3. 自由に使えるお金が欲しいから | 4. 社会経験のため |
| 5. 将来の仕事を体験してみたいから | 6. 経済的に少しでも自立したいから |
| 7. 貯金をしたいから | 8. みんながしているから |
| 9. その他 () | |

問72 授業料の支払いに必要なお金は、主として次のうちの誰 (どこ) から出ていますか。

1. 親 2. 親戚 3. 奨学金 4. アルバイト 5. 授業料は免除されている
-

問73 奨学金や授業料免除についてお聞きします。

- (1) 現在奨学金を受けていますか…………… 1. はい 2. いいえ
(2) これまで (大学での) 奨学金を申し込みましたか…………… 1. はい 2. いいえ
(3) 今年度、授業料免除を受けていますか…………… 1. はい 2. いいえ
(4) 今年度、授業料免除を申し込みましたか…………… 1. はい 2. いいえ

問74 現住所の居住形態は次のうちどれですか。

1. 実家 2. 下宿 3. アパート 4. 学生寮 5. その他 ()

SQ (下宿、またはアパート暮らしの方に) お聞きします。

(1) 住居の広さはどのくらいですか。

1. 6畳以下 (バス・トイレなし) 2. 6畳以下 (バス・トイレ付)
3. 6畳～12畳 (バス・トイレなし) 4. 6畳～12畳 (バス・トイレ付) 5. 12畳以上

(2) 現在、同居している人はいますか

1. いない 2. 家族・親戚 3. 友人・知人など家族以外の人

(3) あなたが学生寮に住まない主な理由は次のうちどれですか。

1. 集団生活がいや 2. 部屋が古く狭い 3. 設備が悪い
4. 相部屋である 5. 規則等に縛られる 6. 自分の時間が持てない
7. その他 ()

SQ (学生寮に住んでいる方に) 学生寮に住む主な理由は次のうちどれですか。

1. 経済的理由 2. 集団生活が楽しめる 3. 友人・知人が得られる
4. 食事が出る 5. 先輩・知人に勧められて 6. 親・家族に勧められて
7. その他 ()

問75 (ここからは、再び**すべての方に**) あなたの家(部屋)にあつて、あなた自身が所有している物すべてに○をつけてください。

1. テレビ 2. ビデオ 3. オーディオ機器 4. ゲーム機
5. 冷蔵庫 6. 洗濯機 7. クーラー 8. 加入電話 (固定電話)
9. 携帯・PHS 10. FAX 11. パソコン 12. 自転車
13. バイク (原付含む) 14. 自動車

大学へのご意見、ご要望、ご批判などありましたら、この欄に自由にお書きください

ご協力、まことにありがとうございました。



弘前大学 第6回学生生活実態調査

平成22年10月（大学院生用）

1. このアンケートは、4年に一度、全学的に実施されるもので、大学の教育改善の基礎資料となります。お忙しい中ですが、ぜひとも率直に答えていただくようお願いいたします。
2. 質問は、ふだんの生活や考えに最も近いと思われる選択肢の番号に○をつけていただくものがほとんどです。
3. 回答は、この用紙に直接書き込んでください。
4. 回答は統計的に処理され、全体の傾向をつかむために用いられます。あなたの答えが個人として分析されることは絶対にありません。お答えにより、なんらかの不利が生じることもありません。
5. 回答がすみましたら、この調査用紙を**10月29日（金）まで**に回収箱に投函してください。回収箱は学生センター窓口、学生課窓口、各学部学務係、大学会館入口に置いています。

学生生活実態調査専門委員会

第 6 回弘前大学学生生活実態調査

学生生活実態調査専門委員会

はじめに、あなた自身の所属などについてお尋ねします。

問 1 性別 1. 男 2. 女

問 2 年齢 () 歳

問 3 所属研究科

修士課程・博士前期課程

1. 人文科学研究科 2. 教育学研究科 3. 保健学研究科
4. 理工学研究科 5. 農学生命科学研究科

博士課程・博士後期課程・後期 3 年博士課程

1. 医学研究科 2. 保健学研究科 3. 理工学研究科 4. 地域社会研究科
-

問 4 学年

修士課程・博士前期課程

1. 1 年 2. 2 年

医学研究科博士課程

1. 1 年 2. 2 年 3. 3 年 4. 4 年

博士後期課程・後期 3 年博士課程

1. 1 年 2. 2 年 3. 3 年
-

問 5 出身大学

1. 弘前大学 2. 他大学 (日本) 3. 他大学 (外国)
-

問 6 大学卒業から大学院入学までの年数 () 年

問 7 実家の所在地

1. 北海道 2. 青森県 3. 岩手県 4. 秋田県 5. 宮城県
6. 山形県 7. 福島県 8. 関東甲信 9. 東海・北陸 10. 近畿
11. 中国・四国 12. 九州・沖縄 13. 外国

次に、学業についてお聞きします。

問 8 弘前大学大学院は第一志望の大学院でしたか 1. はい 2. いいえ

問 9 大学院に進学した理由は次のうちのどれでしたか (○はいくつでも)。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. もっと勉強したいから | 2. より専門的な知識や技術を修得したいから |
| 3. 将来、学問・研究の道に進みたいから | 4. 就職や資格取得に有利だと思うから |
| 5. より高い学歴を得たいから | 6. まだ自由な学生生活を楽しまたいから |
| 7. まだスポーツや文化活動を続けたいから | 8. 友人が進学するから |
| 9. 親など周囲の人に勧められたから | 10. まだ就職しなくなかったから |
| 11. 希望する職に就けなかったから | 12. その他 () |
-

問 10 弘前大学大学院を選んだ理由は次のうちのどれでしたか (○はいくつでも)。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自分の志望する専攻分野があったから | 2. 大学の特色・学風に惹かれたから |
| 3. 自分の能力・学力に合っていたから | 4. 大学の施設・設備がよかったから |
| 5. 指導を受けたい教員がいたから | 6. 国立大学 (国立大学法人) だから |
| 7. 実家に近かったから | 8. 将来就職に有利だと思ったから |
| 9. 授業料などの経済的負担が軽いから | 10. 親など周囲の人に勧められたから |
| 11. 指導教員の勧めがあったから | 11. 良い評判を聞いたから |
| 13. 継続した勉強や研究ができるから | 14. 学生支援が充実しているから |
| 15. その他 () | |
-

問 11 他大学の大学院を受験しましたか。

1. した 2. しなかった

SQ (他大学大学院を受験した方のみ) その理由はなんですか (○はいくつでも)。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自分の志望する専攻分野があったから | 2. 大学の特色・学風に惹かれたから |
| 3. 自分の能力・学力に合っていたから | 4. 大学の施設・設備がよかったから |
| 5. 指導を受けたい教員がいたから | 6. 国立大学 (国立大学法人) だから |
| 7. 実家に近かったから | 8. 将来就職に有利だと思ったから |
| 9. 授業料などの経済的負担が軽いから | 10. 親など周囲の人に勧められたから |
| 11. 指導教員の勧めがあったから | 12. 良い評判を聞いたから |
| 13. 継続した勉強や研究ができるから | 14. 学生支援が充実しているから |
| 15. その他 () | |
-

問 12 今年度の前期に受講した授業の内容に満足していますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 非常に満足している | 2. まあまあ満足している |
| 3. あまり満足していない | 4. まったく満足していない |
-

問 13 授業に不満を感じる理由はなんですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 授業が難しすぎる | 2. 授業がやさしすぎる |
| 3. 授業内容に興味、関心が持てない | 4. 受講したい科目が少ない |
| 5. 将来役に立たない科目が多い | 6. 受講者が多すぎる |
| 7. 必須科目が多すぎる | 8. 単位取得や科目選択が制限されている |
| 9. 施設・設備が不十分である | 10. 教員の教え方になじめない |
| 11. 教員の授業に対する熱意や工夫が足りない | |
| 12. その他 () | |
-

問 14 勉強や研究のことで、教員と話をすることがありますか。

- | | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. よくある | 2. わりにある | 3. あまりない | 4. まったくない |
|---------|----------|----------|-----------|
-

問 15 試験期間を除くと、ふだんの授業以外の学習・研究時間は 1 日何時間くらいですか。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 3 時間以上 | 2. 2 時間～3 時間未満 | 3. 1 時間～2 時間未満 |
| 4. 30 分～1 時間未満 | 5. 30 分未満 | 6. しない |
-

問 16 大学の図書館をどのくらい利用していますか。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に 3、4 回 | 3. 週に 1、2 回 |
| 4. 月に 1、2 回 | 5. ほとんど利用しない | 4. まったく利用しない |
-

問 17 大学の図書館をどのような目的で利用していますか (〇はいくつでも)。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 自分の勉強・研究のため | 2. 調べものをするため |
| 3. 授業の予習・復習のため | 4. 新聞や雑誌を読むため |
| 5. 読書を楽しむため | 6. パソコンを利用するため |
| 7. その他 () | |
-

問 18 大学の図書館の利用について、困ったことは何ですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 話し声やパソコンなどの音で騒がしい | |
| 2. 土・日曜日を含め、24 時間利用できない | |
| 3. 本の数と種類が少ない | 4. 新聞や雑誌の種類が少ない |
| 5. その他 () | |
-

問19 総合情報処理センターや学部のパソコン室をどのくらい利用していますか

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に3、4回 | 3. 週に1、2回 |
| 4. 月に1、2回 | 5. ほとんど利用しない | 6. まったく利用しない |

問20 総合情報処理センターや学部のパソコン室及び無線LANの利用について、困っていることをお聞きします (〇はいくつでも)。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 困ったことはない | 2. 利用できるパソコンの数が少ない |
| 3. 使った紙などが散乱していて汚い | 4. 話し声やパソコンなどの音で騒がしい |
| 5. 土・日曜日を含め、24時間利用できない | 6. ソフトの種類が少ない |
| 7. 自分の持ち込んだパソコンが利用できない | 8. その他 () |

問21 あなたは本学のパソコンをどのような目的で利用していますか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------------------|--------------|----------------|
| 1. 授業の予習・復習のため | 2. 研究のため | 3. レポート作成のため |
| 4. パソコンの使い方を学ぶため | 5. メールのやりとり | 6. ホームページを見るため |
| 7. ゲームをするため | 8. チャット利用のため | |
| 9. 本学の案内 (シラバスや大学等) を確かめるため | 10. その他 () | |

問22 自宅で使用できるパソコンを持っていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

SQ1 (はいと答えた方に) どのような目的で利用していますか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------|----------------|
| 1. 授業の予習・復習のため | 2. 研究のため | 3. レポート作成のため |
| 4. パソコンの使い方を学ぶため | 5. メールのやりとり | 6. ホームページを見るため |
| 7. ゲームをするため | 8. チャット利用のため | |
| 9. プログラム開発を行うため | 10. 自分用のホームページを作成するため | |
| 11. 音楽ソフト等をダウンロードするため | | |
| 12. 自宅から大学の情報をホームページなどで取得するため | | |
| 13. その他 () | | |

SQ2 (はいと答えた方に) インターネットに接続していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問23 授業や研究のために1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. まったく利用しない | 2. 15分未満 | 3. 15分以上30分未満 |
| 4. 30分以上1時間未満 | 5. 1時間以上2時間未満 | 6. 2時間以上3時間以上 |
| 7. 3時間以上5時間未満 | 8. 5時間以上 | |

問24 授業や研究以外で1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか (携帯電話からの利用も含む)。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. まったく利用しない | 2. 15分未満 | 3. 15分以上30分未満 |
| 4. 30分以上1時間未満 | 5. 1時間以上2時間未満 | 6. 2時間以上3時間以上 |
| 7. 3時間以上5時間未満 | 8. 5時間以上 | |

問25 学生用掲示板 (ネット掲示板を含む) を利用して、どのような案内をよく利用しますか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|------------|---------|------------|
| 1. まったく見ない | 2. 休講通知 | 3. 呼び出しの確認 |
| 4. 単位取得の確認 | 5. 講演案内 | 6. 求人案内 |
| 7. 奨学金案内 | 8. 留学案内 | 9. その他 () |

問26 海外留学等についてお聞きします。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 考えていない | 2. 留学してみたい |
|-----------|------------|

SQ (留学してみたい方) に、その理由は何ですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 外国人と友達になりたい | 2. 外国語で自由に話したい |
| 3. 海外で生活・就職してみたい | 4. その他 () |

あなたの進路に関することについてお聞きします。

問27 あなたは修了後の進路についてどのように考えていますか。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 就職 | 2. 本学の博士課程へ進学 |
| 3. 岩手連合大学院へ進学 | 4. 国内の他大学の大学院へ進学 |
| 5. 海外の大学院へ進学 | 6. 専門学校へ進学 |
| 7. まだ考えていない | 8. その他 () |
-

問 28 将来の職業の第一希望は次のうちのどれですか。

- | | | |
|--------------|-------------------------------|----------|
| 1. 民間企業 | 2. 公務員・公的機関 | 3. 教育職 |
| 4. 研究職 | 5. 専門職 (医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など) | |
| 6. 家業を継ぐ・手伝う | 7. 自分で起業する | 8. フリーター |
| 9. その他 () | | |
-

問 29 東京や大阪などの大都市で働いてみたいと思いますか。

- | | | | |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 強く思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
|---------|---------|------------|-------------|
-

問 30 大都市などに働きに出たとして、いつかは出身地に帰りたいと思いますか。

- | | | | |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 強く思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
|---------|---------|------------|-------------|
-

問 31 職業を選択する際に、特に重視するのは次のうちどれですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 知識や技能が活かせる | 2. 独創性や創造性が発揮できる |
| 3. 十分な収入が期待できる | 4. 安定した生活が保障される |
| 5. 社会的な地位・名声が得られる | 6. 華やかな活躍ができる |
| 7. 人や組織を動かすことができる | 8. 自由な活動ができる |
| 9. 人助けや社会奉仕ができる | 10. 自分のための時間を作れる |
| 11.好きなことを仕事にできる | 12. 転勤がない |
| 13. 家業を継ぐこと | 14. 就職したい地域 |
| 15. その他 () | |
-

現在の人間関係や学生生活についてお聞きします。

問34 あなたには現在、友達と呼べる人は何人くらいいますか。学内と学外それぞれについて教えてください。

- | | | |
|-----------------------|--------|----------------|
| (1) 学内の友達…………… | 1. いない | 2. いる () 人くらい |
| (2) 学内の友達で特に親しいと言える人… | 1. いない | 2. いる () 人くらい |
| (3) 学外の友達…………… | 1. いない | 2. いる () 人くらい |
| (4) 学外の友達で特に親しいと言える人… | 1. いない | 2. いる () 人くらい |

問35 あなたが大切にしている人間関係は次のうちのどれですか (○はいくつでも)。

1. 同じクラス・研究室・ゼミの仲間や先輩・後輩
2. クラブやサークルの仲間や先輩・後輩
3. 寮や下宿など住居を同じくする仲間や先輩・後輩
4. 指導教員をはじめとする大学の教員
5. 学部 (大学) 以来の友達
6. 高校以来の友達
7. 中学校以前からの友達
8. 1～3以外で、入学後に親しくなった友達や先輩・後輩
9. その他 ()
10. 特にない

問36 学内で留学生と話すことがどのくらいありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. まったくない

問37 現在、あなたの友人関係は全体としてうまくいっていると思いますか。

1. うまくいっている 2. だいたいうまくいっている
3. あまりうまくいっていない 4. まったくうまくいっていない

問38 あなた自身が興味や関心を持っていることはなんですか (○はいくつでも)。

- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| 1. 政治・社会問題 | 2. 授業・勉強・研究 | 3. 友人関係や恋愛 |
| 4. 家族・家庭のこと | 5. 趣味・遊び | 6. スポーツ |
| 7. 進路 | 8. アルバイト | 9. 芸能関係 |
| 10. 音楽・文芸・芸術 | 11. ボランティア | 12. 旅行・留学 |
| 13. その他 () | | |

問39 平日の授業の空き時間を過ごすのは主にどこですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 研究室や科室、実習・実験室 | 2. 空き教室 |
| 3. クラブ・サークルの部室 | 4. 生協の店舗 (書店・食堂等) |
| 5. 図書館 | 6. 学生会館 |
| 7. キャンパスの庭 (ベンチ等) | 8. 学生ホール |
| 9. 学外 | 10. その他 () |
-

問40 新聞 (一般紙) についてお聞きします。

新聞をどのくらい読みますか。

1. 毎日読む 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日
5. 新聞は読まない

S Q (読むと答えた方に) 一日にどのくらいの時間を新聞を読むのに使いますか。

1. 5分未満 2. 5分以上10分未満 3. 10分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満 5. 1時間以上2時間未満 6. 2時間以上
-

問41 テレビのニュースについてお聞きします。

ニュースをどのくらいの頻度で見ますか。

1. 毎日見る 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

S Q (見ると答えた方に) 一日にどのくらいの時間テレビのニュースを見ていますか。

1. 5分未満 2. 5分以上10分未満 3. 10分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満 5. 1時間以上2時間未満 6. 2時間以上
-

問42 パソコンのニュースサイトについてお聞きします

ニュースサイトをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日
5. ニュースは見ない

S Q (見ると答えた方に) 一日にどのくらい時間ニュースサイトを見ていますか。

1. 5分未満 2. 5分以上10分未満 3. 10分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満 5. 1時間以上2時間未満 6. 2時間以上
-

問43 携帯電話のニュースサイトについてお聞きします。

ニュースサイトをどのくらい見ますか。

1. 毎日見る 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日 4. 週に～2日
5. ニュースは見ない

SQ (見ると答えた方に) 一日にどのくらい時間ニュースサイトを見ていますか。

1. 5分未満 2. 5分以上10分未満 3. 10分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満 5. 1時間以上2時間未満 6. 2時間以上

問44 問40から問43でニュースを見ると答えた方に質問します。関心を持って見る部分はどこですか。

1. トップニュース 2. 社会面 3. 政治面 4. 経済面 5. 国際面
6. 文化面 7. 家庭面 8. 科学面 9. スポーツ面
10. 地域・地方面 11. テレビ番組表

問45 ふだん、携帯電話のメールまで含めてメールの読み書きに使う時間は一日にどれくらいですか。

1. 15分未満 2. 15分以上30分未満 3. 30分以上1時間未満
4. 1時間以上2時間未満 5. 2時間以上5時間未満 6. 5時間以上
7. メールは使わない

問46 インターネット利用でトラブルにあったことがありますか。

1. はい 2. いいえ

SQ (はいと答えた方に) どのようなトラブルですか (○はいくつでも)。

1. 自分のパソコンがウィルスやワームに感染した 2. 迷惑メールを受信した
3. メールやホームページ等で嫌がらせをされた 4. 掲示板等が荒らされた
5. 架空請求された 6. 代金を送ったのに品物が来なかった (詐欺にあった)
7. 自分のアカウントが不正に (勝手に) 利用された
8. 自分のファイルが見られてしまった (または、書き込みされた)
9. 実際に会おうとしつこく誘われた 10. 商品等の購入に関してしつこく勧誘された
11. 自分の個人情報勝手に公開された 12. その他 ()

問47 通学時間は片道で何分くらいですか。 約 () 分

問48 主な通学方法はなんですか (利用するものにいくつでも○)。

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 5. 公共交通機関

SQ (自転車^①で大学まで来る方のみ) 自転車の利用についてお聞きします。

(1) 自転車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐輪スペース 2. 構内の路上 3. 構外

(2) 駐輪スペースの設置状況について、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない 2. 不足しているが、特に困っていない
3. 不足していて困っている

(3) 自転車登録をしていますか

1. はい 2. いいえ

SQ (自家用車^②で大学まで来る方のみ) 自家用車の利用についてお聞きします。

(1) 自家用車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐車場 2. 構外の有料駐車場 3. その他

(2) 駐車スペースについて、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない 2. 不足しているが、特に困っていない
3. 不足していて困っている

(3) 駐車許可書の交付を受けていますか。

1. はい 2. いいえ
-

問55 あなたは今年度(平成22年度)の定期健康診断を受けましたか。

1. 指定された検査項目を全部受けた
2. 指定された検査項目の一部を受けた
3. 全く受けなかった

SQ (全く受けなかった方に) その理由はなんですか。

1. 知らなかった
2. 忘れていた
3. 授業があった
4. 受けるのが面倒
5. その他 ()

問56 現在のあなたの健康状態はどうですか。

1. 良好
2. 病気ではないと思うが調子が悪い
3. 受診してはいないが病気だと思う
4. 病気やけがで通院治療中である

問57 体や心について、よく感じる自覚症状がありますか (〇はいくつでも)。

1. 自覚症状はない
2. 疲れる
3. 食欲がない
4. よく眠れない
5. 頭痛がする
6. 胃腸の調子が悪い
7. よく熱が出る
8. 便秘しやすい
9. 下痢しやすい
10. イライラする
11. 集中力の低下
12. 無力感がある
13. 憂鬱になる
14. その他 ()

問58 現在、悩んでいることがありますか (〇はいくつでも)。

1. 悩みはない
2. 勉強や成績のこと
3. 卒業研究や論文のこと
4. 進路や就職のこと
5. クラブ・サークル活動のこと
6. 人間関係のこと
7. 恋愛や結婚のこと
8. 自分自身の性格のこと
9. 健康上のこと
10. 性(セックス)に関して
11. 経済的なこと
12. 家庭環境や家族のこと
13. その他 ()

問59 ふだん、悩みにどのように対処することが多いですか。

1. 自分自身で解決できるように努力することが多い
 2. 誰かに相談することが多い
 3. 特に何もせず、なりゆきにまかせることが多い
-

問60 悩みについて相談するのは主に誰ですか (〇はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------|--------------|-------------|
| 1. 悩みがあっても相談しない | 2. 相談する人がいない | 3. 友人 |
| 4. 先輩 | 5. 家族 | 6. 親戚 |
| 7. 教員 | 8. 事務職員 | 9. 保健管理センター |
| 10. 学生なんでも相談 | 11. その他 () | |
-

問61 あなたは大学院をやめたいと思ったことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ない | 2. ある |
|-------|-------|

SQ (あると答えた方に) そう思った理由は次のうちどれですか (〇はいくつでも)。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 学部、学科が合わない | 2. 自分の能力に合わない |
| 3. 就職に不利だと思った | 4. 経済的理由 |
| 5. 家庭的事情 | 6. 遊びたいと思った |
| 7. 恋愛・結婚問題 | 8. 他にやりたいことが見つかった |
| 9. 学生同士の間人間関係 | 10. 教員との関係 |
| 11. その他 () | |

最後に経済的なことについてお聞きします。

問62 あなたの家庭の、主たる家計支持者の職業は、次のうちどれに当たりますか。

- | | | |
|--------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 民間企業 | 2. 公務員・公的機関 | 3. 教育職 |
| 4. 研究職 | 5. 専門職 (医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など) | |
| 6. 農林漁業 | 7. 自営業 (自宅で) | 8. 自営業 (自宅以外) |
| 9. パート・アルバイト | 10. 無職・失業中 | 11. その他 () |

問63 主たる家計支持者の年収は、だいたいどのくらいですか。

- | | | |
|------------------|------------------|--------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円～200万円未満 | 3. 200万円～400万円未満 |
| 4. 400万円～600万円未満 | 5. 600万円～800万円未満 | 6. 800万円～1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上 | | |

問64 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して記入してください。

支出 約 () 円	収入 約 () 円
内訳：食費…………… () 円	内訳：実家から…………… () 円
住居費…………… () 円	奨学金…………… () 円
光熱水費…………… () 円	アルバイト…………… () 円
娯楽費…………… () 円	その他…………… () 円
研究・勉学費…………… () 円	
衣料費…………… () 円	
交通費…………… () 円	
通信費…………… () 円	
医療費…………… () 円	
貯金…………… () 円	
その他…………… () 円	

問65 現在、あなた自身の預貯金がありますか。

- | | |
|----------------|-------|
| 1. ある →約 () 円 | 2. ない |
|----------------|-------|

問66 現在、あなた自身のクレジットまたはローンの残額がありますか。

- | | | | | |
|-------|----------|-------------|--------------|-----------|
| 1. ない | 2. 5万円未満 | 3. 5～10万円未満 | 4. 10～20万円未満 | 5. 20万円以上 |
|-------|----------|-------------|--------------|-----------|

問67 現在アルバイトをしていますか。

1. している 2. していない

SQ (アルバイトをしている方に) そのアルバイトについてお聞きします。

(1) 週に何日アルバイトをしていますか。

1. 1～3日 2. 4～6日 3. 毎日 4. 不定期

(2) 一日当たりのアルバイトの時間は、大体決まっていますか。

1. 決まっている → だいたい () 時間くらい
2. 決まっていない

(3) アルバイトの主な目的は次のうちどれですか (○はいくつでも)。

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 家庭の経済的負担を軽減するため | 2. 遊びやつきあいにお金が必要 |
| 3. 自由に使えるお金が欲しいから | 4. 社会経験のため |
| 5. 将来の仕事を体験してみたいから | 6. 経済的に少しでも自立したいから |
| 7. 貯金をしたいから | 8. みんながしているから |
| 9. その他 () | |

問68 授業料の支払いに必要なお金は、主として次のうちの誰 (どこ) から出ていますか。

1. 親 2. 親戚 3. 奨学金 4. アルバイト 5. 授業料は免除されている
-

問69 奨学金や授業料免除についてお聞きします。

- (1) 現在奨学金を受けていますか…………… 1. はい 2. いいえ
(2) これまで (大学での) 奨学金を申し込みましたか…………… 1. はい 2. いいえ
(3) 今年度、授業料免除を受けていますか…………… 1. はい 2. いいえ
(4) 今年度、授業料免除を申し込みましたか…………… 1. はい 2. いいえ

問70 現住所の居住形態は次のうちどれですか。

1. 実家 2. 下宿 3. アパート 4. 学生寮 5. その他 ()

SQ 下宿、またはアパート暮らしの方にお聞きします。

(1) 住居の広さはどのくらいですか。

1. 6畳以下 (バス・トイレなし) 2. 6畳以下 (バス・トイレ付)
3. 6畳～12畳 (バス・トイレなし) 4. 6畳～12畳 (バス・トイレ付) 5. 12畳以上

(2) 現在、同居している人はいますか

1. いない 2. 家族・親戚 3. 友人・知人など家族以外の人

(3) あなたが学生寮に住まない主な理由は次のうちどれですか。

1. 集団生活がいや 2. 部屋が古く狭い 3. 設備が悪い
4. 相部屋である 5. 規則等に縛られる 6. 自分の時間が持てない
7. その他 ()

SQ (学生寮に住んでいる方に) 学生寮に住む主な理由は次のうちどれですか。

1. 経済的理由 2. 集団生活が楽しめる 3. 友人・知人が得られる
4. 食事が出る 5. 先輩・知人に勧められて 6. 親・家族に勧められて
7. その他 ()

問71 (ここからは、再び**すべての方に**) あなたの家(部屋)にあつて、あなた自身が所有している物すべてに○をつけてください。

1. テレビ 2. ビデオ 3. オーディオ機器 4. ゲーム機
5. 冷蔵庫 6. 洗濯機 7. クーラー 8. 加入電話(固定電話)
9. 携帯・PHS 10. FAX 11. パソコン 12. 自転車
13. バイク(原付含む) 14. 自動車

大学へのご意見、ご要望、ご批判などがありましたら、この欄に自由にお書きください

ご協力、まことにありがとうございました。

付録2

附属統計表

(学部学生・大学院生 男女別比率)

附属統計表（学部学生男女比率）

問1 性別

男		女		合計
514	44.5%	640	55.5%	1,154

問2 年齢

	男	女	合計
平均	20.7	20.4	20.6
人数	512	639	1,151

問3 所属学科

項目	男	女	合計
人文学部	9.6	17.0	26.6
教育学部	6.3	14.8	21.1
医学部医学科	3.9	2.5	6.4
医学部保健学科	3.8	8.7	12.5
理工学部	12.9	3.6	16.5
農学生命科学部	8.0	8.9	16.9

問4 学年

項目	男	女	合計
1年	11.1	15.2	26.3
2年	7.5	10.1	17.5
3年	13.8	16.5	30.3
4年	12.0	13.2	25.2
5年	0.1	0.3	0.3
6年	0.2	0.3	0.4

問5 受験様式

項目	男	女	合計
前期日程	26.9	32.2	59.1
後期日程	8.0	8.1	16.1
推薦(センター試験有)	2.0	4.9	6.9
推薦(センター試験無)	5.7	8.9	14.6
その他	1.8	1.5	3.3

問6 実家の所在地

項目	男	女	合計
北海道	9.1	10.1	19.2
青森県	18.7	26.0	44.7
岩手県	4.2	4.8	9.0
秋田県	2.8	4.1	6.8
宮城県	1.1	1.9	3.0
山形県	0.9	1.2	2.1
福島県	0.8	1.1	1.9
関東甲信	4.1	3.9	8.0
東海・北陸	1.6	1.5	3.0
近畿	0.3	0.4	0.8
中国・四国	0.0	0.2	0.2
九州・沖縄	0.8	0.2	1.0
外国	0.2	0.1	0.3

問7 大学進学志望理由

項目	男	女	合計
学問・研究	49.8	47.0	48.3
専門的知識や技術習得	59.9	59.9	59.9
教養を身につける	42.6	44.7	43.8
社会人としての素養	30.0	25.2	27.3
資格をとる	27.8	40.8	35.0
学歴を得る	46.5	46.7	46.6
学生生活を楽しむ	32.3	29.8	30.9
スポーツ・文化活動する	11.7	6.9	9.0
友人をつくる	19.3	12.9	15.7
親など周囲の人に勧められた	15.0	17.7	16.5
まだ就職したくない	17.5	15.8	16.6
その他	1.8	1.9	1.8

問8 弘前大学第一志望か

項目	男	女	合計
はい	49.6	55.0	52.6
いいえ	50.4	45.0	47.4

問9 弘前大学選択理由

項目	男	女	合計
志望専攻分野があった	56.6	66.5	62.1
特色・学風に惹かれた	6.6	7.4	7.0
能力・学力があっていた	48.6	51.9	50.4
施設・設備がよい	4.1	3.9	4.0
優れた教員がいる	3.1	4.5	3.9
国立大学だから	74.9	78.4	76.8
実家に近い	37.0	40.4	38.9
就職に有利	8.9	8.5	8.7
経済的負担が軽い	32.1	28.4	30.0
親や周囲の人に勧められた	10.9	15.0	13.2
進路指導に勧められた	8.2	14.1	11.5
弘前の土地柄に惹かれた	6.4	9.6	8.2
親元を離れたかった	12.1	11.9	12.0
生活環境がよい	5.3	5.3	5.3
学生支援が充実	1.2	1.3	1.2
その他	2.2	2.7	3.3

問10 高校履修科目

項目	男	女	合計
数学Ⅰ(数学A)	98.2	98.9	98.6
数学Ⅱ(数学B)	98.1	97.7	97.8
数学Ⅲ(数学C)	59.3	41.9	49.7
工業数理	1.2	0.2	0.6
物理	51.9	28.3	38.9
化学	76.1	69.8	72.6
生物	53.3	75.4	65.6
地学	13.0	10.8	11.8
総合理科	36.0	46.9	42.1
日本史	43.4	52.3	48.3

世界史	73.5	77.5	75.7
地理	47.5	44.4	45.8
現代社会	60.1	67.0	63.9
倫理	26.7	34.6	31.0
政治・経済	45.1	49.1	47.4
情報A	67.7	72.5	70.3
情報B	8.2	7.5	7.8
情報C	5.4	4.2	4.8

問11 授業出席状況

項目	男	女	合計
すべて出席	39.9	38.9	39.4
ほとんど出席	54.2	56.7	55.6
半分出席	3.1	2.4	2.7
ほとんど出席していない	1.2	1.3	1.2
全く出席していない	1.6	0.8	1.1

問12 授業欠席理由

項目	男	女	合計
欠席なし	33.5	31.7	32.5
病気・けが	21.6	30.9	26.8
遊び	5.2	1.1	2.9
寝坊	36.9	33.6	35.1
サークル活動	6.3	5.0	5.6
アルバイト	2.6	0.6	1.5
関心事の追求	5.2	4.4	4.7
勉強意欲がわかない	7.3	5.7	6.4
授業がつまらない	12.5	6.6	9.2
ただ何となく	8.3	4.6	6.2
その他	10.3	13.9	12.3

問13 授業に満足しているか

項目	男	女	合計
非常に満足	9.7	10.3	10.0
まあまあ満足	71.3	78.2	75.1
あまり満足していない	14.7	10.1	12.1
まったく満足していない	4.4	1.4	2.7

問14 授業に満足できない理由

項目	男	女	合計
難しい	18.9	17.5	18.1
やさしすぎる	3.5	4.2	3.9
興味関心がない	40.7	46.1	43.7
受講したい科目が少ない	17.9	20.2	19.2
役に立たない科目が多い	17.7	12.0	14.6
受講者が多すぎる	12.6	14.4	13.6
必修科目が多すぎる	8.9	10.6	9.9
単位取得や科目選択の制限	21.2	20.0	20.5
施設・設備が不十分	11.9	12.0	12.0
その他	13.0	14.8	14.0

問15 難しすぎる科目はあるか

項目	男	女	合計
ない	41.2	37.0	38.8
ある	58.8	63.0	61.2

問15 難しすぎる科目数

項目	男	女	合計
平均	3.6	3.0	3.3
人数	297	402	699

問15 難しすぎる科目への希望

項目	男	女	合計
基礎参考書を示す	26.9	20.8	23.4
基礎から説明	63.8	68.1	66.3
例題や演習を増やす	41.7	22.5	30.7
社会での必要性を示す	17.2	11.9	14.2
勉強の仕方を教える	24.1	29.4	27.2
基礎科目を増やす	5.5	4.3	4.8
オフィスアワーを増やす	5.2	4.1	4.5
その他	5.2	6.3	5.8

問16 教員と話をするか

項目	男	女	合計
よくある	8.4	7.4	7.8
わりとある	22.7	25.2	24.1
あまりない	48.8	49.8	49.4
まったくない	20.0	17.6	18.6

問17 ふだんの学習研究時間

項目	男	女	合計
3時間以上	8.0	5.2	6.4
2～3時間	12.7	13.5	13.1
1～2時間	27.8	26.6	27.2
30分～1時間	18.0	22.7	20.6
30分未満	15.1	15.8	15.5
しない	18.4	16.1	17.1

問18 図書館の利用

項目	男	女	合計
ほとんど毎日	2.5	2.0	2.3
週3、4回	10.2	10.0	10.1
週1、2回	21.6	22.6	22.1
月1、2回	39.4	38.1	38.7
ほとんど利用しない	26.3	27.3	26.8
全く利用しない	0.0	0.0	0.0

問19 図書館の利用目的

項目	男	女	合計
勉強・研究	59.3	65.9	63.0
調べもの	69.7	72.0	71.0
予習・復習	31.6	35.7	33.9
新聞や雑誌を読む	23.4	20.8	21.9

読書	8.1	10.4	9.4
パソコン利用	29.9	38.7	34.9
その他	2.6	1.6	2.0

問20 図書館の利用で困ったこと

項目	男	女	合計
騒がしい	8.1	7.5	7.8
土日を含め24時間利用	69.6	65.0	66.9
本の種類が少ない	31.3	41.4	37.1
新聞や雑誌の種類が少ない	7.2	6.8	7.0
その他	19.0	21.2	20.3

問21 コンピュータ室の利用

項目	男	女	合計
ほとんど毎日	1.6	0.9	1.2
週3, 4回	3.3	4.2	3.8
週1, 2回	18.3	14.8	16.3
月1, 2回	23.0	24.0	23.6
ほとんど利用しない	42.6	44.3	43.5
全く利用しない	11.2	11.8	11.5

問22 コンピュータ室の利用で困ったこと

項目	男	女	合計
困ったことはない	54.9	49.5	51.9
パソコン数が少ない	7.0	7.3	7.2
紙などが散乱して汚い	5.0	5.0	5.0
騒がしい	3.5	5.8	4.8
土日を含め24時間利用	24.6	33.5	29.6
ソフトの種類が少ない	2.5	1.9	2.2
自分で持ち込んだパソコンが利用できない	7.7	9.0	8.4
その他	12.4	7.6	9.7

問23 コンピュータ室の利用目的

項目	男	女	合計
授業の予習・復習	32.1	31.0	31.5
研究	24.8	25.4	25.1
レポート作成	71.6	76.2	74.2
パソコンの使い方を学ぶ	4.2	3.2	3.7
メールのやりとり	11.5	9.3	10.2
ホームページを見るため	31.7	37.1	34.7
ゲーム	1.8	1.3	1.5
チャット利用	0.4	0.0	0.2
本学案内	26.8	28.0	27.5
その他	8.1	6.1	7.0

問24 自分用パソコンの有無

項目	男	女	合計
持っている	99.2	99.2	99.2
持っていない	0.8	0.8	0.8

問24 自分用パソコンの利用目的

項目	男	女	合計
授業の予習・復習	45.8	46.0	45.9
研究	34.0	32.8	33.3
レポート作成	92.5	97.3	95.2
パソコンの使い方を学ぶ	12.4	6.8	9.3
メールのやりとり	41.7	45.2	43.6
ホームページを見るため	81.3	87.7	84.9
ゲーム	37.5	26.5	31.4
チャット利用	11.4	9.8	10.5
プログラム開発	4.1	0.8	2.3
自分用ホームページを作成するため	3.1	5.7	4.5
音楽ソフト等をダウンロード	42.4	42.2	42.3
自宅から大学情報の取得	34.4	36.4	35.5
その他	4.7	3.3	3.9

問24 インターネットの接続状況

項目	男	女	合計
接続している	95.5	93.6	94.4
接続していない	4.5	6.4	5.6

問25 授業・研究のためのインターネット利用時間

項目	男	女	合計
利用しない	11.0	12.1	11.6
15分未満	11.4	13.8	12.7
15分～30分未満	14.7	14.6	14.6
30分～1時間未満	25.3	23.5	24.3
1時間～2時間	23.7	21.7	22.6
2時間～3時間	8.8	8.8	8.8
3時間～5時間	3.5	4.6	4.1
5時間以上	1.6	0.9	1.2

問26 授業・研究以外のインターネット利用時間

項目	男	女	合計
利用しない	1.9	1.6	1.7
15分未満	2.7	5.0	4.0
15分～30分未満	4.5	4.4	4.4
30分～1時間未満	12.1	15.5	14.0
1時間～2時間	31.4	25.7	28.2
2時間～3時間	22.6	23.7	23.2
3時間～5時間	12.5	16.1	14.5
5時間以上	12.3	8.0	9.9

問27 学生用掲示板でよく利用する案内

項目	男	女	合計
全く見ない	30.0	26.7	28.2
休講通知	55.1	57.6	56.5
呼び出しの確認	55.5	56.2	55.9
単位取得の確認	28.2	25.9	26.9
講演案内	15.7	19.2	17.6
求人案内	12.2	15.7	14.1
奨学金案内	26.9	28.7	27.9
留学案内	2.2	2.8	2.5

その他	1.8	1.3	1.5
-----	-----	-----	-----

問28 海外留学について

項目	男	女	合計
考えていない	71.7	67.9	69.6
留学してみたい	28.3	32.1	30.4

問28 海外留学してみたい理由

項目	男	女	合計
外国人と友達になりたい	41.8	38.9	40.1
外国語を自由に話したい	73.0	75.4	74.4
海外で生活・就職してみたい	51.8	55.2	53.8
その他	4.3	8.9	11.6

問29 卒業後の進路

項目	男	女	合計
就職	77.5	84.1	81.2
本学大学院進学	7.5	3.8	5.4
国内他大学大学院進学	7.1	5.0	5.9
海外大学大学院進学	0.4	0.5	0.4
専門学校進学	0.0	0.5	0.3
まだ考えていない	6.3	4.2	5.2
その他	1.2	1.9	1.6

問30 大学院進学理由

項目	男	女	合計
もっと勉強したい	51.2	69.4	58.9
学問・研究の道を希望	54.8	56.5	55.5
高学歴を得たい	39.3	41.9	40.4
就職や資格取得に有利	29.8	35.5	32.2
希望の職に就けなかった	3.6	3.2	3.4
まだ就職したくない	16.7	12.9	15.1
友人が進学するから	1.2	0.0	0.7
その他	2.4	3.2	2.7

問31 将来の第1志望

項目	男	女	合計
民間企業	28.2	26.9	27.5
公務員・公的機関	27.8	24.2	25.8
教育職	13.2	20.0	17.0
研究職	10.0	4.5	6.9
専門職	18.0	21.6	20.0
家業	0.2	0.2	0.2
自分で起業	0.4	0.5	0.4
フリーター	0.6	0.3	0.4
その他	1.6	1.8	1.7

問32 大都市で働きたいか

項目	男	女	合計
強く思う	13.0	10.2	11.4
少し思う	33.5	30.3	31.7
あまり思わない	39.9	37.2	38.4
まったく思わない	13.6	22.3	18.5

問33 大都市就職後出身地へ帰りたいか

項目	男	女	合計
強く思う	42.6	48.6	45.9
少し思う	36.8	33.5	35.0
あまり思わない	15.4	14.1	14.7
まったく思わない	5.3	3.8	4.4

問34 職業を選択する際に重視すること

項目	男	女	合計
知識技能が活かせる	58.4	59.6	59.1
独創性や創造性を発揮	23.5	17.1	19.9
十分な収入	58.0	59.2	58.6
安定した生活	69.5	75.4	72.8
社会的な地位・名声	16.7	6.7	11.2
華やかな活躍	6.8	3.8	5.1
人や組織を動かす	8.4	5.0	6.5
自由な活動	22.6	18.3	20.2
人助けや社会奉仕	36.4	40.1	38.4
自分の時間がとれる	33.9	37.7	36.0
好きなことを仕事にできる	49.2	57.6	53.9
転職がない	12.8	15.5	14.3
家業を継ぐ	0.8	0.2	0.4
就職したい地域	29.2	38.8	34.5
その他	2.5	1.6	2.0

問35 就職進学で教員や大学に希望すること

項目	男	女	合計
積極的な対策	36.3	37.2	36.8
就職先の開拓	35.0	35.0	35.0
教員が人材育成に積極的	29.3	20.9	24.7
教員が積極的助言、指導、斡旋	32.2	38.0	35.4
希望はない	25.9	26.5	26.2
その他	4.7	3.0	3.8

問36 学生就職支援センターの利用

項目	男	女	合計
利用した	23.3	23.9	23.7
今後利用したい	43.3	47.6	45.7
利用しない	18.2	17.5	17.8
存在を知らない	11.2	8.1	9.5
場所を知らない	3.9	2.8	3.3

問37 クラブやサークルに所属

項目	男	女	合計
所属している	74.2	78.1	76.3
所属していない	25.8	21.9	23.7

問37 クラブやサークルでよかったこと

項目	男	女	合計
教養・技能が身についた	38.1	34.5	36.1
友人ができた	88.9	94.1	91.9
健康維持に役立っている	34.9	17.2	24.9

人との接し方を学べた	44.4	48.3	46.6
積極性が出てきた	27.8	25.1	26.2
責任感協調性が身についた	43.7	38.4	40.7
楽しく過ごせている	70.6	71.1	70.9
その他	2.1	1.0	1.5

問37 クラブやサークルの施設や支援に満足しているか

項目	男	女	合計
満足している	39.4	43.3	41.6
満足していない	60.6	56.7	58.4

問37 クラブやサークルに所属しない理由

項目	男	女	合計
学業との両立に自信がない	28.0	30.0	29.0
練習や活動がきつそう	13.6	12.1	12.9
健康上の理由	3.0	7.1	5.1
生活を拘束されたくない	41.7	36.4	39.0
人間関係が面倒	29.5	33.6	31.6
時間にゆとりがない	32.6	33.6	33.1
魅力的なクラブ・サークルがない	31.8	35.7	33.8
その他	15.2	15.7	15.4

問38 学内の友人

項目	男	女	合計
平均	25.2	27.8	26.6
人数	453	556	1,009

問38 学内の友人で特に親しいといえる人

項目	男	女	合計
平均	6.7	6.0	6.3
人数	421	545	966

問38 学外の友人

項目	男	女	合計
平均	31.5	29.3	30.3
人数	412	523	935

問38 学外の友人で特に親しいといえる人

項目	男	女	合計
平均	7.3	5.9	6.5
人数	407	570	925

問39 大切な人間関係

項目	男	女	合計
クラス・研究室・ゼミ	75.4	76.9	76.2
クラブ・サークル	62.7	66.5	64.8
寮・下宿	12.9	18.2	15.9
大学の教員	20.5	19.3	19.9
高校以来の友達	70.3	80.0	75.7
中学校以前からの友達	57.8	64.2	61.3
入学後親しくなった人	27.1	31.9	29.8

その他	4.7	7.5	6.3
特にな	2.1	1.3	1.7

問40 学内で留学生と話すことがあるか

項目	男	女	合計
よくある	3.9	4.1	4.0
ときどきある	15.8	14.9	15.3
ほとんどない	19.3	21.0	20.3
まったくない	61.0	60.0	60.4

問41 友人関係はうまくいっているか

項目	男	女	合計
うまくいっている	24.8	30.3	27.8
だいたいうまくいっている	64.3	64.7	64.5
あまりうまくいっていない	8.4	4.9	6.4
まったくうまくいっていない	2.5	0.5	1.4

問42 興味や関心があること

項目	男	女	合計
政治・社会問題	44.7	28.4	35.7
授業・勉強・研究	60.9	63.2	62.2
友人関係や恋愛	61.3	67.7	64.8
家族・家庭のこと	31.5	42.6	37.7
趣味・遊び	78.2	77.4	77.8
スポーツ	44.4	27.4	35.0
進路	66.0	65.7	65.8
アルバイト	38.1	45.6	42.3
芸能関係	13.4	17.7	15.8
音楽・文芸・芸術	40.3	57.1	49.6
ボランティア	10.9	16.8	14.1
旅行・留学	26.1	42.6	35.2
その他	1.8	0.6	1.1

問43 平日空き時間を過ごす場所

項目	男	女	合計
研究室・実習・実験室	26.8	21.8	24.0
空き教室	20.8	32.1	27.1
クラブ・サークルの部室	8.6	7.4	7.9
生協の店舗	43.4	48.4	46.2
図書館	30.4	36.8	33.9
学生会館	8.4	7.5	7.9
キャンパスの庭	3.1	3.8	3.5
学生ホール	8.8	23.7	17.0
学外	43.2	31.2	36.5
その他	10.9	12.4	11.7

問44 新聞をどのくらい読むか

項目	男	女	合計
毎日読む	14.4	10.2	12.1
週に5~6日	6.0	5.8	5.9
週に3~4日	9.9	8.3	9.0
週に1~2日	20.6	18.3	19.4
読まない	49.0	57.4	53.6

問44 新聞を一日に読む時間

項目	男	女	合計
5分未満	6.2	9.2	7.7
5分～10分	30.2	33.8	32.1
10分～30分	46.5	43.0	44.7
30分～1時間	12.0	11.4	11.7
1～2時間	3.9	1.8	2.8
2時間以上	1.2	0.7	0.9

問45 テレビのニュースをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	45.9	52.1	49.3
週に5～6日	14.6	13.6	14.1
週に3～4日	12.5	13.5	13.0
週に1～2日	11.7	10.3	10.9
見ない	15.4	10.5	12.7

問45 テレビのニュースを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	1.6	1.4	1.5
5分～10分	7.4	10.9	9.4
10分～30分	40.9	38.1	39.3
30分～1時間	34.9	33.6	34.1
1～2時間	11.8	13.0	12.5
2時間以上	3.5	3.0	3.2

問46 パソコンのニュースサイトをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	35.7	21.4	27.8
週に5～6日	10.7	9.4	10.0
週に3～4日	13.5	10.6	11.8
週に1～2日	17.7	18.4	18.1
見ない	22.4	40.2	32.2

問46 パソコンのニュースサイトを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	10.7	20.2	15.3
5分～10分	32.7	42.4	37.5
10分～30分	36.5	28.1	32.4
30分～1時間	15.0	7.7	11.4
1～2時間	3.3	1.6	2.5
2時間以上	1.8	0.0	0.9

問47 携帯電話のニュースサイトをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	34.3	32.9	33.5
週に5～6日	6.4	9.4	8.1
週に3～4日	10.3	10.0	10.2
週に1～2日	8.6	13.3	11.2
見ない	40.4	34.4	37.1

問47 携帯電話のニュースサイトを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	22.5	27.2	25.2
5分～10分	41.7	44.3	43.2
10分～30分	24.5	23.4	23.8
30分～1時間	7.6	3.9	5.4
1～2時間	2.6	1.0	1.7
2時間以上	1.0	0.2	0.6

問48 関心を持っているニュース

項目	男	女	合計
トップニュース	48.1	70.7	60.9
社会面	9.8	8.6	9.1
政治面	9.8	5.2	7.2
経済面	1.5	1.1	1.3
国際面	0.8	3.4	2.3
文化面	3.8	2.9	3.3
家庭面	0.0	0.0	0.0
科学面	3.0	0.0	1.3
スポーツ面	15.0	3.4	8.5
地域・文化面	3.0	2.3	2.6
テレビ番組表	5.3	2.3	3.6

問49 メールを読み書きの時間

項目	男	女	合計
15分未満	36.1	21.7	28.1
15分以上30分未満	26.7	28.7	27.8
30分以上1時間未満	21.6	27.0	24.6
1時間以上2時間未満	9.6	12.9	11.4
2時間以上5時間未満	4.1	8.2	6.3
5時間以上	0.4	1.3	0.9
メールは使わない	1.6	0.3	0.9

問50 インターネットでのトラブル

項目	男	女	合計
ある	27.1	28.4	27.8
ない	72.9	71.6	72.2

問50 トラブル内容

項目	男	女	合計
ウイルス・ワーム感染した	26.3	18.3	21.8
迷惑メールの受信した	65.0	80.0	73.5
メールやホームページ上での嫌がらせ	4.4	8.3	6.6
掲示板が荒らされた	3.6	5.0	4.4
架空請求された	36.5	27.2	31.2
詐欺にあった	2.9	0.6	1.6
アカウントを不正利用された	2.2	2.2	2.2
自分のファイルを見られた	0.0	1.7	0.9
実際に会おうとつこく誘われた	4.4	10.0	7.6

商品等の購入でしつこく勧誘された	4.4	1.1	2.5
個人情報勝手に公開された	0.7	3.3	2.2
その他	3.6	2.8	3.2

問51 通学時間(分)

項目	男	女	合計
平均	15	18	17
人数	512	634	1,146

問52 通学方法

項目	男	女	合計
徒歩	51.8	58.6	55.6
自転車	81.3	86.1	83.9
バイク	3.9	0.8	2.2
自家用車	7.8	8.0	7.9
公共交通機関	9.6	13.8	11.9

問52 自転車の止める場所

項目	男	女	合計
大学の駐輪スペース	98.5	99.6	99.2
構内路上	1.0	0.4	0.6
大学構外	0.5	0.0	0.2

問52 駐輪スペースの設置状況

項目	男	女	合計
十分	24.4	17.2	20.3
不足だが困っていない	46.4	50.7	48.9
不足して困っている	29.1	32.0	30.8

問52 自転車登録しているか

項目	男	女	合計
はい	73.8	82.8	78.9
いいえ	26.2	17.2	21.1

問52 自家用車を止める場所

項目	男	女	合計
大学の駐車場	36.1	17.9	26.7
構外の有料駐車場	50.0	53.8	52.0
その他	13.9	28.2	21.3

問52 駐車許可書の許可を受けているか

項目	男	女	合計
はい	50.0	10.3	29.9
いいえ	50.0	89.7	70.1

問53 朝食をとるか

項目	男	女	合計
毎日	43.9	52.4	48.6
週に5~6日	18.4	22.1	20.4
週に3~4日	14.4	12.2	13.2
週に1~2日	10.1	8.7	9.3
とらない	13.2	4.6	8.5

問54 起床時間(平日)

項目	男	女	合計
平均	7:44	7:25	7:36
人数	511	636	1,154

問54 就寝時間(平日)

項目	男	女	合計
平均	0:29	0:30	0:29
人数	511	634	1,145

問54 起床時間(休日)

項目	男	女	合計
平均	9:14	9:14	9:14
人数	510	637	1,147

問54 就寝時間(休日)

項目	男	女	合計
平均	1:04	0:58	1:01
人数	510	636	1,146

問55 たばこを吸うか

項目	男	女	合計
吸っている	8.4	2.2	5.0
以前吸っていた	4.5	2.7	3.5
吸っていない	87.1	95.1	91.6

問55 たばこ喫煙本数

項目	男	女	合計
平均	8.7	6.1	8.0
人数	41.0	13.0	54.0

問56 受動喫煙の機会

項目	男	女	合計
毎日	7.8	7.7	7.7
3~6日	14.6	13.7	14.1
1~2日	22.6	18.5	20.3
ほとんどない	42.2	47.6	45.2
全くない	12.8	12.6	12.7

問57 飲酒の頻度

項目	男	女	合計
飲まない	22.2	28.2	25.5
週に1回以下	58.1	60.1	59.2
週2~3回	13.3	9.9	11.4
週4~5回	4.7	1.4	2.9
毎日	1.8	0.5	1.0

問58 健康のために心がけていること

項目	男	女	合計
スポーツをしている	37.4	21.1	28.4
身体を動かすようにしている	40.7	39.4	40.0
自然・健康食品をとる	13.2	13.0	13.1

バランスのとれた食事	33.9	39.7	37.1
栄養剤, 栄養飲料	10.1	9.7	9.9
規則正しい生活	25.9	28.8	27.5
健康診断を受けている	5.4	6.7	6.2
体調チェックしている	13.4	16.9	15.4
特にない	22.0	19.4	20.6

問59 健康診断を受けたか

項目	男	女	合計
全部受けた	83.2	86.8	85.2
一部受けた	5.7	3.9	4.7
受けなかった	11.1	9.2	10.1

問59 受けなかった理由

項目	男	女	合計
知らなかった	14.3	14.5	14.4
忘れていた	37.5	36.4	36.9
授業があった	23.2	21.8	22.5
受けるのが面倒	14.3	18.2	16.2
その他	10.7	9.1	9.9

問60 健康状態

項目	男	女	合計
良好	79.4	76.1	77.6
調子が悪い	15.6	19.2	17.5
病気だと思う	1.8	1.1	1.4
通院している	3.3	3.6	3.5

問61 自覚症状

項目	男	女	合計
自覚症状ない	27.6	21.3	24.1
疲れる	38.8	47.5	43.7
食欲がない	6.4	9.3	8.0
眠れない	16.1	18.1	17.2
頭痛がする	12.2	23.5	18.6
胃腸の調子が悪い	12.6	20.2	16.8
よく熱がでる	1.0	2.7	2.0
便秘がしやすい	8.2	23.0	16.6
下痢がしやすい	16.5	14.4	15.3
イライラする	14.4	19.5	17.3
集中力の低下	24.5	28.5	26.8
無力感	24.7	23.7	24.1
憂鬱になる	24.5	29.8	27.5
その他	4.9	4.2	4.5

問62 悩んでいること

項目	男	女	合計
悩みがない	13.1	10.0	11.4
勉強・成績	38.9	35.6	37.1
卒業研究	29.5	32.9	31.4
進路・就職	63.0	64.9	64.1
クラブ・サークル活動	17.0	19.1	18.2

項目	男	女	合計
人間関係	28.2	29.9	29.2
恋愛・結婚	28.4	22.6	25.2
自分自信の性格	23.1	28.1	25.8
健康上	13.3	14.6	14.0
性的こと	8.8	3.9	6.1
経済的	26.4	23.5	24.8
家庭環境・家族	11.7	12.7	12.3
その他	1.6	2.0	1.8

問63 悩みの対処

項目	男	女	合計
自分自身で解決	55.7	36.7	45.2
誰かに相談	17.1	37.6	28.5
なりゆき	27.3	25.7	26.4

問64 悩みの相談相手

項目	男	女	合計
相談しない	24.8	16.6	20.3
相談する人がいない	4.9	2.2	3.4
友人	63.7	75.1	70.0
先輩	18.2	17.1	17.6
家族	37.1	56.9	48.1
親戚	1.4	1.4	1.4
教員	3.5	5.0	4.3
事務職員	0.2	0.2	0.2
保健管理センター	0.2	0.5	0.3
学生なんでも相談	0.2	0.0	0.1
その他	3.1	3.8	3.5

問65 大学をやめたいと思ったこと

項目	男	女	合計
ない	75.7	72.9	74.1
ある	24.3	27.1	25.9

問65 やめたい理由

項目	男	女	合計
学部学科があわない	41.3	35.9	38.1
能力にあわない	31.4	28.8	29.9
就職に不利	21.5	10.6	15.1
経済的理由	9.1	16.5	13.4
家庭的事情	5.8	7.6	6.9
遊びたい	11.6	10.6	11.0
恋愛・結婚問題	6.6	0.6	3.1
他のことがしたい	13.2	11.2	12.0
学生との人間関係	16.5	21.8	19.6
教員との関係	6.6	3.5	4.8
その他	14.9	23.5	19.9

問66 家計支持者の職業

項目	男	女	合計
民間企業	44.7	42.1	43.2
公務員・公的機関	19.8	23.4	21.8
教育職	5.9	5.9	5.9
研究職	0.4	0.2	0.3
専門職	5.1	6.9	6.1
農林漁業	4.5	3.9	4.2
自営業(自宅で)	6.1	6.1	6.1
自営業(自宅以外)	4.7	5.0	4.9
パートアルバイト	4.3	1.4	2.7
無職・失業中	2.6	3.4	3.0
その他	1.8	1.8	1.8

問67 家計支持者の年収

項目	男	女	合計
100万円未満	5.6	5.5	5.6
100万～200万円未満	11.7	11.3	11.4
200万～400万円未満	26.3	29.2	27.9
400万～600万円未満	26.1	22.0	23.9
600万～800万円未満	17.1	20.1	18.7
800万～1,000万円未満	9.7	7.6	8.6
1,000万円以上	3.5	4.4	4.0

問68 生活費支出計(円)

項目	男	女	合計
平均	73,430	71,269	72,269
人数	448	520	968

問68 食費(円)

項目	男	女	合計
平均	17,631	15,638	16,581
人数	396	441	837

問68 住居費(円)

項目	男	女	合計
平均	36,378	36,216	36,293
人数	320	349	669

問68 光熱水費(円)

項目	男	女	合計
平均	8,455	8,300	8,373
人数	301	339	640

問68 娯楽費(円)

項目	男	女	合計
平均	9,820	9,724	9,770
人数	352	384	736

問68 研究・勉学費(円)

項目	男	女	合計
平均	7,749	5,993	6,832
人数	162	177	339

問68 衣料費(円)

項目	男	女	合計
平均	5,850	7,126	6,654
人数	183	312	495

問68 交通費(円)

項目	男	女	合計
平均	7,038	5,762	6,346
人数	87	103	190

問68 通信費(円)

項目	男	女	合計
平均	6,118	5,961	6,033
人数	222	258	480

問68 医療費(円)

項目	男	女	合計
平均	4,193	3,763	3,921
人数	44	76	120

問68 貯金(円)

項目	男	女	合計
平均	16,780	18,395	17,669
人数	112	137	249

問68 その他(円)

項目	男	女	合計
平均	12,894	10,487	11,511
人数	77	104	181

問68 収入(円)

項目	男	女	合計
平均	81,241	83,239	82,312
人数	450	520	970

問68 実家から(円)

項目	男	女	合計
平均	56,939	57,194	57,075
人数	313	358	671

問68 奨学金(円)

項目	男	女	合計
平均	60,489	58,439	59,354
人数	221	274	495

問68 アルバイト(円)

項目	男	女	合計
平均	35,899	30,437	32,474
人数	119	200	319

問68 その他(円)

項目	男	女	合計
平均	34,031	19,003	26,517
人数	16	16	32

問69 預貯金はありますか

項目	男	女	合計
ある	67.7	73.1	70.7
ない	32.3	26.9	29.3

問69 預貯金金額(円)

項目	男	女	合計
平均	307,969	273,496	289,555
人数	307	352	659

問70 クレジットやローンの残額

項目	男	女	合計
ない	91.1	92.3	91.8
5万円未満	4.4	3.0	3.6
5～10万円	1.6	2.6	2.1
10～20万円	0.8	0.8	0.8
20万以上	2.2	1.3	1.7

問71 アルバイトをしているか

項目	男	女	合計
している	29.1	40.9	35.6
していない	70.9	59.1	64.4

問71 何日アルバイトをしているか

項目	男	女	合計
1～3日	57.5	60.9	59.7
4～6日	24.0	19.9	21.4
毎日	1.4	0.0	0.5
不定期	17.1	19.2	18.4

問71 一日のアルバイト時間

項目	男	女	合計
決まっている	82.9	79.9	81.0
決まっていない	17.1	20.1	19.0

問71 一日のアルバイト時間

項目	男	女	合計
平均	5.0	4.6	4.8
人数	119	205	324

問71 アルバイトの目的

項目	男	女	合計
経済的負担軽減	50.3	42.1	45.0
遊びやつきあいのお金	57.9	50.2	53.0
自由に使えるお金がほしい	69.7	66.4	67.6
社会経験	55.2	54.1	54.5
将来の仕事の経験	15.9	10.8	12.6
経済的に自立したい	40.0	34.7	36.6
貯金がしたい	37.9	46.7	43.6
みんながしている	3.4	2.7	3.0
その他	4.8	4.2	4.5

問72 授業料の出所

項目	男	女	合計
親	77.9	73.4	75.4
親戚	0.6	0.8	0.7
奨学金	18.2	23.4	21.1
アルバイト	0.4	0.5	0.5
免除されている	2.9	1.8	2.3

問73 奨学金や授業料の免除(1. 奨学金を受けていますか)

項目	男	女	合計
はい	54.9	59.6	57.5
いいえ	45.1	40.4	42.5

問73 奨学金や授業料の免除(2. 奨学金を申込ましたか)

項目	男	女	合計
はい	41.8	39.9	40.7
いいえ	58.2	60.1	59.3

問73 奨学金や授業料の免除(3. 授業料免除を受けていますか)

項目	男	女	合計
はい	10.3	12.5	11.5
いいえ	89.7	87.5	88.5

問73 奨学金や授業料の免除(4. 授業料免除を申込ましたか)

項目	男	女	合計
はい	16.1	15.9	16.0
いいえ	83.9	84.1	84.0

問74 現在の居住形態

項目	男	女	合計
実家	23.4	26.6	25.2
下宿	11.3	9.7	10.4
アパート	59.6	53.8	56.4
学生寮	5.1	9.4	7.5
その他	0.6	0.5	0.5

問74 下宿・アパートの広さ

項目	男	女	合計
6畳以下(バストイレなし)	5.6	6.2	5.9
6畳以下(バストイレ付)	10.6	4.0	7.1
6～12畳(バストイレなし)	8.1	7.5	7.8
6～12畳(バストイレ付)	69.6	76.9	73.4
12畳以上	6.1	5.5	5.8

問74 下宿・アパートの同居人

項目	男	女	合計
いない	96.1	94.2	95.1
家族・親戚	1.1	3.0	2.1
友人・知人	2.8	2.8	2.8

問74 学生寮に住まない理由

項目	男	女	合計
集団生活がいや	23.9	23.6	23.7
部屋が古く狭い	7.4	4.7	6.0
設備が悪い	2.8	1.0	1.9
相部屋である	15.3	22.5	19.1
規則に縛られる	19.3	14.7	16.9
自分の時間が持てない	15.3	11.5	13.4
その他	15.9	22.0	19.1

問74 学生寮に住む理由

項目	男	女	合計
経済的理由	80.0	88.0	85.7
集団生活が楽しめる	20.0	0.0	5.7
友人・知人が得られる	0.0	0.0	0.0
食事が出る	0.0	4.0	2.9
先輩・知人に勧められて	0.0	0.0	0.0
親・家族に勧められて	0.0	8.0	5.7
その他	0.0	0.0	0.0

問75 所有しているもの

項目	男	女	合計
テレビ	75.2	67.5	70.9
ビデオ	24.8	22.0	23.2
オーディオ機器	59.6	59.3	59.4
ゲーム機	69.1	36.4	51.0
冷蔵庫	66.6	60.0	62.9
洗濯機	58.0	53.1	55.3
クーラー	40.2	37.4	38.6
加入電話	6.4	4.2	5.2
携帯	98.0	99.7	99.0
FAX	2.7	2.5	2.6
パソコン	94.5	94.3	94.4
自転車	88.5	92.9	90.9
バイク	5.9	1.4	3.4
自動車	14.5	9.6	11.7

附属統計表（大学院学生男女比率）

問1 性別

男		女		合計
109	66.5%	55	33.5%	164

問2 年齢

	男	女	合計
平均	26.3	27.9	26.9
人数	108	55	163

問3 所属学科(修士課程・博士前期課程)

項目	男	女	合計
人文社会科学研究科	2.7	0.9	3.6
教育学研究科	5.4	9.0	14.4
保健学研究科	1.8	5.4	7.2
理工学研究科	37.8	5.4	43.2
農学生命科学研究科	20.7	10.8	31.5

問3 所属学科(博士課程・博士後期課程)

項目	男	女	合計
医学研究科	42.6	25.9	68.5
保健学研究科	7.4	5.6	13.0
理工学研究科	7.4	3.7	11.1
地域社会研究科	5.6	1.9	7.4

問4 学年(修士・博士前期課程)

項目	男	女	合計
1年	44.1	17.1	61.3
2年	24.3	14.4	38.7

問4 学年(医学研究科後期課程)

項目	男	女	合計
1年	8.1	5.4	13.5
2年	13.5	18.9	32.4
3年	13.5	2.7	16.2
4年	27.0	10.8	37.8

問4 学年(博士後期課程)

項目	男	女	合計
1年	12.5	12.5	25.0
2年	18.8	18.8	37.5
3年	31.3	6.3	37.5

問5 出身大学

項目	男	女	合計
弘前大学	57.9	27.4	85.4
他大学(日本)	6.7	5.5	12.2
他大学(外国)	1.8	0.6	2.4

問6 大学卒業からの年数

	男	女	合計
平均	2.1	2.4	2.2
人数	107	54	161

問7 実家の所在地

項目	男	女	合計
北海道	15.9	2.4	18.3
青森県	27.4	18.3	45.7
岩手県	4.3	1.2	5.5
秋田県	4.9	1.2	6.1
宮城県	3.7	0.6	4.3
山形県	0.6	0.6	1.2
福島県	0.6	0.6	1.2
関東甲信	3.0	4.3	7.3
東海・北陸	0.0	1.2	1.2
近畿	2.4	0.6	3.0
中国・四国	1.2	0.6	1.8
九州・沖縄	0.0	0.6	0.6
外国	2.4	1.2	3.7

問8 弘前大学大学院第一志望か

項目	男	女	合計
はい	94.4	84.6	91.3
いいえ	5.6	15.4	8.8

問9 大学院進学理由

項目	男	女	合計
もっと勉強したい	44.4	50.9	46.6
より専門的な知識や技術を習得したい	60.2	65.5	62.0
将来、学問・研究の道に進みたい	25.9	23.6	25.2
就職や資格取得に有利	22.2	14.5	19.6
より高い学歴を得たい	23.1	23.6	23.3
まだ自由な学生生活を楽しみたい	19.4	7.3	15.3
まだスポーツや文化活動を続けたい	7.4	0.0	4.9
友人が進学するから	1.9	1.8	1.8
親や周囲の人に勧められた	7.4	16.4	10.4
まだ就職しなかった	15.7	16.4	16.0
希望する職に就けなかった	9.3	18.2	12.3
その他	7.4	14.5	9.8

問10 弘前大学大学院を選んだ理由

項目	男	女	合計
自分の志望する専攻分野があった	40.7	54.5	45.4
大学の特色・学風に惹かれた	2.8	1.8	2.5
自分の能力・学力に合っていたから	21.3	14.5	19.0
大学の施設・設備がよかったから	2.8	7.3	4.3
指導を受けたい教員がいたから	39.8	36.4	38.7
国立大学(国立大学法人)だから	19.4	12.7	17.2
実家に近かったから	20.4	21.8	20.9
将来就職に有利だと思ったから	2.8	1.8	2.5
授業料などの経済的負担が軽いから	5.6	9.1	6.7
親など周囲の人に勧められたから	6.5	3.6	5.5
指導教員の勧めがあったから	17.6	21.8	19.0
良い評判を聞いたから	0.0	0.0	0.0
継続した勉強や研究ができるから	43.5	47.3	44.8
学生支援が充実しているから	0.9	1.8	1.2

その他	7.4	10.9	8.6
-----	-----	------	-----

問11 他大学の大学院の受験

項目	男	女	合計
はい	8.3	3.6	6.7
いいえ	91.7	96.4	93.3

問11 他大学の受験の理由

項目	男	女	合計
自分の志望する専攻分野があった	77.8	100.0	81.8
大学の特色・学風に惹かれた	33.3	0.0	27.3
自分の能力・学力に合っていたから	0.0	0.0	0.0
大学の施設・設備がよかったから	33.3	0.0	27.3
指導を受けたい教員がいたから	11.1	50.0	18.2
国立大学(国立大学法人)だから	0.0	50.0	9.1
実家に近かったから	33.3	0.0	27.3
将来就職に有利だと思ったから	22.2	50.0	27.3
授業料などの経済的負担が軽いから	0.0	0.0	0.0
親など周囲の人に勧められたから	0.0	0.0	0.0
指導教員の勧めがあったから	0.0	50.0	9.1
良い評判を聞いたから	0.0	0.0	0.0
継続した勉強や研究ができるから	11.1	0.0	9.1
学生支援が充実しているから	11.1	0.0	9.1
その他	0.0	0.0	0.0

問12 授業に満足しているか

項目	男	女	合計
非常に満足	19.6	13.0	17.4
まあまあ満足	57.9	68.5	61.5
あまり満足していない	19.6	13.0	17.4
まったく満足していない	2.8	5.6	3.7

問13 授業に満足できない理由

項目	男	女	合計
難しい	6.4	14.5	9.1
やさしすぎる	1.8	0.0	1.2
興味関心がない	22.0	29.1	24.4
受講したい科目が少ない	14.7	23.6	17.7
役に立たない科目が多い	14.7	9.1	12.8
受講者が多すぎる	3.7	1.8	3.0
必修科目が多すぎる	9.2	7.3	8.5
単位取得や科目選択の制限	1.8	3.6	2.4
施設・設備が不十分	8.3	9.1	8.5
教員の教え方になじめない	7.3	18.2	11.0
教員の授業に対する熱意や工夫が足りない	9.2	18.2	12.2
その他	14.7	14.5	14.6

問14 教員と話をするか

項目	男	女	合計
よくある	43.0	47.3	44.4
わりとある	40.2	40.0	40.1
あまりない	15.9	10.9	14.2
まったくない	0.9	1.8	1.2

問15 ふだんの学習研究時間

項目	男	女	合計
3時間以上	48.1	47.3	47.8
2～3時間	19.8	14.5	18.0
1～2時間	17.9	21.8	19.3
30分～1時間	9.4	5.5	8.1
30分未満	1.9	5.5	3.1
しない	2.8	5.5	3.7

問16 図書館の利用

項目	男	女	合計
ほとんど毎日	0.0	0.0	0.0
週3, 4回	4.7	3.6	4.3
週1, 2回	9.3	14.5	11.1
月1, 2回	47.7	45.5	46.9
ほとんど利用しない	38.3	36.4	37.7
全く利用しない	0.0	0.0	0.0

問17 図書館の利用目的

項目	男	女	合計
勉強・研究	59.8	60.4	60.0
調べもの	76.3	86.8	80.0
予習・復習	10.3	9.4	10.0
新聞や雑誌を読む	12.4	11.3	12.0
読書	5.2	1.9	4.0
パソコン利用	9.3	15.1	11.3
その他	5.2	3.8	4.7

問18 図書館の利用で困ったこと

項目	男	女	合計
騒がしい	6.7	5.8	6.3
土日を含め24時間利用	54.4	50.0	52.8
本の種類が少ない	40.0	53.8	45.1
新聞や雑誌の種類が少ない	17.8	21.2	19.0
その他	14.4	26.9	19.0

問19 コンピュータ室の利用

項目	男	女	合計
ほとんど毎日	3.7	0.0	2.5
週3, 4回	1.9	1.8	1.8
週1, 2回	1.9	1.8	1.8
月1, 2回	4.6	7.3	5.5
ほとんど利用しない	31.5	30.9	31.3
全く利用しない	56.5	58.2	57.1

問20 コンピュータ室の利用で困ったこと

項目	男	女	合計
困ったことはない	54.3	41.3	49.6
パソコン数が少ない	1.2	10.9	4.7
紙などが散乱して汚い	4.9	4.3	4.7
騒がしい	2.5	6.5	3.9
土日を含め24時間利用	17.3	23.9	19.7

ソフトの種類が少ない	3.7	2.2	3.1
自分で持ち込んだパソコンが利用できない	7.4	10.9	8.7
その他	14.8	13.0	14.2

問21 コンピュータ室の利用目的

項目	男	女	合計
授業の予習・復習	22.0	12.2	18.6
研究	73.6	59.2	68.6
レポート作成	41.8	49.0	44.3
パソコンの使い方を学ぶ	2.2	2.0	2.1
メールのやりとり	35.2	24.5	31.4
ホームページを見るため	31.9	30.6	31.4
ゲーム	0.0	0.0	0.0
チャット利用	1.1	2.0	1.4
本学案内	27.5	18.4	24.3
その他	8.8	18.4	12.1

問22 自分用パソコンの有無

項目	男	女	合計
持っている	96.3	92.7	95.1
持っていない	3.7	7.3	4.9

問22 自分用パソコンの利用目的

項目	男	女	合計
授業の予習・復習	29.0	24.1	27.3
研究	68.2	68.5	68.3
レポート作成	73.8	68.5	72.0
パソコンの使い方を学ぶ	12.1	5.6	9.9
メールのやりとり	61.7	53.7	59.0
ホームページを見るため	71.0	75.9	72.7
ゲーム	27.1	16.7	23.6
チャット利用	13.1	9.3	11.8
プログラム開発	5.6	0.0	3.7
自分用ホームページを作成するため	1.9	5.6	3.1
音楽ソフト等をダウンロード	27.1	33.3	29.2
自宅から大学情報の取得	29.9	27.8	29.2
その他	5.6	1.9	4.3

問22 インターネットの接続状況

項目	男	女	合計
接続している	89.4	91.3	90.0
接続していない	10.6	8.7	10.0

問23 授業・研究のためのインターネット利用時間

項目	男	女	合計
利用しない	0.9	0.0	0.6
15分未満	3.7	3.6	3.7
15分～30分未満	10.2	5.5	8.6
30分～1時間未満	27.8	21.8	25.8
1時間～2時間	27.8	30.9	28.8
2時間～3時間	13.0	14.5	13.5

3時間～5時間	9.3	18.2	12.3
5時間以上	7.4	5.5	6.7

問24 授業・研究以外のインターネット利用時間

項目	男	女	合計
利用しない	0.0	0.0	0.0
15分未満	2.8	0.0	1.9
15分～30分未満	8.4	9.1	8.6
30分～1時間未満	24.3	21.8	23.5
1時間～2時間	17.8	34.5	23.5
2時間～3時間	21.5	21.8	21.6
3時間～5時間	15.0	9.1	13.0
5時間以上	10.3	3.6	8.0

問25 学生用掲用示板でよく利用する案内

項目	男	女	合計
全く見ない	52.4	40.0	48.1
休講通知	21.0	32.7	25.0
呼び出しの確認	31.4	41.8	35.0
単位取得の確認	12.4	16.4	13.8
講演案内	16.2	29.1	20.6
求人案内	10.5	21.8	14.4
奨学金案内	29.5	36.4	31.9
留学案内	0.0	0.0	0.0
その他	1.0	0.0	0.6

問26 海外留学について

項目	男	女	合計
考えていない	61.0	61.8	61.3
留学してみたい	39.0	38.2	38.8

問26 海外留学してみたい理由

項目	男	女	合計
外国人と友達になりたい	26.8	14.3	22.6
外国語を自由に話したい	73.2	71.4	72.6
海外で生活・就職してみたい	43.9	47.6	45.2
その他	9.5	19.0	22.6

問27 卒業後の進路

項目	男	女	合計
就職	78.1	81.5	79.2
本学大学院進学	1.9	1.9	1.9
連合大学院進学	0.0	0.0	0
国内他大学大学院進学	1.0	0.0	0.6
海外大学大学院進学	0.0	0.0	0
専門学校進学	0.0	0.0	0
まだ考えていない	8.6	9.3	8.8
その他	10.5	7.4	9.4

問28 将来の第1志望

項目	男	女	合計
民間企業	35.3	26.4	32.3
公務員・公的機関	10.8	13.2	11.6
教育職	12.7	24.5	16.8

研究職	17.6	7.5	14.2
専門職	18.6	22.6	20.0
家業	0.0	0.0	0.0
自分で起業	2.0	0.0	1.3
フリーター	1.0	1.9	1.3
その他	2.0	3.8	2.6

問29 大都市で働きたいか

項目	男	女	合計
強く思う	9.2	14.8	11.0
少し思う	25.7	24.1	25.2
あまり思わない	43.1	42.6	42.9
まったく思わない	22.0	18.5	20.9

問30 大都市就職後出身地へ帰りたいか

項目	男	女	合計
強く思う	43.5	35.8	41.0
少し思う	29.6	34.0	31.1
あまり思わない	25.0	28.3	26.1
まったく思わない	1.9	1.9	1.9

問31 職業を選択する際に重視すること

項目	男	女	合計
知識技能が活かせる	63.9	72.7	66.9
独創性や創造性の発揮	20.4	20.0	20.2
十分な収入	53.7	49.1	52.1
安定した生活	61.1	65.5	62.6
社会的な地位・名声	13.9	1.8	9.8
華やかな活躍	5.6	7.3	6.1
人や組織を動かす	9.3	7.3	8.6
自由な活動	21.3	14.5	19.0
人助けや社会奉仕	31.5	36.4	33.1
自分の時間がとれる	38.0	38.2	38.0
好きなことを仕事にできる	41.7	50.9	44.8
転職がない	9.3	10.9	9.8
家業を継ぐ	1.9	0.0	1.2
就職したい地域	27.8	30.9	28.8
その他	2.8	0.0	1.8

問32 就職進学で教員や大学に希望すること

項目	男	女	合計
積極的な対策	26.2	29.1	27.2
就職先の開拓	28.0	32.7	29.6
教員が人材育成に積極的	23.4	23.6	23.5
教員が積極的助言、指導、斡旋	30.8	27.3	29.6
希望はない	31.8	38.2	34.0
その他	6.5	3.6	5.6

問33 学生就職支援センターの利用

項目	男	女	合計
利用した	18.9	20.0	19.3
今後利用したい	38.7	30.9	36.0

利用しない	27.4	27.3	27.3
存在を知らない	13.2	14.5	13.7
場所を知らない	1.9	7.3	3.7

問34 学内の友人

項目	男	女	合計
平均	13.9	6.8	11.8
人数	92	41	133

問34 学内の友人で特に親しいといえる人

項目	男	女	合計
平均	5.1	2.8	4.4
人数	72	33	105

問34 学外の友人

項目	男	女	合計
平均	30.2	23.5	27.9
人数	83	44	127

問34 学外の友人で特に親しいといえる人

項目	男	女	合計
平均	7.0	5.3	6.4
人数	83	44	127

問35 大切な人間関係

項目	男	女	合計
クラス・研究室・ゼミ	75.9	80.0	77.3
クラブ・サークル	45.4	43.6	44.8
寮・下宿	12.0	7.3	10.4
大学の教員	49.1	38.2	45.4
学部依頼の友達	42.6	72.7	52.8
高校以来の友達	51.9	70.9	58.3
中学校以前からの友達	43.5	45.5	44.2
入学後親しくなった人	13.9	18.2	15.3
その他	8.3	14.5	10.4
特にない	3.7	0.0	2.5

問36 学内で留学生と話すことがあるか

項目	男	女	合計
よくある	13.8	14.5	14.0
ときどきある	18.3	14.5	17.1
ほとんどない	23.9	18.2	22.0
まったくない	44.0	52.7	47.0

問37 友人関係はうまくいっているか

項目	男	女	合計
うまくいっている	31.5	40.7	34.6
だいたいうまくいっている	63.0	53.7	59.9
あまりうまくいっていない	4.6	5.6	4.9
まったくうまくいっていない	0.9	0.0	0.6

問38 興味や関心があること

項目	男	女	合計
政治・社会問題	39.4	21.8	33.5
授業・勉強・研究	78.0	76.4	77.4
友人関係や恋愛	36.7	49.1	40.9
家族・家庭のこと	37.6	52.7	42.7
趣味・遊び	67.9	65.5	67.1
スポーツ	45.9	16.4	36.0
進路	47.7	54.5	50.0
アルバイト	20.2	25.5	22.0
芸能関係	3.7	16.4	7.9
音楽・文芸・芸術	32.1	38.2	34.1
ボランティア	5.5	10.9	7.3
旅行・留学	30.3	52.7	37.8
その他	3.7	5.5	4.3

問39 平日空き時間を過ごす場所

項目	男	女	合計
研究室・実習・実験室	83.5	85.5	84.1
空き教室	0.9	5.5	2.4
クラブ・サークルの部室	3.7	0.0	2.4
生協の店舗	6.4	12.7	8.5
図書館	6.4	12.7	8.5
学生会館	0.9	0.0	0.6
キャンパスの庭	0.9	3.6	1.8
学生ホール	0.0	3.6	1.2
学外	15.6	14.5	15.2
その他	15.6	16.4	15.9

問40 新聞をどのくらい読むか

項目	男	女	合計
毎日読む	20.2	21.8	20.7
週に5～6日	5.5	12.7	7.9
週に3～4日	6.4	7.3	6.7
週に1～2日	19.3	18.2	18.9
読まない	48.6	40.0	45.7

問40 新聞を一日に読む時間

項目	男	女	合計
5分未満	2.8	1.8	2.4
5分～10分	16.5	18.2	17.1
10分～30分	22.9	32.7	26.2
30分～1時間	7.3	5.5	6.7
1～2時間	0.0	0.0	0.0
2時間以上	0.0	0.0	0.0

問41 テレビのニュースをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	45.4	60.0	50.3
週に5～6日	10.2	7.3	9.2
週に3～4日	17.6	12.7	16.0
週に1～2日	10.2	10.9	10.4

見ない	16.7	9.1	14.1
-----	------	-----	------

問41 テレビのニュースを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	0.0	4.0	1.4
5分～10分	11.1	4.0	8.6
10分～30分	45.6	32.0	40.7
30分～1時間	33.3	40.0	35.7
1～2時間	7.8	12.0	9.3
2時間以上	2.2	8.0	4.3

問42 パソコンのニュースサイトをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	67.0	60.0	64.6
週に5～6日	7.3	9.1	7.9
週に3～4日	8.3	18.2	11.6
週に1～2日	8.3	5.5	7.3
見ない	9.2	7.3	8.5

問42 パソコンのニュースサイトを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	2.1	5.9	3.4
5分～10分	21.6	29.4	24.3
10分～30分	48.5	49.0	48.6
30分～1時間	20.6	11.8	17.6
1～2時間	6.2	2.0	4.7
2時間以上	1.0	2.0	1.4

問43 携帯電話のニュースサイトをどのくらい見るか

項目	男	女	合計
毎日見る	21.1	31.5	24.5
週に5～6日	3.7	1.9	3.1
週に3～4日	7.3	9.3	8.0
週に1～2日	12.8	5.6	10.4
見ない	55.0	51.9	54.0

問43 携帯電話のニュースサイトを一日に見る時間

項目	男	女	合計
5分未満	31.3	40.7	34.7
5分～10分	37.5	25.9	33.3
10分～30分	27.1	25.9	26.7
30分～1時間	2.1	7.4	4.0
1～2時間	2.1	0.0	1.3
2時間以上	0.0	0.0	0.0

問44 関心を持っているニュース

項目	男	女	合計
トップニュース	60.0	63.2	61.2
社会面	13.3	5.3	10.2
政治面	3.3	5.3	4.1
経済面	6.7	0.0	4.1
国際面	0.0	10.5	4.1

文化面	3.3	0.0	2.0
家庭面	0.0	0.0	0.0
科学面	6.7	5.3	6.1
スポーツ面	6.7	0.0	4.1
地域・文化面	0.0	5.3	2.0
テレビ番組表	0.0	5.3	2.0

問45 メールを読み書きの時間

項目	男	女	合計
15分未満	45.0	34.5	41.5
15分以上30分未満	37.6	34.5	36.6
30分以上1時間未満	12.8	23.6	16.5
1時間以上2時間未満	3.7	3.6	3.7
2時間以上5時間未満	0.0	3.6	1.2
5時間以上	0.0	0.0	0.0
メールは使わない	0.9	0.0	0.6

問46 インターネットでのトラブル

項目	男	女	合計
ある	31.8	40.0	34.6
ない	68.2	60.0	65.4

問46 トラブル内容

項目	男	女	合計
ウィルス・ワーム感染	42.9	45.5	43.9
迷惑メールの受信	62.9	86.4	71.9
メールやホームページ上での嫌がらせ	5.7	9.1	7.0
掲示板が洗らされた	5.7	4.5	5.3
架空請求された	25.7	9.1	19.3
詐欺にあった	2.9	0.0	1.8
アカウントを不正利用された	0.0	0.0	0.0
自分のファイルを見られた	0.0	0.0	0.0
実際に会おうとしつこく誘われた	2.9	4.5	3.5
商品等の購入でしつこく勧誘	0.0	4.5	1.8
個人情報が勝手に公開	2.9	4.5	3.5
その他	5.7	0.0	3.5

問47 通学時間

項目	男	女	合計
平均	12	24	16
人数	106	55	161

問48 通学方法

項目	男	女	合計
徒歩	60.2	50.9	57.1
自転車	60.2	49.1	56.4
バイク	5.6	0.0	3.7
自家用車	17.6	38.2	24.5
公共交通機関	2.8	9.1	4.9

問48 自転車の止める場所

項目	男	女	合計
大学の駐輪スペース	96.8	100.0	97.8
構内路上	3.2	0.0	2.2
大学構外	0.0	0.0	0.0

問48 駐輪スペースの設置状況

項目	男	女	合計
十分	37.5	37.0	37.4
不足だが困っていない	34.4	40.7	36.3
不足して困っている	28.1	22.2	26.4

問48 自転車登録しているか

項目	男	女	合計
はい	48.4	55.6	50.5
いいえ	51.6	44.4	49.5

問48 自家用車を止める場所

項目	男	女	合計
大学の駐車場	72.2	87.5	79.4
構外の有料駐車場	22.2	12.5	17.6
その他	5.6	0.0	2.9

問48 駐車スペースの設置状況

項目	男	女	合計
十分	10.5	15.8	13.2
不足だが困っていない	31.6	36.8	34.2
不足して困っている	57.9	47.4	52.6

問48 駐車許可書の許可をうけているか

項目	男	女	合計
はい	68.4	88.9	78.4
いいえ	31.6	11.1	21.6

問49 朝食をとるか

項目	男	女	合計
毎日	38.0	46.3	40.7
週に5, 6日	12.0	16.7	13.6
週に3, 4日	15.7	18.5	16.7
週に1, 2日	18.5	9.3	15.4
とらない	15.7	9.3	13.6

問50 起床時間(平日)

項目	男	女	合計
平均	7:40	7:02	7:27
人数	109	54	164

問50 就寝時間(平日)

項目	男	女	合計
平均	0:30	0:25	0:25
人数	109	55	164

問50 起床時間(休日)

項目	男	女	合計
平均	8:53	8:28	8:45
人数	109	55	164

問50 就寝時間(休日)

項目	男	女	合計
平均	0:40	0:34	0:38
人数	109	55	164

問51 たばこを吸うか

項目	男	女	合計
吸っている	24.8	7.3	18.9
以前吸っていた	8.3	0.0	5.5
吸っていない	67.0	92.7	75.6

問51 たばこ喫煙本数

項目	男	女	合計
平均	9.6	10.8	9.7
人数	27	4	31

問52 受動喫煙の機会

項目	男	女	合計
毎日	7.5	7.3	7.4
3~6日	9.3	10.9	9.9
1~2日	27.1	18.2	24.1
ほとんどない	39.3	45.5	41.4
全くない	16.8	18.2	17.3

問53 飲酒の頻度

項目	男	女	合計
飲まない	9.2	18.2	12.2
週に1回以下	54.1	65.5	57.9
週2~3回	22.9	10.9	18.9
週4~5回	6.4	0.0	4.3
毎日	7.3	5.5	6.7

問54 健康のために心がけていること

項目	男	女	合計
スポーツをしている	28.4	7.3	21.3
身体を動かすようにしている	30.3	38.2	32.9
自然・健康食品をとる	10.1	12.7	11.0
バランスのとれた食事	30.3	45.5	35.4
栄養剤、栄養飲料	8.3	14.5	10.4
規則正しい生活	23.9	21.8	23.2
健康診断を受けている	7.3	20.0	11.6
体調チェックしている	12.8	21.8	15.9
特になし	28.4	16.4	24.4

問55 健康診断を受けたか

項目	男	女	合計
全部受けた	78.9	81.5	79.8
一部受けた	3.7	3.7	3.7
受けなかった	17.4	14.8	16.6

問55 受けなかった理由

項目	男	女	合計
知らなかった	27.8	14.3	24.0
忘れていた	44.4	0.0	32.0
授業があった	5.6	14.3	8.0
受けるのが面倒	5.6	14.3	8.0
その他	16.7	57.1	28.0

問56 健康状態

項目	男	女	合計
良好	68.8	50.9	62.8
調子が悪い	27.5	29.1	28.0
病気だと思う	0.9	10.9	4.3
通院している	2.8	9.1	4.9

問57 自覚症状

項目	男	女	合計
自覚症状ない	32.0	11.3	24.7
疲れる	39.2	66.0	48.7
食欲がない	2.1	9.4	4.7
眠れない	8.2	15.1	10.7
頭痛がする	7.2	37.7	18.0
胃腸の調子が悪い	17.5	18.9	18.0
よく熱がでる	0.0	5.7	2.0
便秘がしやすい	6.2	24.5	12.7
下痢がしやすい	13.4	15.1	14.0
イライラする	10.3	26.4	16.0
集中力の低下	26.8	41.5	32.0
無力感	21.6	35.8	26.7
憂鬱になる	20.6	32.1	24.7
その他	9.3	11.3	10.0

問58 悩んでいること

項目	男	女	合計
悩みがない	19.4	1.8	13.5
勉強・成績	20.4	30.9	23.9
研究・論文	55.6	78.2	63.2
進路・就職	57.4	58.2	57.7
クラブ・サークル活動	7.4	3.6	6.1
人間関係	15.7	30.9	20.9
恋愛・結婚	20.4	27.3	22.7
自分自信の性格	13.9	21.8	16.6
健康上	12.0	29.1	17.8
性的こと	3.7	0.0	2.5
経済的	23.1	23.6	23.3
家庭環境・家族	9.3	25.5	14.7
その他	1.9	1.8	1.8

問59 悩みの対処

項目	男	女	合計
自分自身で解決	56.0	38.2	50.0
誰かに相談	19.3	32.7	23.8
なりゆき	24.8	29.1	26.2

問60 悩みの相談相手

項目	男	女	合計
相談しない	21.3	14.5	19.0
相談する人がいない	1.9	1.8	1.8
友人	57.4	69.1	61.3
先輩	16.7	16.4	16.6
家族	43.5	45.5	44.2
親戚	0.9	0.0	0.6
教員	15.7	14.5	15.3
事務職員	0.0	1.8	0.6
保健管理センター	0.9	0.0	0.6
学生なんでも相談	0.0	0.0	0.0
その他	2.8	7.3	4.3

問61 大学をやめたいと思ったこと

項目	男	女	合計
ない	65.1	52.7	61.0
ある	34.9	47.3	39.0

問61 やめたい理由

項目	男	女	合計
学部学科があわない	13.5	11.5	12.7
能力にあわない	37.8	50.0	42.9
就職に不利	13.5	15.4	14.3
経済的理由	24.3	26.9	25.4
家庭的事情	5.4	15.4	9.5
遊びたい	8.1	11.5	9.5
恋愛・結婚問題	0.0	3.8	1.6
他のことがしたい	8.1	23.1	14.3
学生との人間関係	8.1	11.5	9.5
教員との関係	29.7	26.9	28.6
その他	35.1	26.9	31.7

問62 家計支持者の職業

項目	男	女	合計
民間企業	25.0	22.2	24.1
公務員・公的機関	20.2	24.1	21.5
教育職	8.7	5.6	7.6
研究職	1.9	1.9	1.9
専門職	22.1	20.4	21.5
農林漁業	3.8	1.9	3.2
自営業(自宅で)	3.8	9.3	5.7
自営業(自宅以外)	3.8	3.7	3.8
パート・アルバイト	7.7	0.0	5.1
無職・失業中	1.9	5.6	3.2

その他	1.0	5.6	2.5
-----	-----	-----	-----

問63 家計支持者の年収

項目	男	女	合計
100万円未満	5.8	8.0	6.5
100万～200万円未満	10.7	10.0	10.5
200万～400万円未満	21.4	22.0	21.6
400万～600万円未満	22.3	28.0	24.2
600万～800万円未満	19.4	18.0	19.0
800万～1,000万円未満	11.7	12.0	11.8
1,000万円以上	8.7	2.0	6.5

問64 生活費支出計(円)

項目	男	女	合計
平均	135,357	116,721	129,010
人数	91	47	138

問64 食費(円)

項目	男	女	合計
平均	25,305	21,667	24,073
人数	82	42	124

問64 住居費(円)

項目	男	女	合計
平均	38,022	42,167	39,200
人数	68	27	95

問64 光熱水費(円)

項目	男	女	合計
平均	10,277	11,931	10,766
人数	69	29	98

問64 娯楽費(円)

項目	男	女	合計
平均	14,189	14,559	14,321
人数	61	34	95

問64 研究・勉学費(円)

項目	男	女	合計
平均	11,758	13,783	12,443
人数	45	27	59

問64 交通費(円)

項目	男	女	合計
平均	11,720	12,285	12,008
人数	25	26	51

問64 衣料費(円)

項目	男	女	合計
平均	7,226	9,704	8,379
人数	31	27	58

問64 通信費(円)

項目	男	女	合計
平均	7,215	8,018	7,493
人数	53	28	81

問64 医療費(円)

項目	男	女	合計
平均	6,333	5,467	5,852
人数	12	15	27

問64 貯金(円)

項目	男	女	合計
平均	25,238	30,071	27,171
人数	21	14	35

問64 その他(円)

項目	男	女	合計
平均	20,000	31,750	24,087
人数	15	8	23

問64 収入(円)

項目	男	女	合計
平均	172,091	159,140	167,840
人数	88	43	131

問64 実家から(円)

項目	男	女	合計
平均	61,975	49,588	58,281
人数	40	17	57

問64 奨学金(円)

項目	男	女	合計
平均	79,545	69,208	75,897
人数	44	24	68

問64 アルバイト(円)

項目	男	女	合計
平均	55,857	54,706	55,342
人数	21	17	38

問64 その他(円)

項目	男	女	合計
平均	287,778	283,600	286,286
人数	18	10	28

問65 預貯金はありますか

項目	男	女	合計
ある	67.6	83.0	72.9
ない	32.4	17.0	27.1

問65 預貯金金額(円)

項目	男	女	合計
平均	852,038	594,002	759,882
人数	54	30	84

問66 クレジットやローンの残額

項目	男	女	合計
ない	84.6	74.1	81.0
5万円未満	6.7	14.8	9.5
5~10万円	1.9	1.9	1.9
10~20万円	1.0	0.0	0.6
20万以上	5.8	9.3	7.0

問67 アルバイトをしているか

項目	男	女	合計
している	31.5	42.6	35.2
していない	68.5	57.4	64.8

問67 何日アルバイトをしているか

項目	男	女	合計
1~3日	70.6	52.2	63.2
4~6日	11.8	17.4	14.0
毎日	2.9	4.3	3.5
不定期	14.7	26.1	19.3

問67 一日のアルバイト時間

項目	男	女	合計
決まっている	72.7	69.6	71.4
決まっていない	27.3	30.4	28.6

問67 一日のアルバイト時間

項目	男	女	合計
平均	5.4	4.0	4.8
人数	21	14	35

問67 アルバイトの目的

項目	男	女	合計
経済的負担軽減	64.7	65.2	64.9
遊びやつきあいのお金	29.4	30.4	29.8
自由に使えるお金がほしい	44.1	34.8	40.4
社会経験	26.5	39.1	31.6
将来の仕事の経験	2.9	4.3	3.5
経済的に自立したい	23.5	26.1	24.6
貯金がしたい	11.8	30.4	19.3
みんながしている	2.9	4.3	3.5
その他	17.6	21.7	19.3

問68 授業料の出所

項目	男	女	合計
親	67.5	64.1	66.4
親戚	0.0	2.6	0.8
奨学金	21.7	17.9	20.5
アルバイト	7.2	12.8	9.0
免除されている	3.6	2.6	3.3

問69 奨学金や授業料の免除(1. 奨学金を受けていますか)

項目	男	女	合計
はい	7.4	7.3	7.4
いいえ	92.6	92.7	92.6

問69 奨学金や授業料の免除(2. 奨学金を申込みましたか)

項目	男	女	合計
はい	54.8	42.6	50.6
いいえ	45.2	57.4	49.4

問69 奨学金や授業料の免除(3. 授業料免除を受けていますか)

項目	男	女	合計
はい	20.2	13.0	17.7
いいえ	79.8	87.0	82.3

問69 奨学金や授業料の免除(4. 授業料免除を申込みましたか)

項目	男	女	合計
はい	26.9	18.5	24.1
いいえ	73.1	81.5	75.9

問70 現在の居住形態

項目	男	女	合計
実家	18.3	36.4	24.4
下宿	5.5	0.0	3.7
アパート	67.9	56.4	64.0
学生寮	1.8	0.0	1.2
その他	6.4	7.3	6.7

問70 下宿・アパートの広さ

項目	男	女	合計
6畳以下(バストイレなし)	3.8	0.0	2.8
6畳以下(バストイレ付)	11.5	6.5	10.1
6~12畳(バストイレなし)	10.3	3.2	8.3
6~12畳(バストイレ付)	59.0	67.7	61.5
12畳以上	15.4	22.6	17.4

問70 下宿・アパートの同居人

項目	男	女	合計
いない	82.9	87.1	84.1
家族・親戚	15.8	6.5	13.1
友人・知人	1.3	6.5	2.8

問70 学生寮に住まない理由

項目	男	女	合計
集団生活がいや	21.8	22.2	21.9
部屋が古く狭い	1.8	5.6	2.7
設備が悪い	3.6	5.6	4.1
相部屋である	12.7	5.6	11.0
規則に縛られる	10.9	0.0	8.2
自分の時間が持てない	21.8	16.7	20.5
その他	27.3	44.4	31.5

問70 学生寮に住む理由

項目	男	女	合計
経済的理由	0.0	0.0	0.0
集団生活が楽しめる	0.0	0.0	0.0
友人・知人が得られる	0.0	0.0	0.0
食事が出る	100.0	0.0	100.0
先輩・知人に勧められて	0.0	0.0	0.0
親・家族に勧められて	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

問71 所有しているもの

項目	男	女	合計
テレビ	81.3	83.3	82.0
ビデオ	48.6	44.4	47.2
オーディオ機器	67.3	55.6	63.4
ゲーム機	65.4	29.6	53.4
冷蔵庫	81.3	68.5	77.0
洗濯機	73.8	68.5	72.0
クーラー	43.0	44.4	43.5
加入電話	22.4	16.7	20.5
携帯	99.1	96.3	98.1
FAX	11.2	9.3	10.6
パソコン	96.3	92.6	95.0
自転車	78.5	63.0	73.3
バイク	10.3	1.9	7.5
自動車	43.0	46.3	44.1

学生生活実態調査専門委員会

委員長	児玉忠	(教育学部)
委員	山口恵子	(人文学部)
	増山篤	(人文学部)
	松谷秀哉	(医学研究科)
	石崎智子	(保健学研究科)
	葛西真寿	(理工学研究科)
	吉田涉	(農学生命科学部)
	佐藤友暁	(総合情報処理センター)
	田名場美雪	(保健管理センター)
	山内敏博	(学生課)
	事務担当	佐々木宣子
	佐々木忠	(学生課)

第6回 学生生活実態調査報告書

平成23年3月

弘前大学学務部学生課

〒036-8560 弘前市文京町1番地

電話 0172-36-2111 (代表)

